

山梨県のがん統計概況

「令和元年度がん登録実務者研修会」

令和元年12月12日(木)

山梨県 福祉保健部 健康増進課
がん対策推進担当

1

本日お話ししたいこと

- ▶ がんの死亡統計
- ▶ がんの罹患統計
- ▶ 罹患者の生存率等
- ▶ がん登録情報の活用

▶

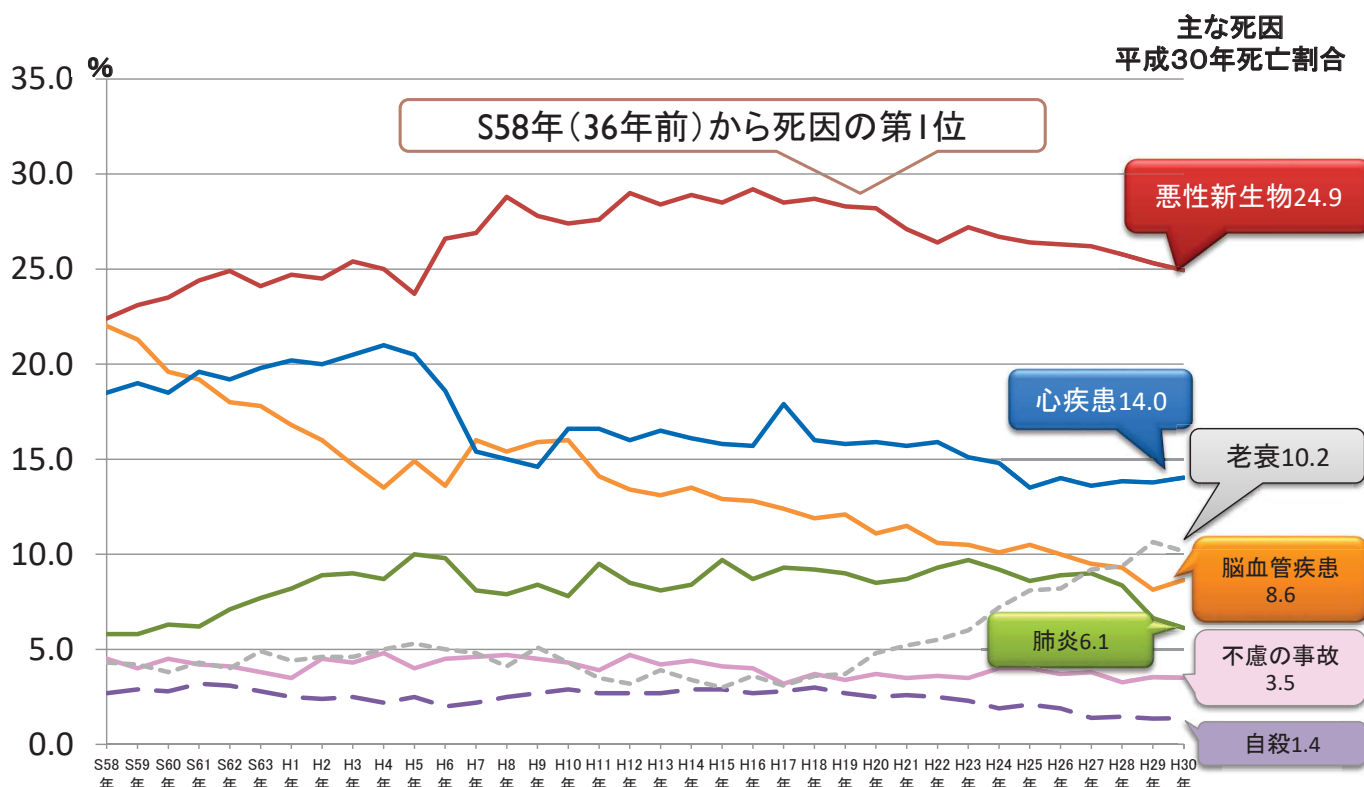
2

がんの死亡統計

(国・県のがん死亡)

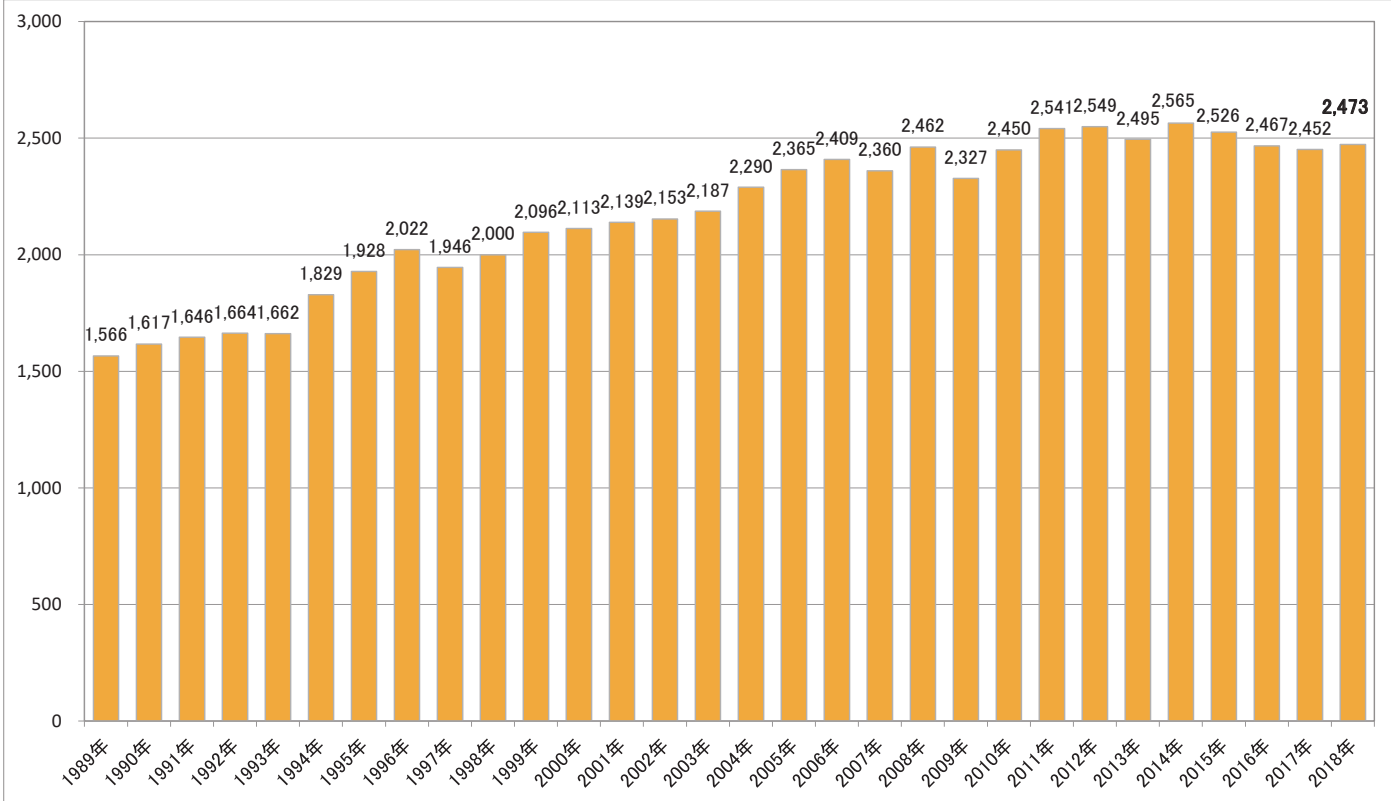
本県の死亡割合の推移 (主な死因別)

○ H30年 全死亡 9,915人 がんの死亡者数 2,473人(約4人に1人ががんで死亡)



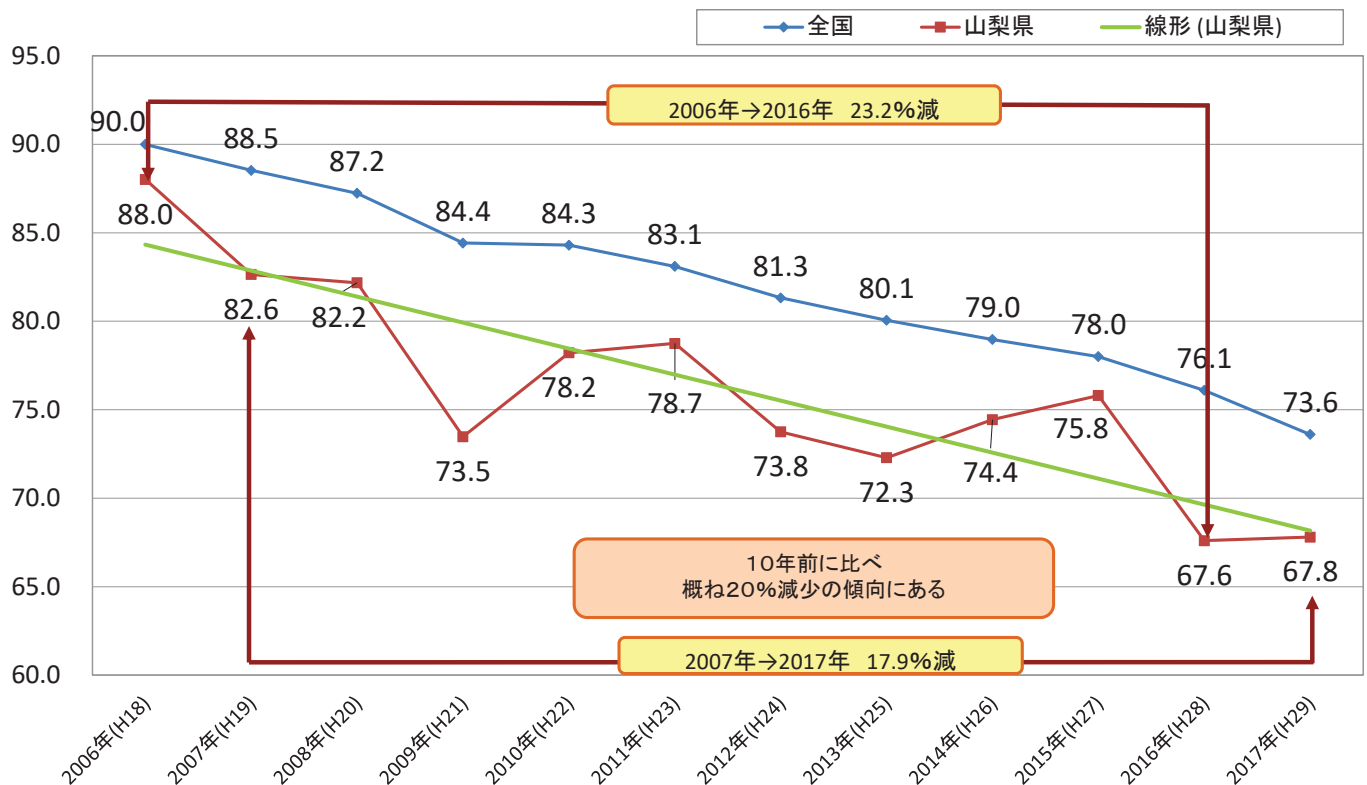
がんによる死亡者数年次推移 (人)

出典：人口動態統計



がんによる死亡者数は、2008年ごろまでは増加傾向であったが、その後は毎年2500人前後で推移している。がんによる死亡は高齢者に多く、高齢化が進んでいるということを加味して考えると、次項の資料にあるようにがんによる死亡率が低下していることによるものと考えられる。

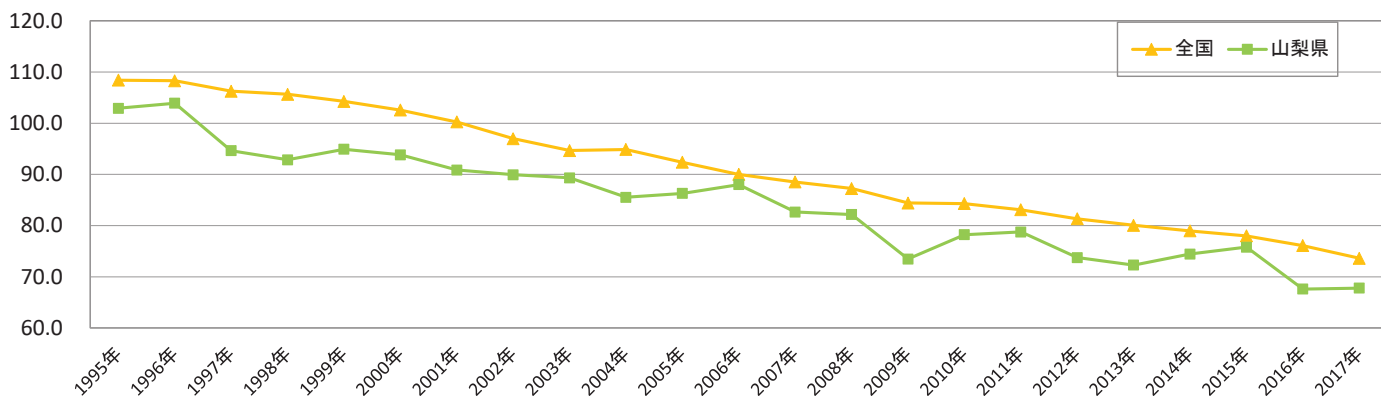
75歳未満がん年齢調整死亡率の年次推移 (人口10万対)



山梨県のがん死亡の現状

○ 75歳未満年齢調整死亡率は、常に全国値を下回り、低減傾向

(平成28年は全国 第2位 → 平成29年は全国 第8位)



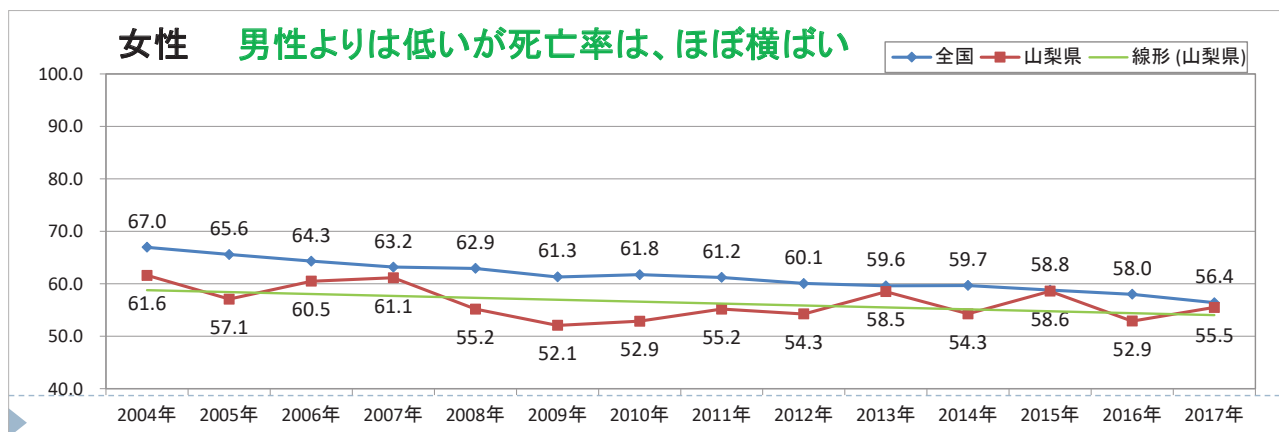
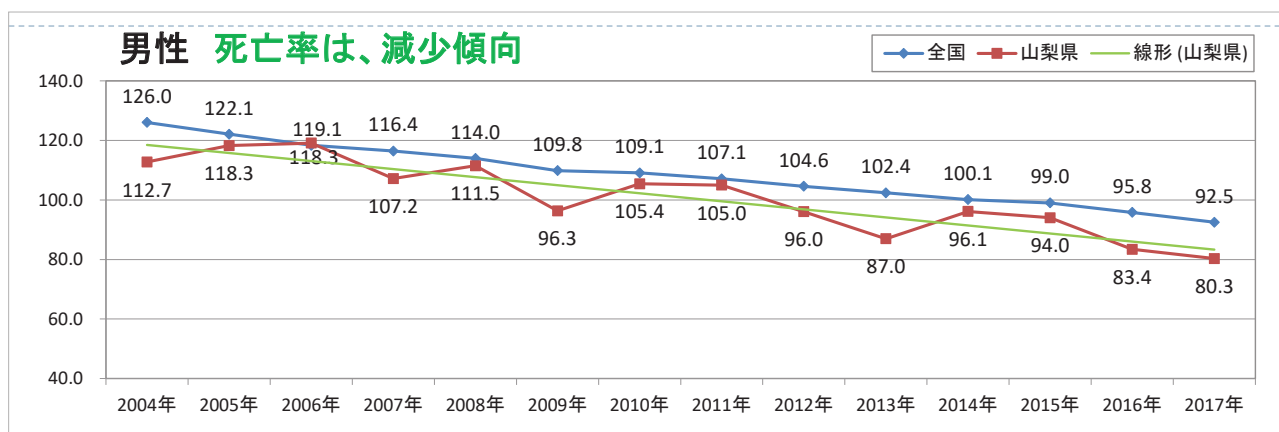
○ 順位は、2017(平成29)年の部位別75歳未満年齢調整死亡率

○ ()内は、1995(平成7)年～2017(平成29)年までの推移

	1位	2位	3位	4位	5位
全体・男性	肺(↓)	大腸(→)	胃(↓)	肝(↓)	膵(→)
女性	乳(微↑)	大腸(→)	子宮(微↑)	肺(→)	胃(↓)

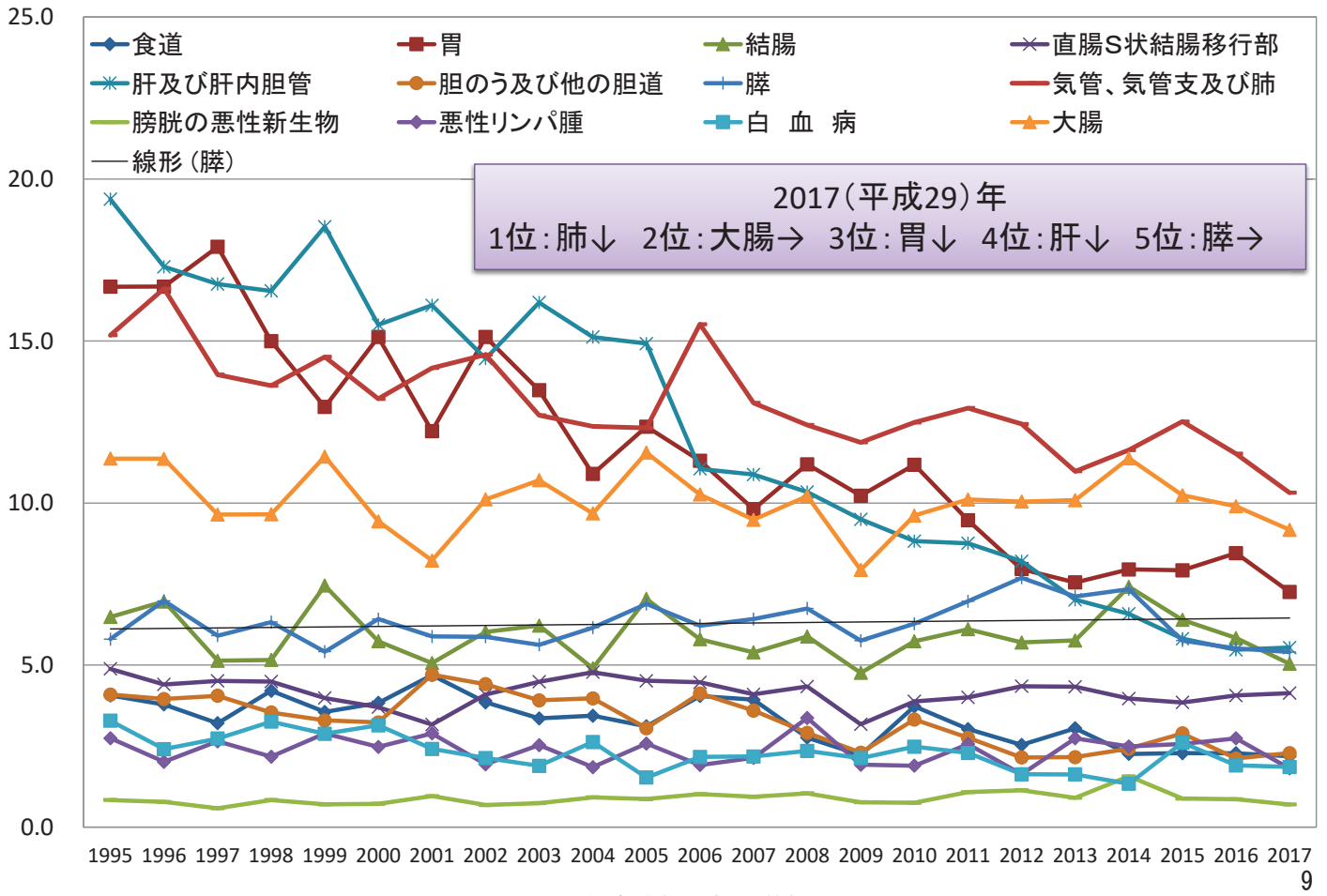
出典：国立がん研究センターがん対策情報センター 7

75歳未満年齢調整死亡率男女別年次推移 (人口10万対)

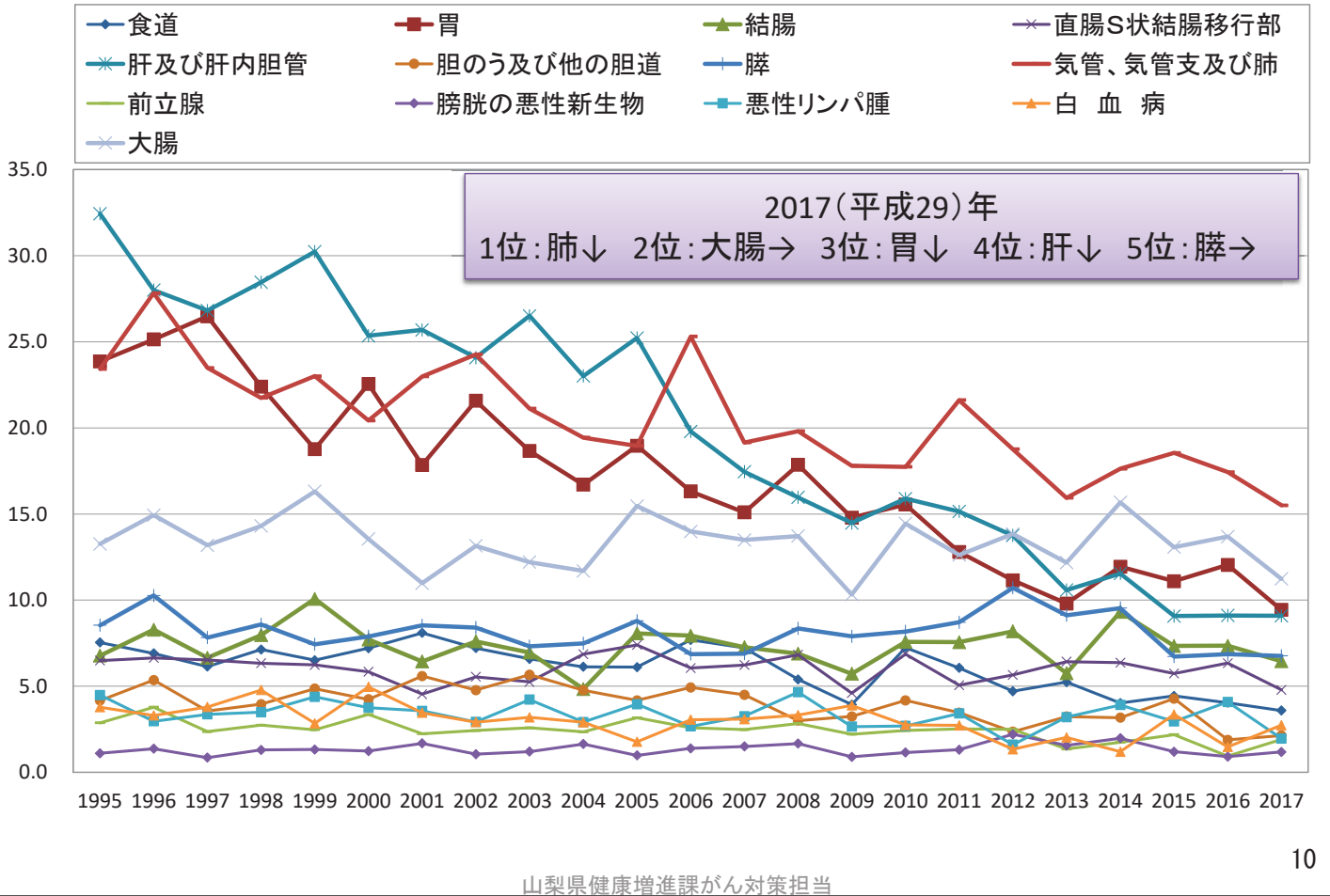


出典：国立がん研究センターがん対策情報センター 8

部位別75歳未満年齢調整死亡率推移(人口10万対)

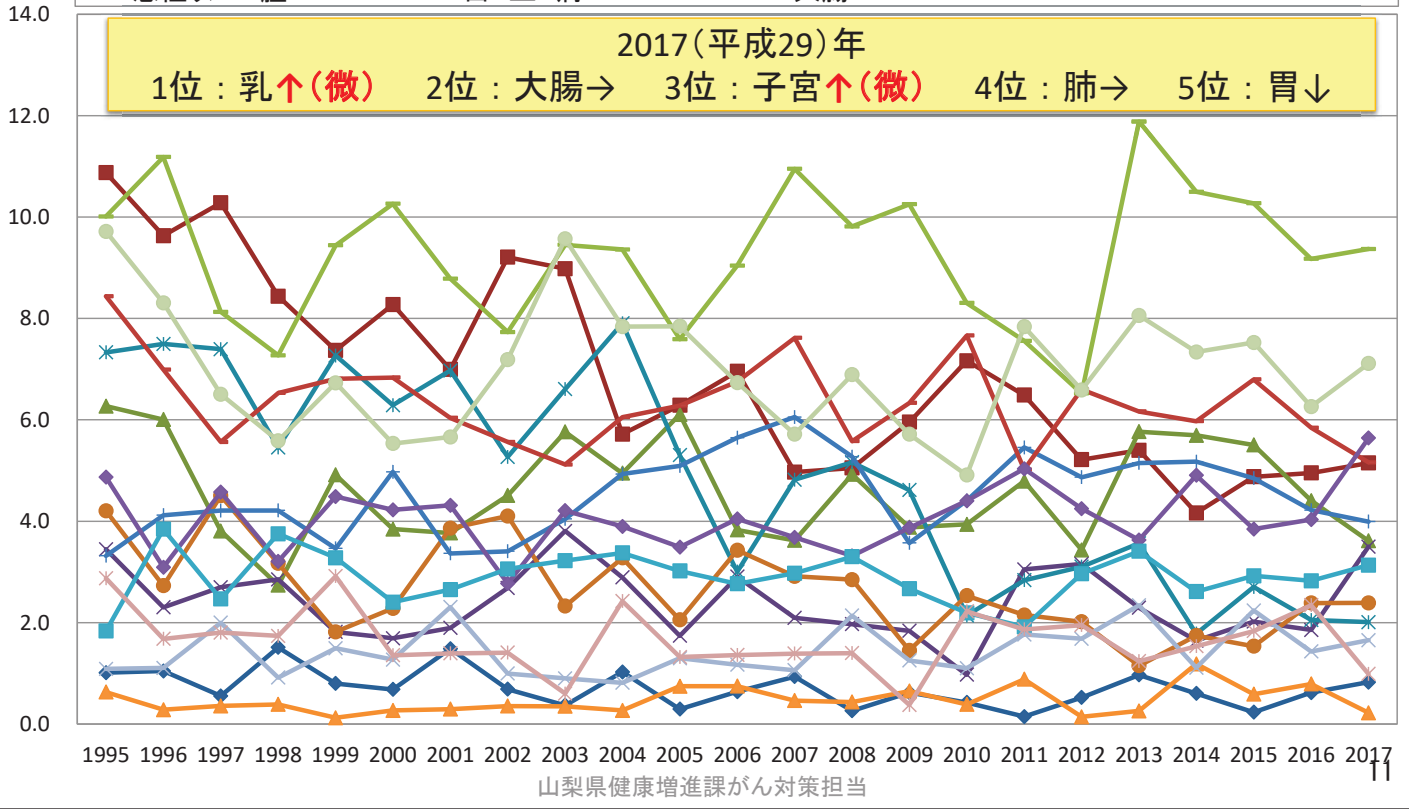


(男性)部位別75歳未満年齢調整死亡率推移



(女性)部位別75歳未満年齢調整死亡率推移

- ◆ 食道
- ✱ 肝及び肝内胆管
- ▲ 乳房
- ✱ 悪性リンパ腫
- 胃
- 胆のう及び他の胆道
- ◆ 子宮
- ✱ 白血病
- ▲ 結腸
- ✱ 脾
- 卵巣
- 大腸
- ✱ 直腸S状結腸移行部
- 気管、気管支及び肺
- ▲ 膀胱の悪性新生物



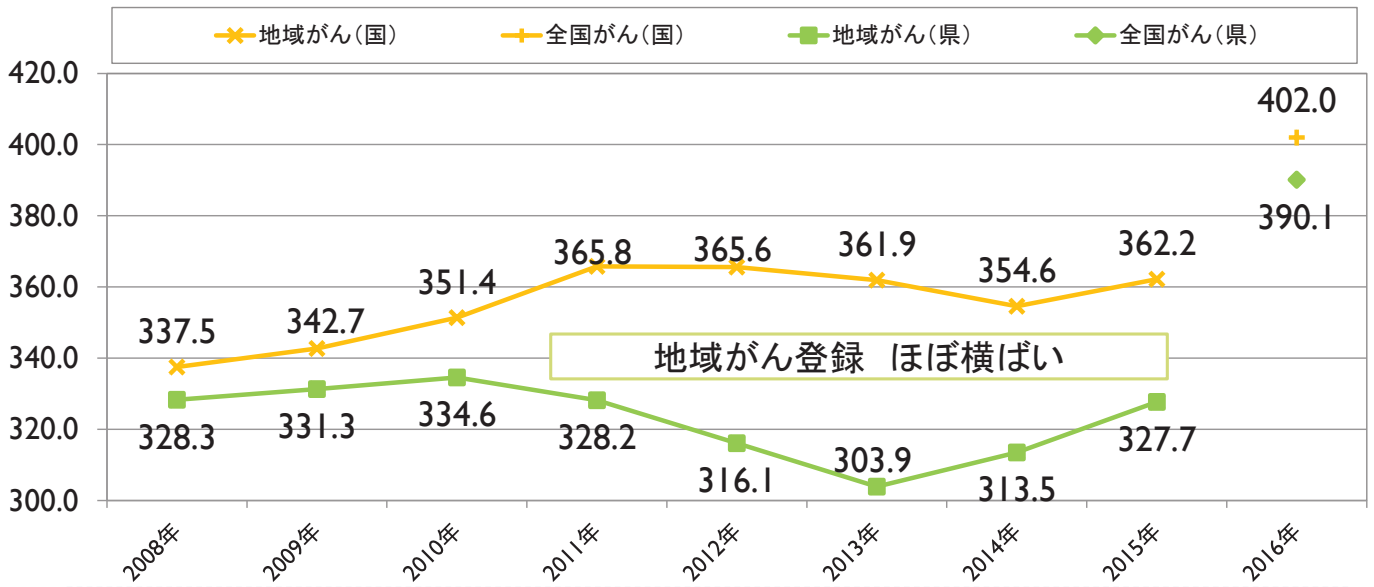
がんの罹患統計

(国・県のがん罹患)

山梨県のがん罹患の現状（上皮内がんを除く）

○ 全国がん登録「がん登録等の推進に関する法律」2016(平成28年)～
がんと診断したら病院の届出が義務化

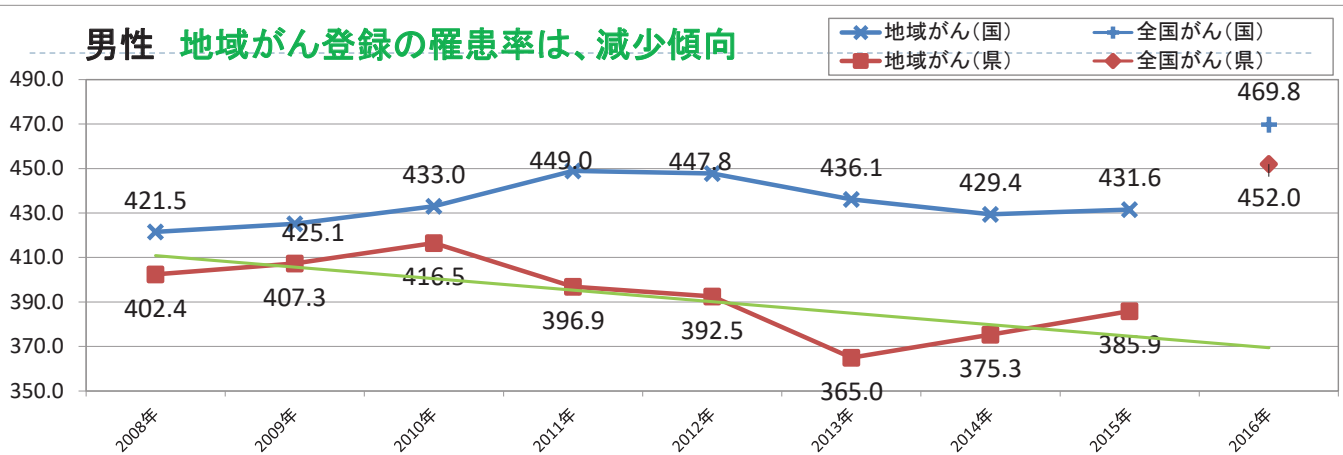
○ 年齢調整罹患率は全国を下回っており、地域がん登録では、ほぼ横ばい。



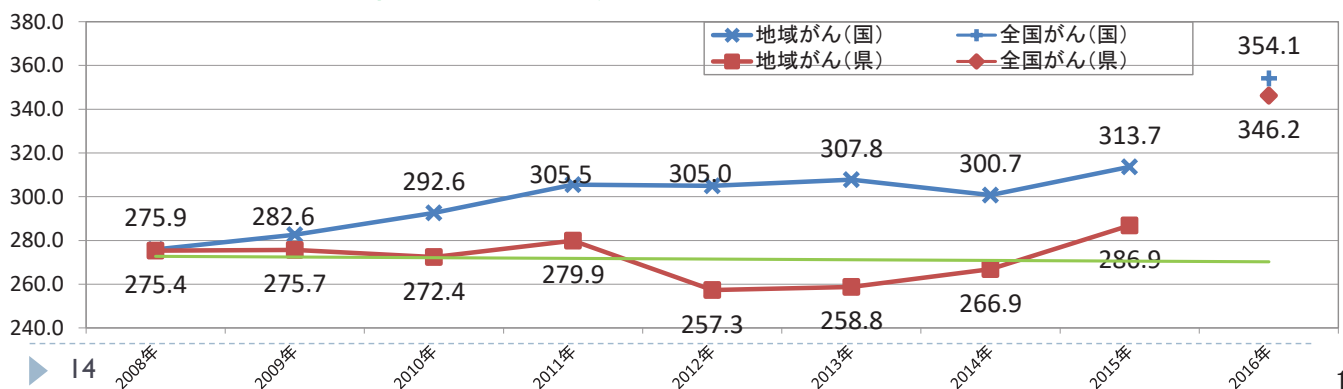
出典：国立がん研究センターがん対策情報センター 13

年齢調整罹患率男女別年次推移（人口10万対）

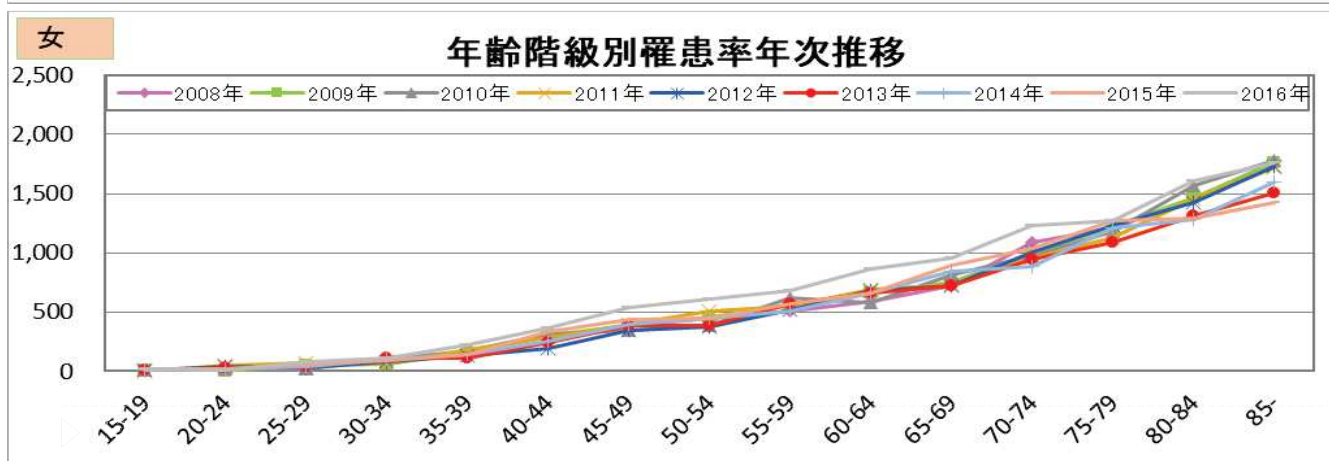
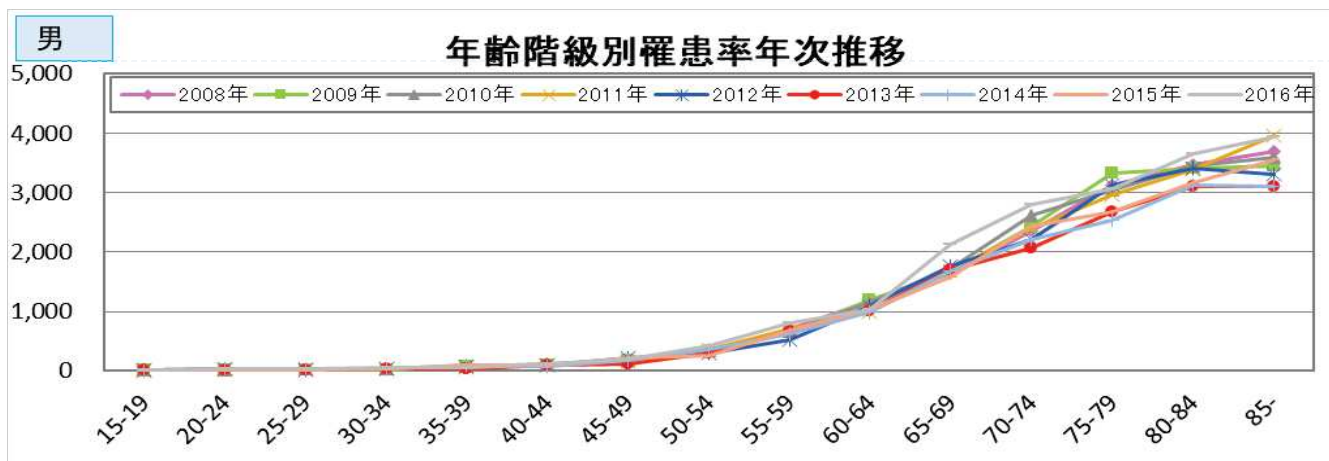
男性 地域がん登録の罹患率は、減少傾向



女性 地域がん登録の罹患率は、男性より低いがほぼ横ばい



年齢階級別罹患率（人口10万対：山梨県）



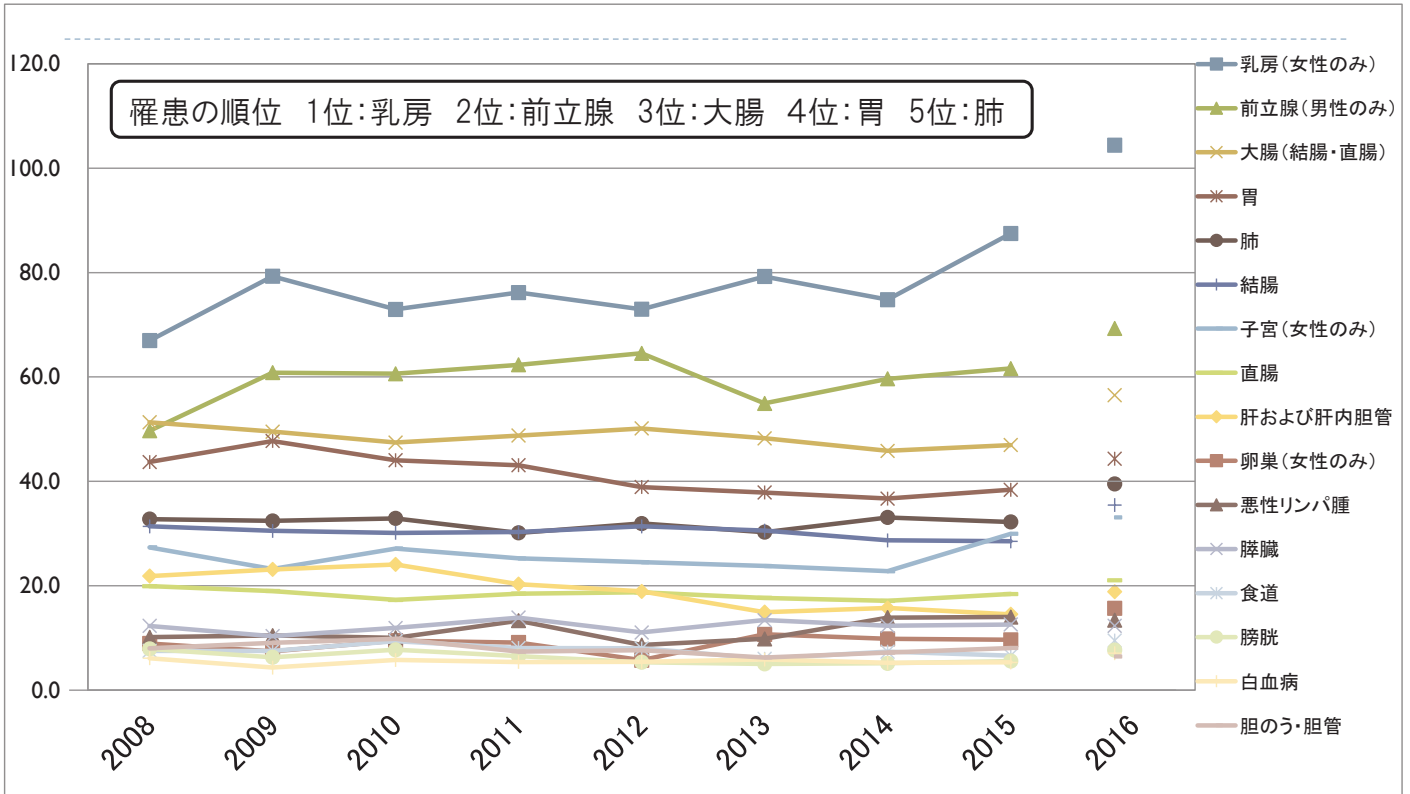
15

2008年～2016年がん罹患数（全体）の推移 （上皮内がんを除く）

(件)	地域がん登録									全国がん登録
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	
全体	5,280	5,402	5,507	5,435	5,380	5,116	5,281	5,528	6,593	
男性	3,075	3,158	3,242	3,168	3,161	2,977	3,052	3,210	3,819	
女性	2,205	2,244	2,265	2,267	2,219	2,138	2,229	2,318	2,773	

全国がん登録となり1.2倍(20%増)
(内訳: 県外15% 県内5%の増加)

部位別年齢調整罹患率（人口10万対）（上皮内がんを除く）



がんの種類(部位)別の年齢調整罹患率は、女性のみや男性のみを母数としている乳がんや前立腺がんで高くなっている。胃がんや肝がんは減少傾向であるように見えるものの、死亡率に比べてデータの得られる期間が短いことから現時点では長期的な変化については明確ではない。

出典：山梨県がん罹患統計 17

山梨県のがん罹患の現状

○ 2016(平成29)年の部位別年齢調整罹患率の順位と2008(平成20)年からの推移

		1位	2位	3位	4位	5位
全体 * 男性女性のみのがんは除く	2016年 年齢調整罹患率	大腸	胃	肺	肝	悪性リンパ腫
	2008～2016年の 年齢調整罹患率の推移	(→)	(↓)	(→)	(↓)	(→)
男性	2016年 年齢調整罹患率	大腸	前立腺	胃	肺	肝
	2008～2016年の 年齢調整罹患率の推移	(→)	(↑)	(↓)	(→)	(↓)
女性	2016年 年齢調整罹患率	乳	大腸	子宮	胃	肺
	2008～2016年の 年齢調整罹患率の推移	(↑)	(→)	(→)	(→)	(→)

がん登録情報のデータ精度の全国との比較

出典：全国がん罹患モニタリング集計（MCIJ） 山梨県がん罹患集計

	DCN		DCO		IM比	
	全国	山梨県	全国	山梨県	全国	山梨県
MCIJ掲載基準	30%未満		25%未満		1.5以上	
2008年	20.2	21.8	13.6	11.9	2.13	2.14
2009年	20.1	19.6	13.4	9.5	2.20	2.32
2010年	18.0	19.4	12.0	10.2	2.23	2.24
MCIJ(基準A) * 推計値採用基準	20%未満		10%未満		2.0以上	
2011年	11.9	17.4	5.3	7.7	2.31	2.13
2012年	13.1	15.9	5.6	7.4	2.31	2.11
2013年	8.3	18.6 ⁽¹⁾	5.0	7.9 ⁽¹⁾	2.30	2.17 ⁽¹⁾
		5.9 ⁽²⁾		4.4 ⁽²⁾		2.05 ⁽²⁾
2014年	7.8	10.9	4.7	6.1	2.33	2.05
2015年	7.3	9.9	4.4	4.8	2.40	2.19
	DCI (20%未満)		DCO (10%未満)		MI比 (0.4以下)	
2016年	4.5	5.9	3.2	3.2	0.37	0.37

- ▽ MCIJ : 全国がん罹患モニタリング集計（上皮内がんを除く）
- ▽ DCN : death certificate notifications 死亡診断書で初めて把握されたもの
- ▽ DCO : death certificate only 死亡票のみで登録されているもの
- ▽ DCI : death certificate initiated 死亡者情報票を契機に登録されたがん
- ▽ IM比 : 罹患数と死亡数の比(罹患数/死亡数)
- ▽ MI比 : 死亡数と罹患数の比(死亡数/罹患数)
- ▽ (1) : 山梨県2013年暫定値（2016年1月地域がん登録データベースシステム集計）
- ▽ (2) : 山梨県2013年確定値（2017年3月全国がん登録システム集計）
- ※ (1) (2) 地域がんDBSから全国がん登録システムへの変更に伴い集計仕様が変更となり差異が生じる

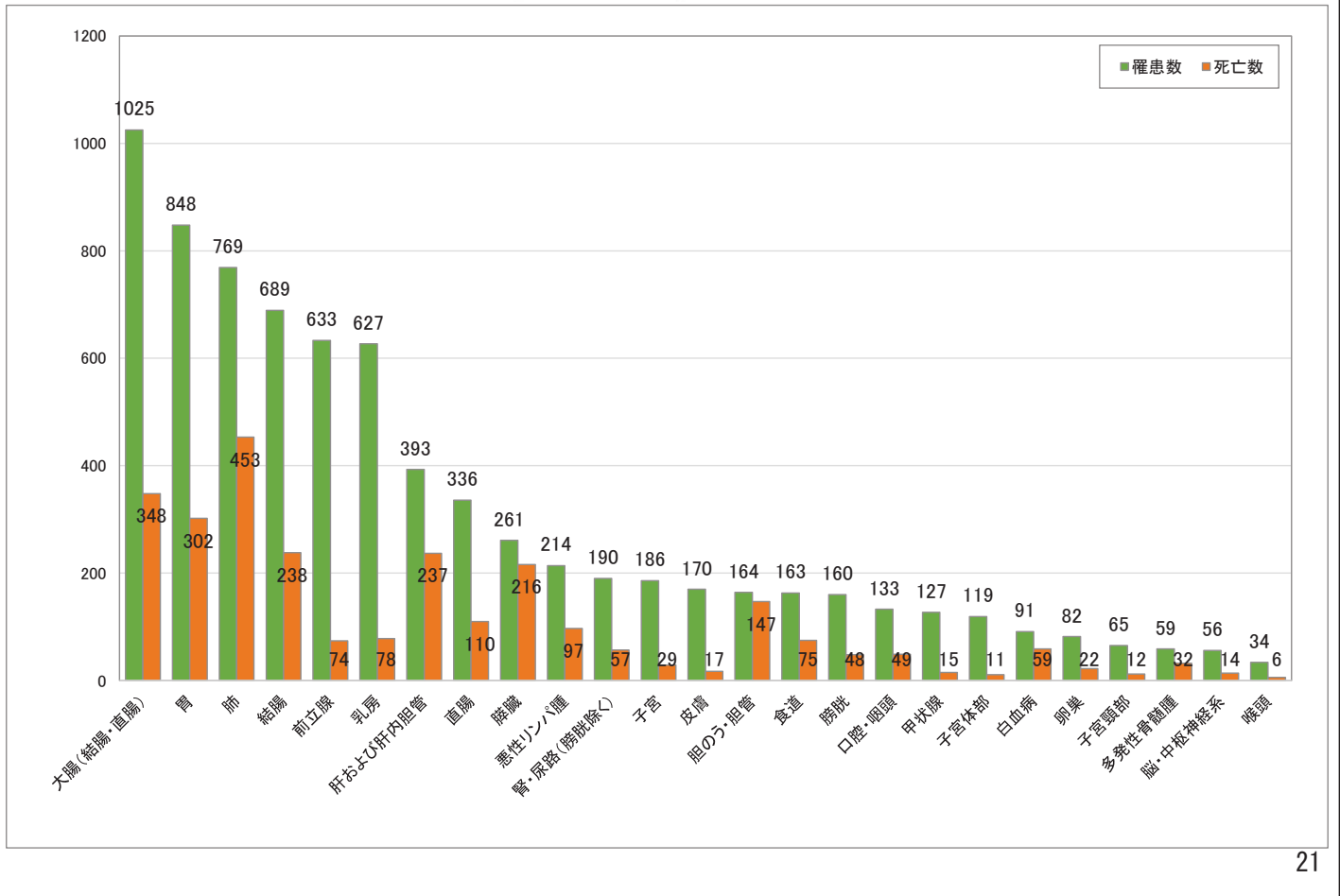
がん登録は、がんに罹ったことを診断したときに医療機関が登録を行う仕組みである。死亡時に初めて把握される割合(DCN)や死亡時の情報しかない割合(DCO)が低い方が精度が高く、山梨県は2011年に診断された症例以降は高い精度を保っている。

罹患者の生存率等

（がんの予後情報等）

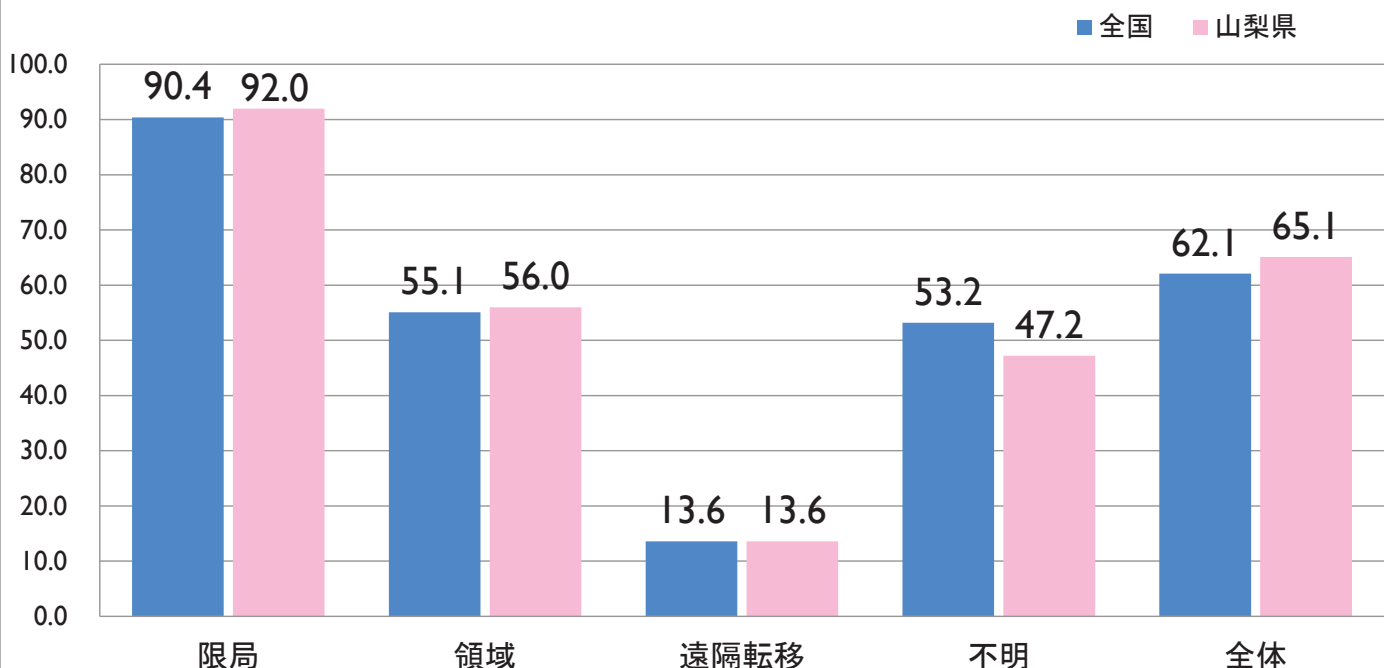
罹患数と死亡数の比較 (2016年)

出典:山梨県がん罹患集計



全がん進行度別5年相対生存率の全国との比較(%)

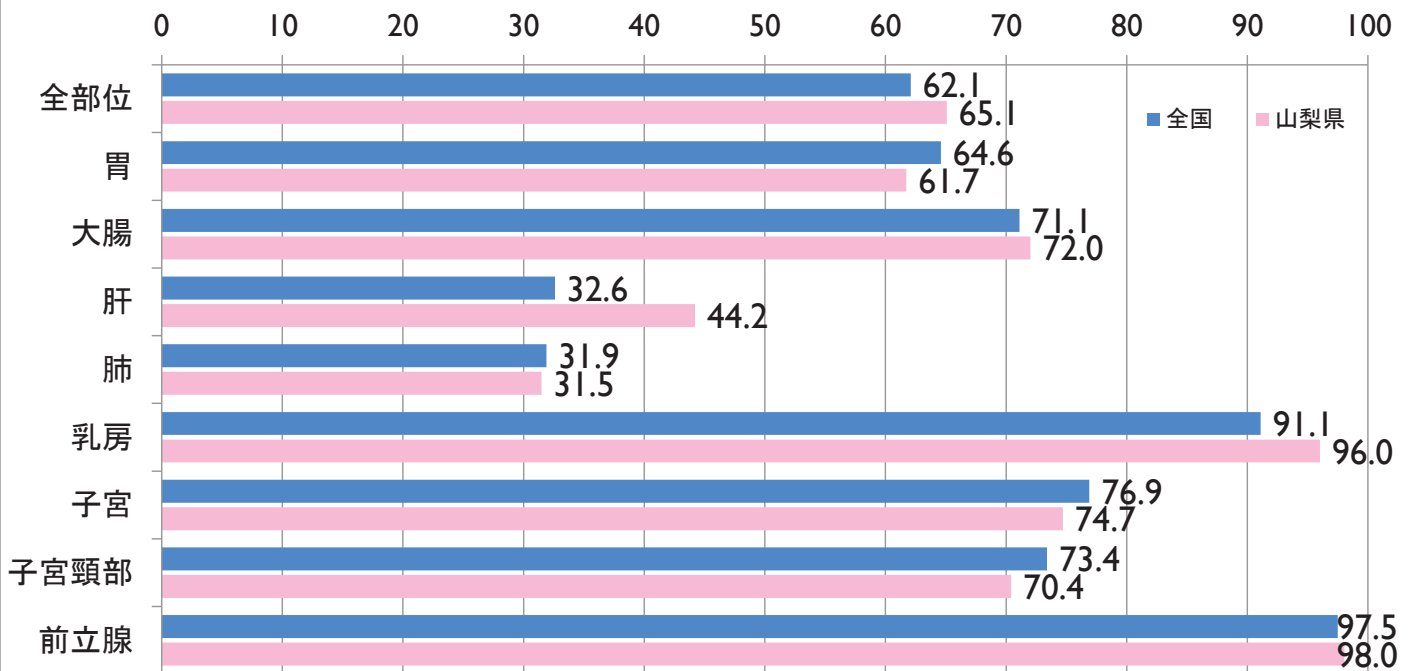
- 早期がん(限局)で発見された場合は、9割を超える方が5年以上生存している。
- 遠隔転移等の進行がんで発見された場合は、8割を超える方が5年以内に亡くなっている。



山梨県出典：2008-2009年診断例生存率山梨県がん罹患集計
 全国データ出典：2006～2008年生存率報告 (MCIJ-S)

部位別5年相対生存率の全国との比較(%)

○ 肝臓がんと乳がんの5年相対生存率は、全国より高く、胃がんと子宮頸がんは、若干低くなっているが、全部位では、全国に比べ高くなっている。



山梨県出典：2008-2009年診断例生存率山梨県がん罹患集計
全国データ出典：2006~2008年生存率報告 (MCIJ-S) 23

がん登録情報の活用

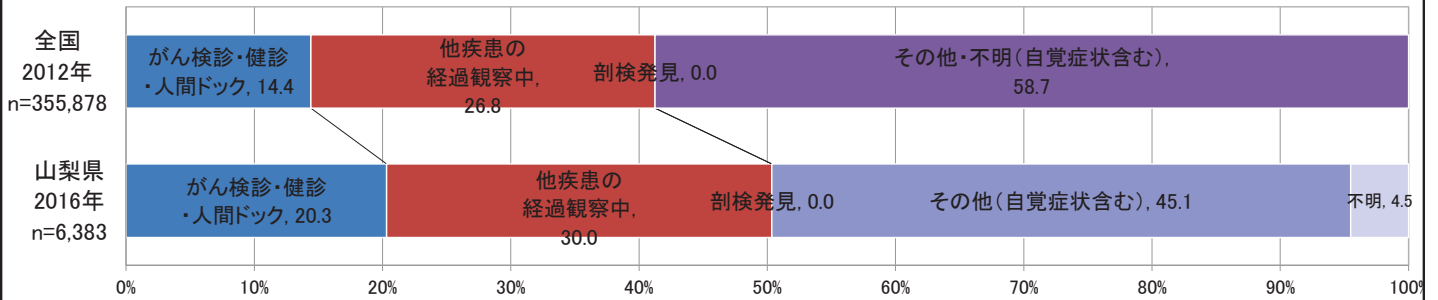
(5がん検診に関する情報)

がん罹患時の発見経緯と進展度の全国との比較(%)

○ 山梨県におけるがん罹患時の発見経緯の全国との比較(%)

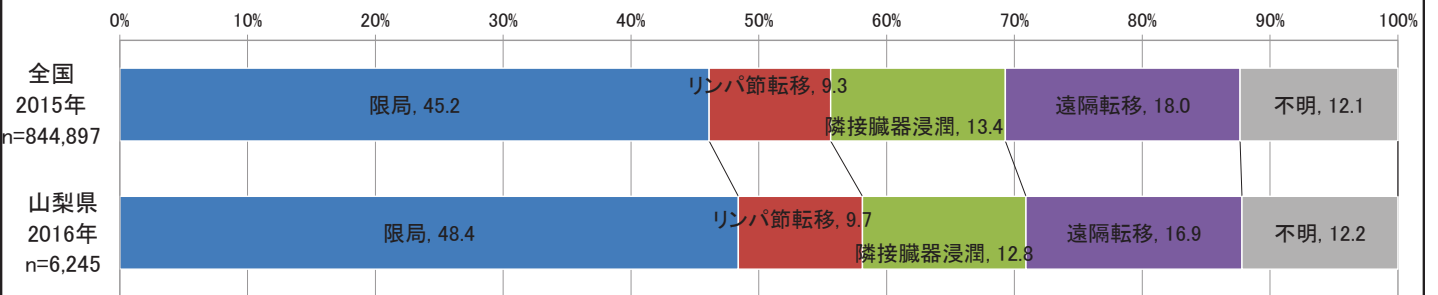
出典：国立がん研究センターがん対策情報センター
山梨県がん罹患集計

発見経緯(全部位)



○ 山梨県におけるがん罹患時の進展度の全国との比較(%)

進展度 全部位

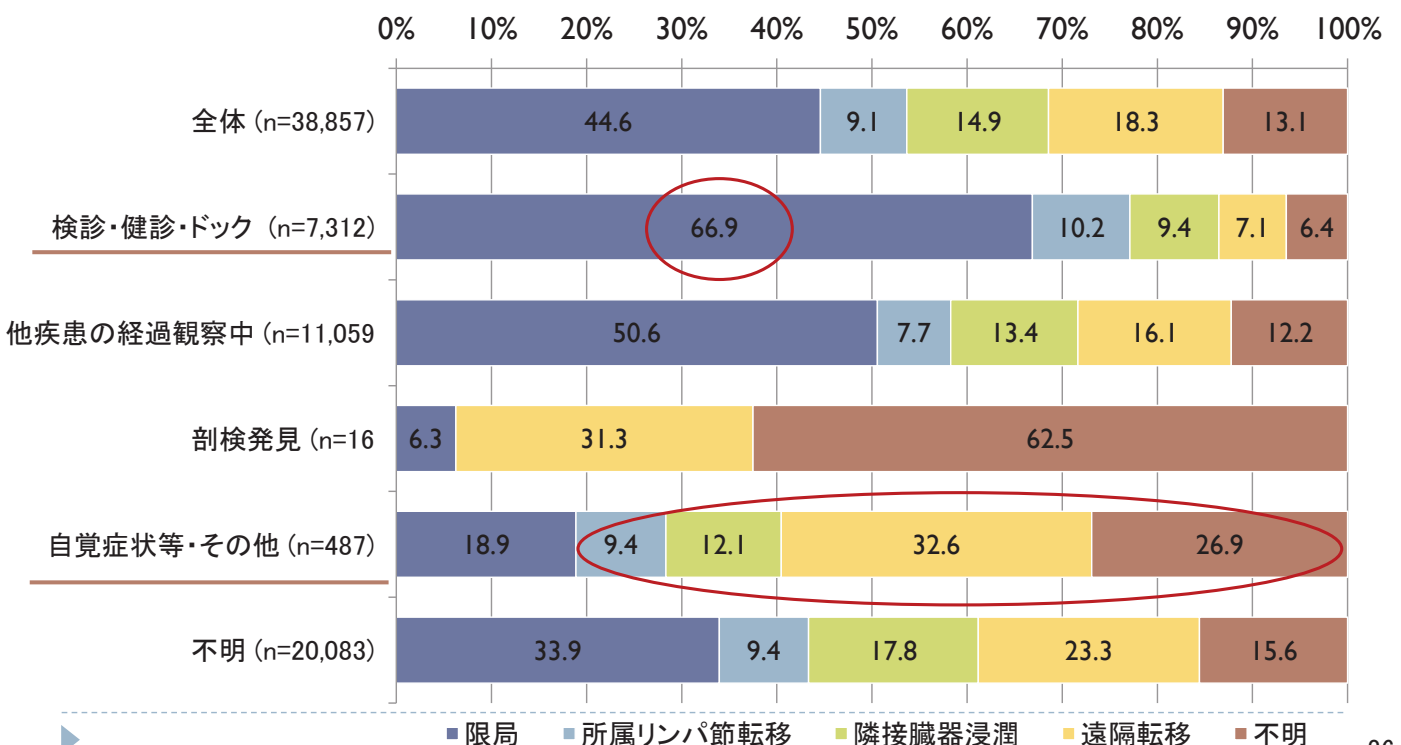


がんと診断される経緯については、がん検診や他疾患で経過観察をしていた時の他、自覚症状があつて医療機関を受診して発見される場合などがあるが、**山梨県は検診で見つかる割合が全国に比べて高いが、限局の割合は同じ状況である。**

全がん発見経緯別の進行度(2008年～2015年全部位)(%)

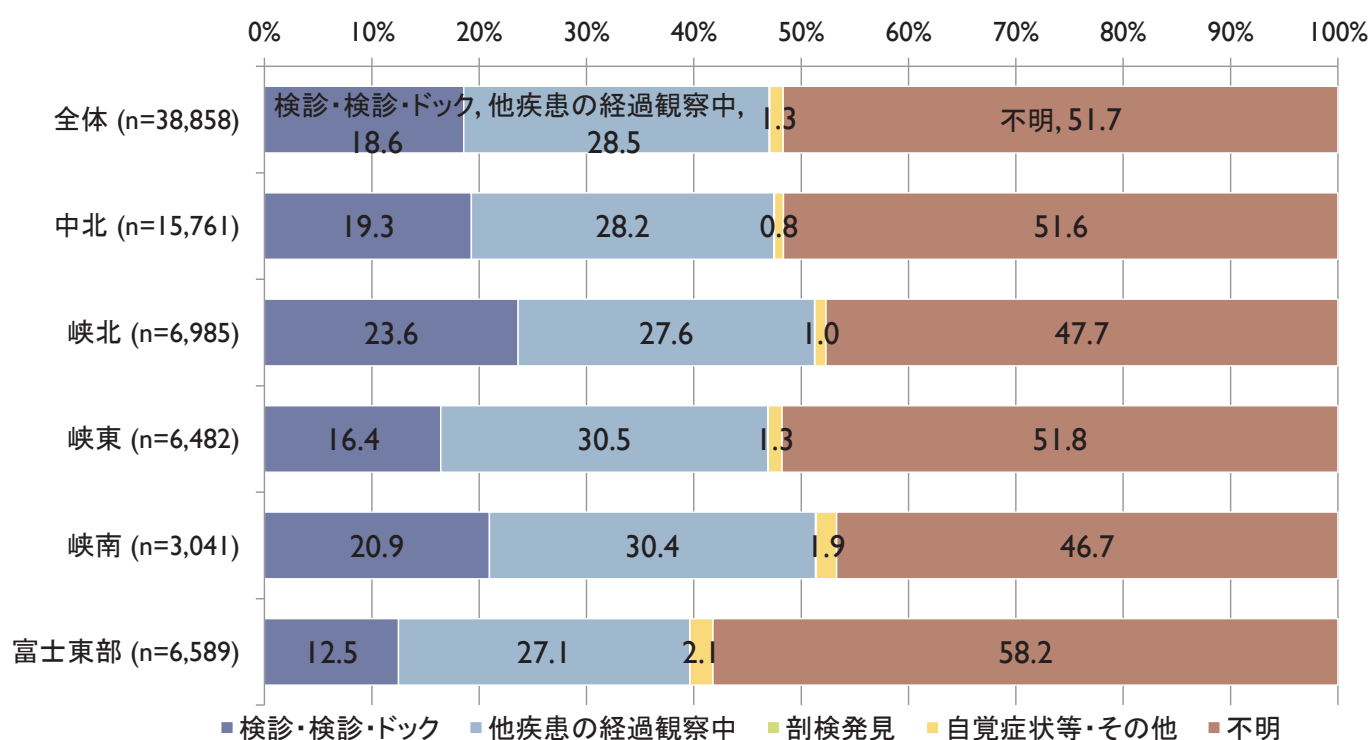
出典：山梨県がん罹患集計

- がん検診などで発見された場合は、概ね7割が早期がん(限局)である。
- 自覚症状等で発見された場合は、概ね8割が進行がん(遠隔転移等)である。



全がん保健所管内別の発見経緯(2008～2015年)

○ 検診等で発見される全がんの割合に、地域差が見られる。

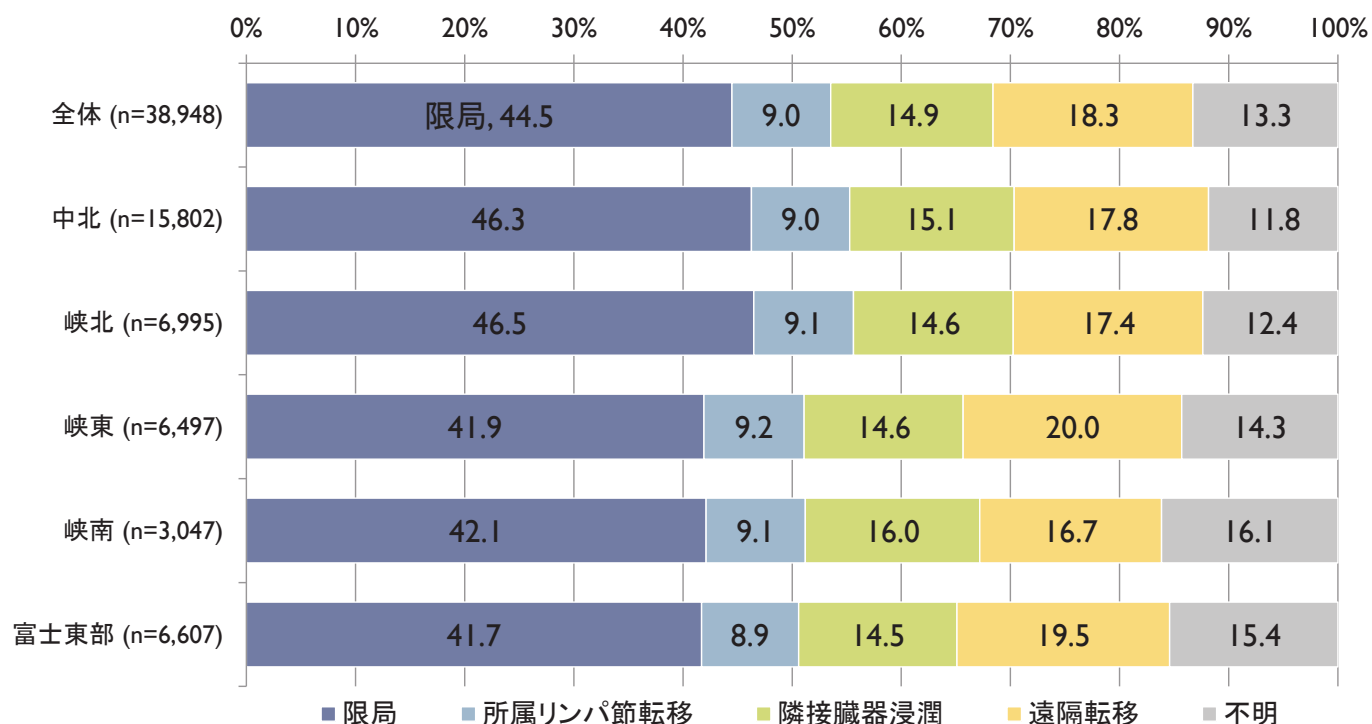


<発見経緯:検診> 保健所間の差:最大11.1ポイント

出典：山梨県がん罹患集計 27

全がん保健所管内別の進行度(2008～2015年)

○ 限局で発見される全がんの割合に、地域差が見られる。



<進行度:限局> 保健所間の差:最大4.8ポイント

出典：山梨県がん罹患集計 28

山梨県がん対策推進計画の第2次と第3次の比較

第2次(H25-H29)

第1 全体目標

1. がんによる死亡者の減少
10年間でがんの年齢調整死亡率の20%減少
2. すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上
3. がんになっても安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がんの予防
2. がんの早期発見
3. がん医療の充実
 - ① 放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とチーム医療の推進
 - ② がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成
 - ③ がんと診断された時からの緩和ケアの推進
 - ④ 地域の医療・介護サービス提供体制の構築
4. 相談支援と情報提供
5. がん登録
6. がん研究
7. 小児がん・希少がんへの取組
8. がん教育・普及啓発
9. 社会的な問題への取組

分野別施策を再整理

※下線は新たな計画に追加された施策
※(新)はH30年度 新規施策

第3次(H30-H35)

第1 全体目標

「がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

- (1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- (2) 患者本位のがん医療の実現
- (3) 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

取組みの指標

「継続的に死亡率の低減を目指す」

～ 75歳未満年齢調整死亡率を10年前に比べ概ね2割減少させ続けていく～

第2 分野別施策

1. がん予防 がんにかからない対策 早期にがんを発見する対策

- (1) がんの1次予防
- (2) がんの早期発見、**がん検診(新)**
(2次予防)

2. がん医療の充実 先進的ながん医療の推進する対策

- (1) がんゲノム医療(継)
- (2) がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3) チーム医療
- (4) がんのリハビリテーション(新)
- (5) 支持療法(継)
- (6) 希少がん、難治性がん(継)
(それぞれのがんの特性に応じた対策)
- (7) 小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん(継)
- (8) がん登録

3. がんとの共生 がんになっても安心して暮らせる 社会の構築を図る対策

- (1) がんと診断された時からの緩和ケア
- (2) 相談支援、情報提供
- (3) 社会連携に基づくがん対策・**がん患者支援(新)**
- (4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5) ライフステージに応じたがん対策(継)

4. これらを支える基盤の整備 県民に正しい知識を普及する対策ほか

- (1) がん研究
- (2) 人材育成
- (3) がん教育、普及啓発

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1. 関係者等の連携協力の更なる強化
2. 県による計画の策定
3. がん患者を含めた県民の勢力
4. 患者団体等との協力
5. 目標の達成状況の把握
6. 計画の見直し

29

指針に基づくがん検診（対策型検診）の必要性

- ▶ がん検診は、公共施策として行う住民検診などの**対策型検診**と、人間ドックなどの**任意型検診**がある。
- ▶ 行政が行う**対策型検診**の目的は、対象集団の**がん死亡率の減少**させること

⇒ つまり...

- ▶ 死亡率を下げる**科学的根拠**があり、かつ検診による害**(不利益)**の少ない検診の**受診率**を向上させ、**がんの死亡率減少**を図る。

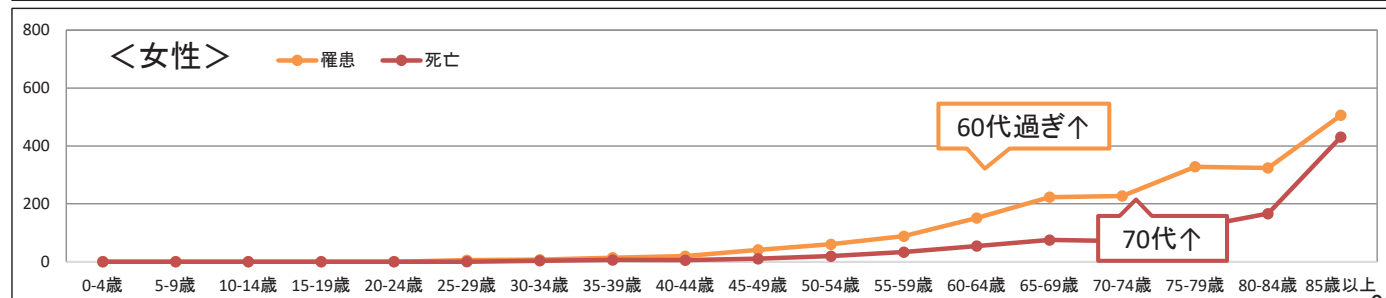
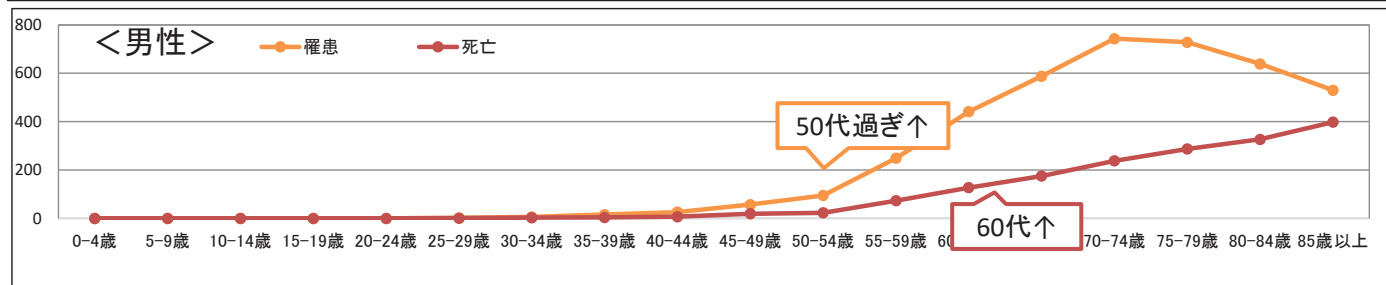
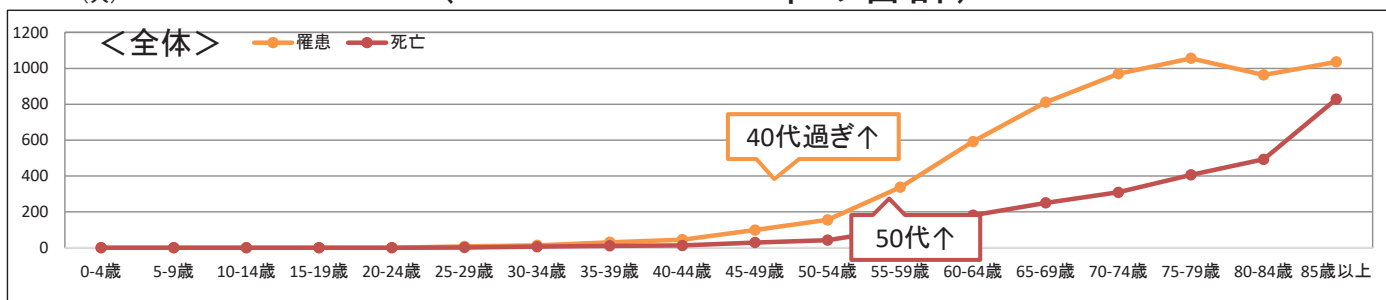


そのために、適切な精度管理が必須！

胃がんについて

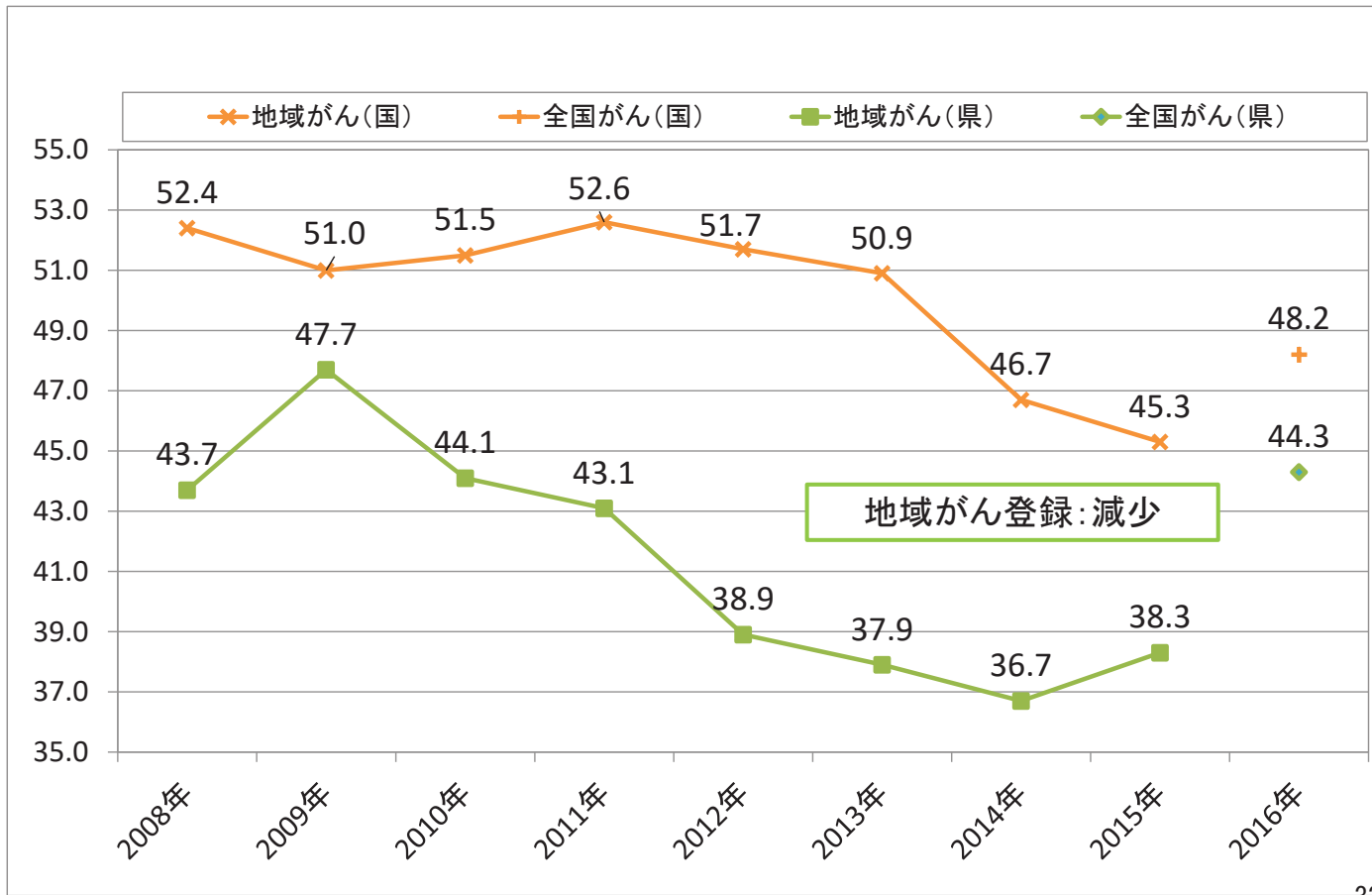
胃がんの年齢階級別罹患数と死亡数の比 (2008-2015年の合計)

(人)



胃がん年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)

(%)



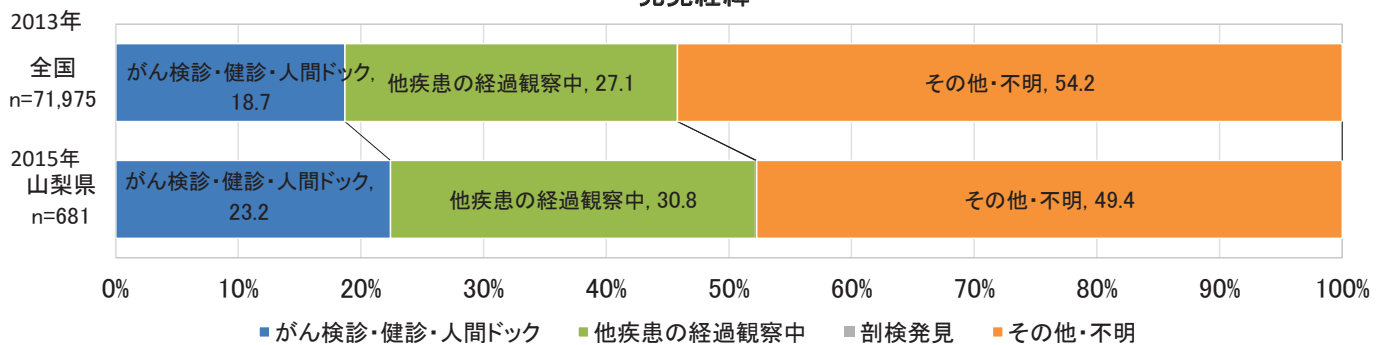
山梨県健康増進課がん対策担当

33

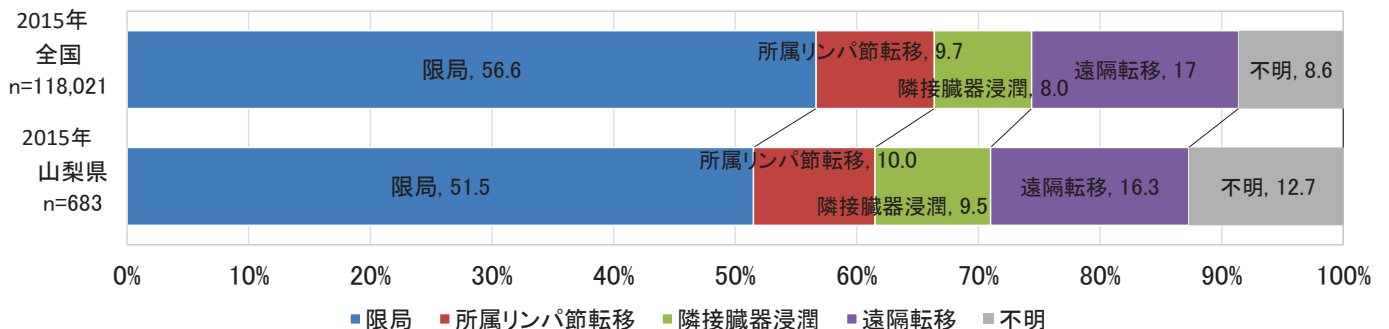
胃がん罹患時の発見経緯と進行度の全国との比較(%) (上皮内がん除く)

出典：国立がん研究センターがん対策情報センター
山梨県がん罹患集計

発見経緯



進行度

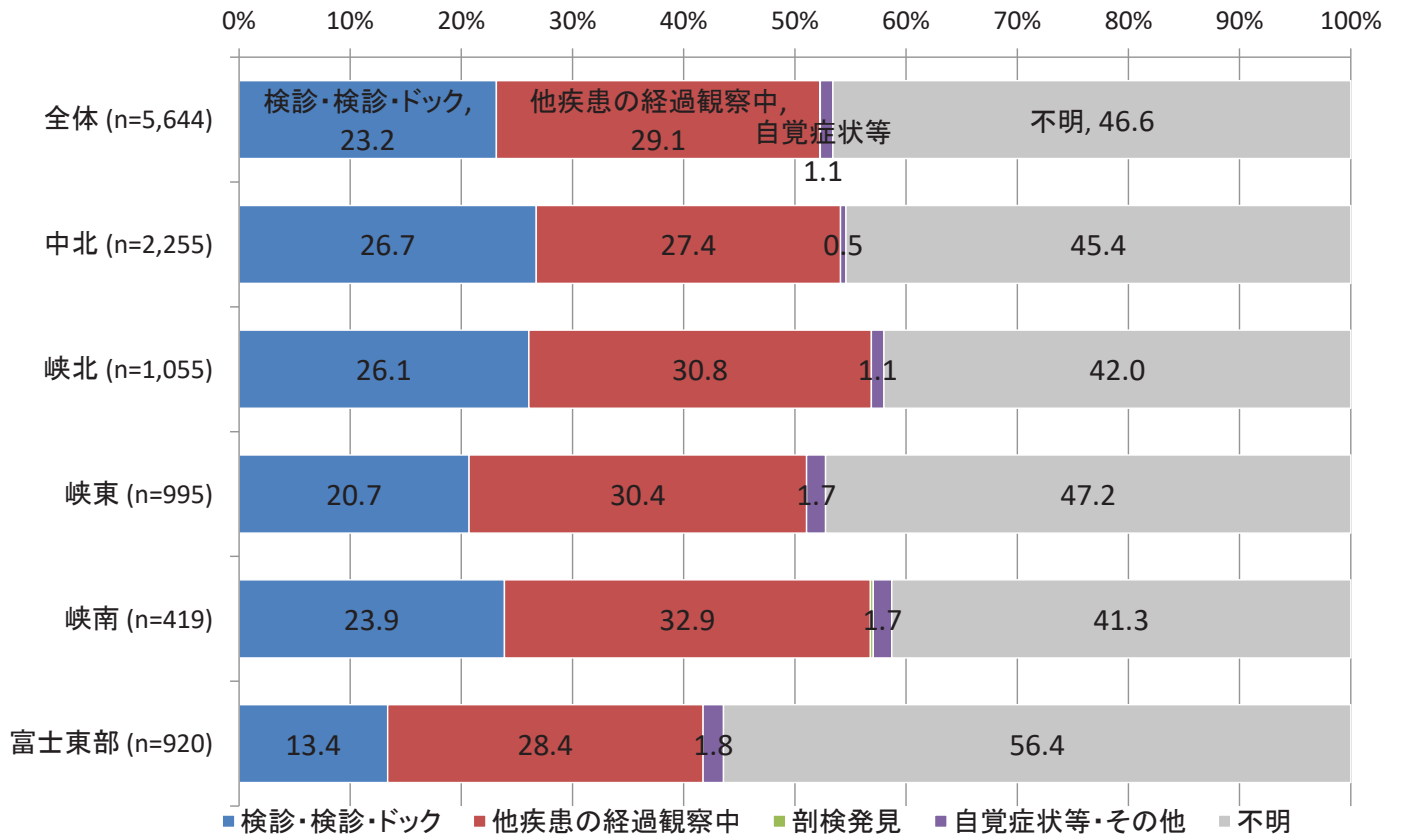


がんと診断される経緯については、がん検診や他疾患で経過観察をしていた時の他、自覚症状があって医療機関を受診して発見される場合などがあるが、山梨県は検診で見つかる割合が全国に比べて高いが限局の割合は低い状況である。

山梨県健康増進課がん対策担当

34

保健所管内別胃がん発見経緯(2008～2015年)

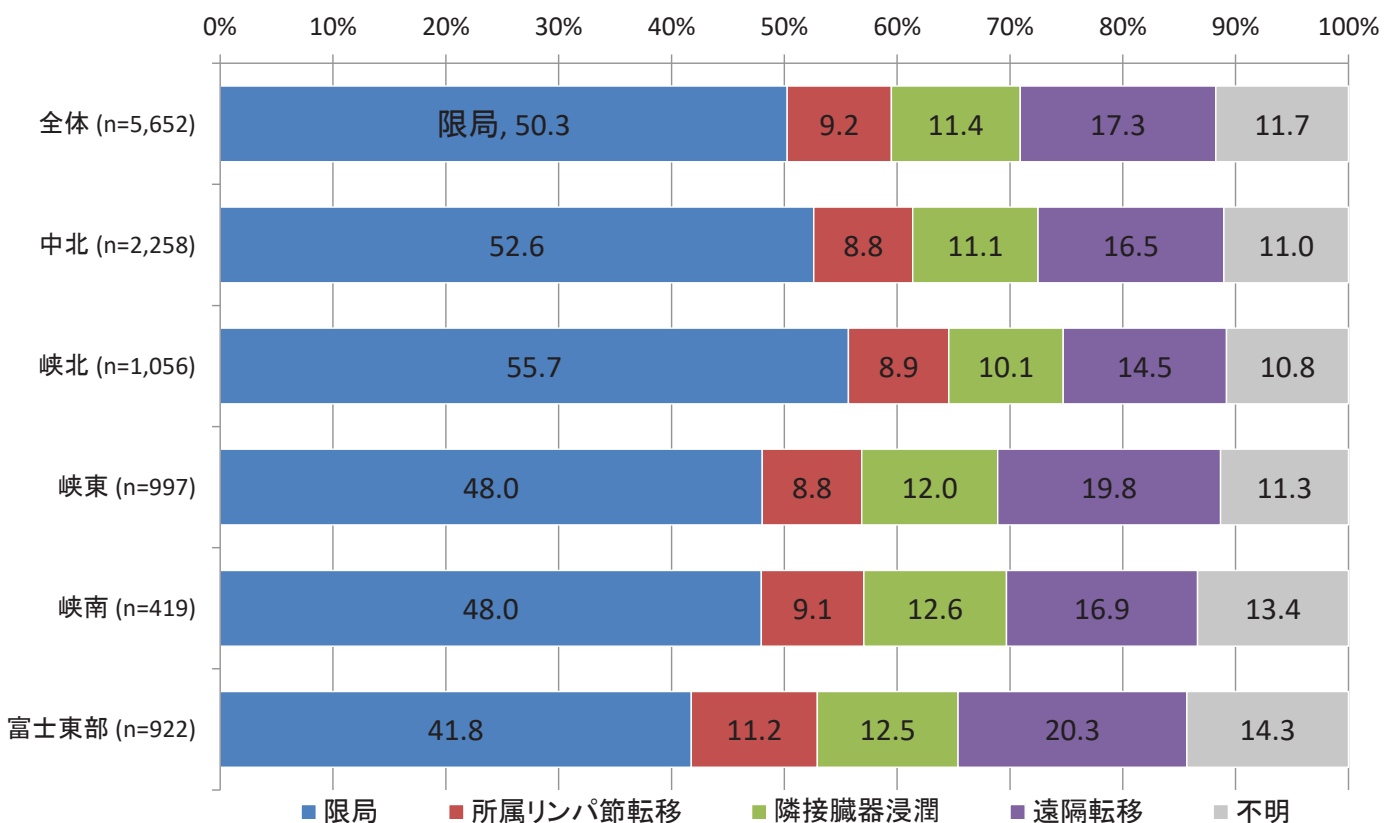


＜発見経緯：検診＞保健所間の差：最大13.3ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

35

保健所管内別胃がんの進行度(2008～2015年)

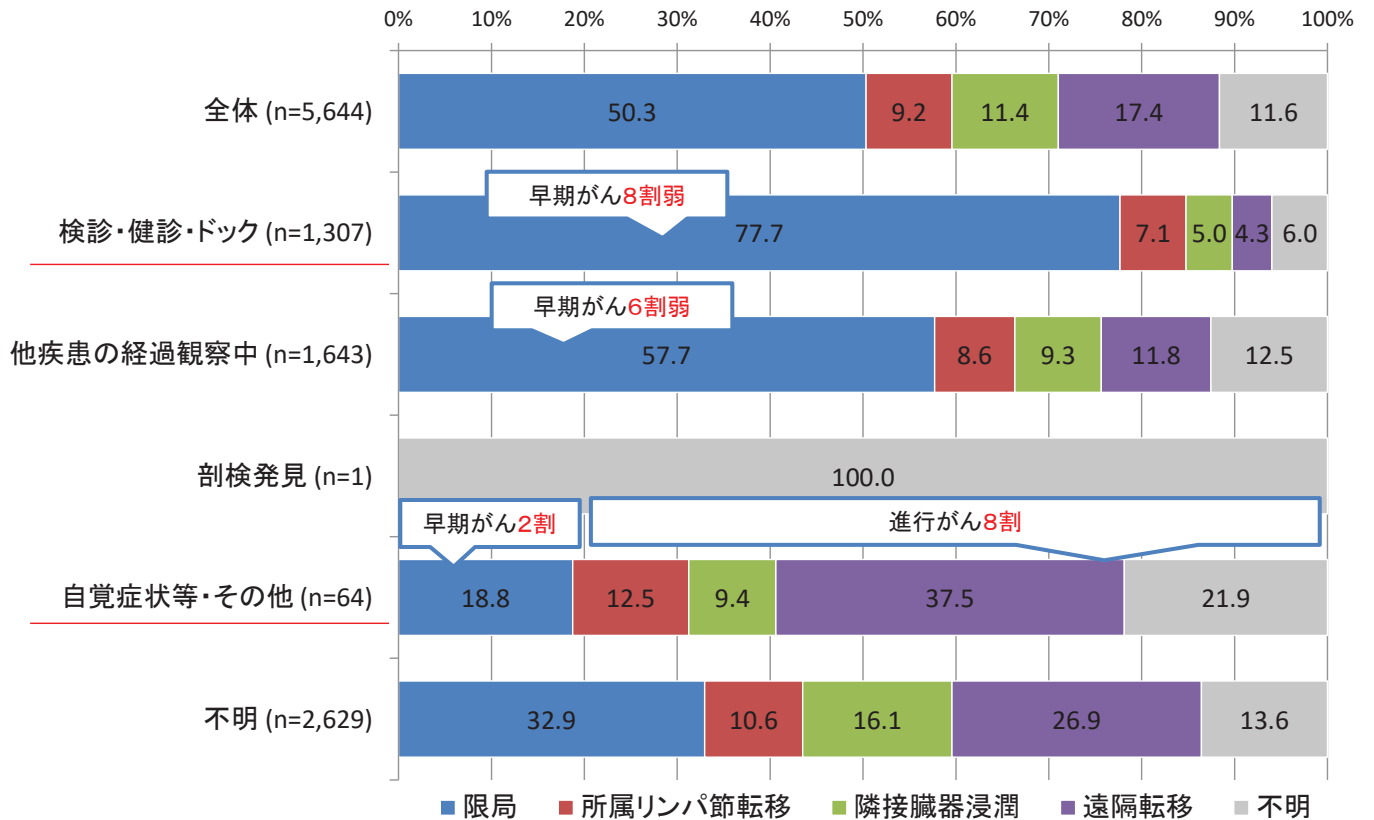


＜進行度：限局＞保健所間の差：最大13.9ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

36

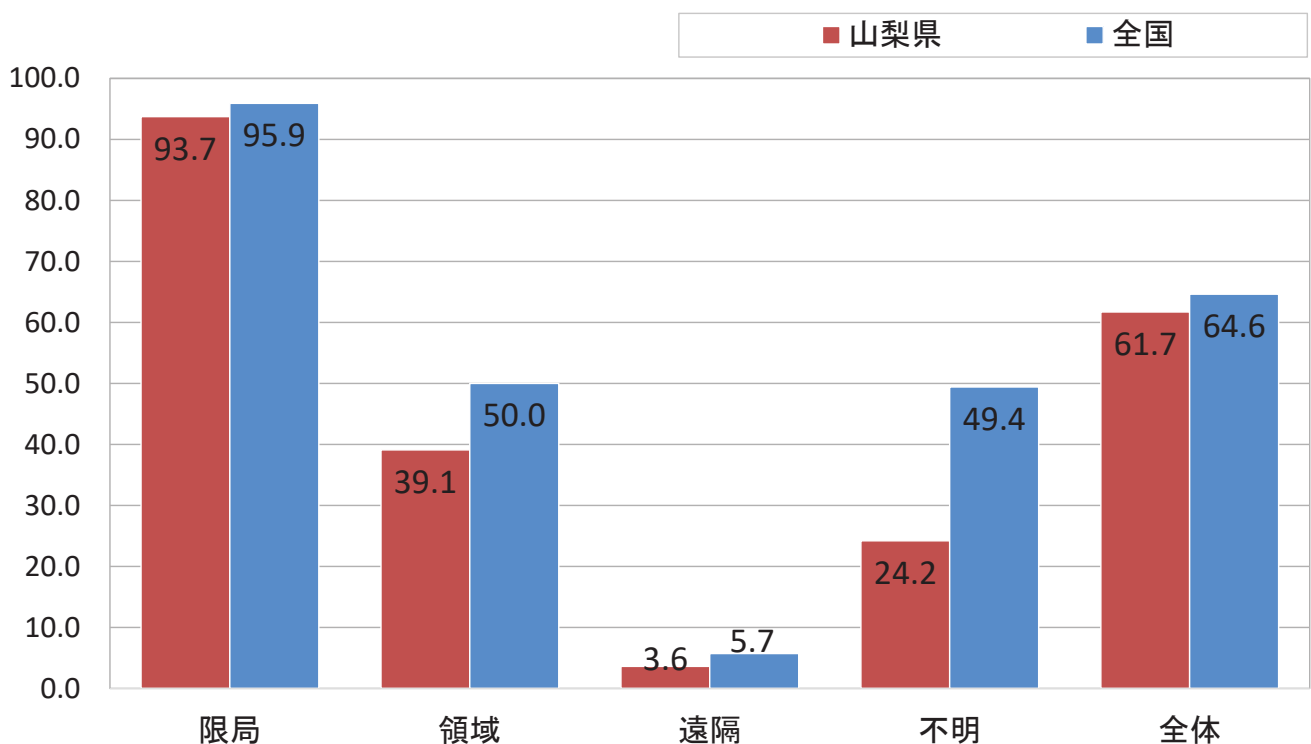
胃がん発見経緯別の臨床進行度 (2008～2015年)



山梨県健康増進課がん対策担当

胃がんの5年相対生存率(2008～2009年)

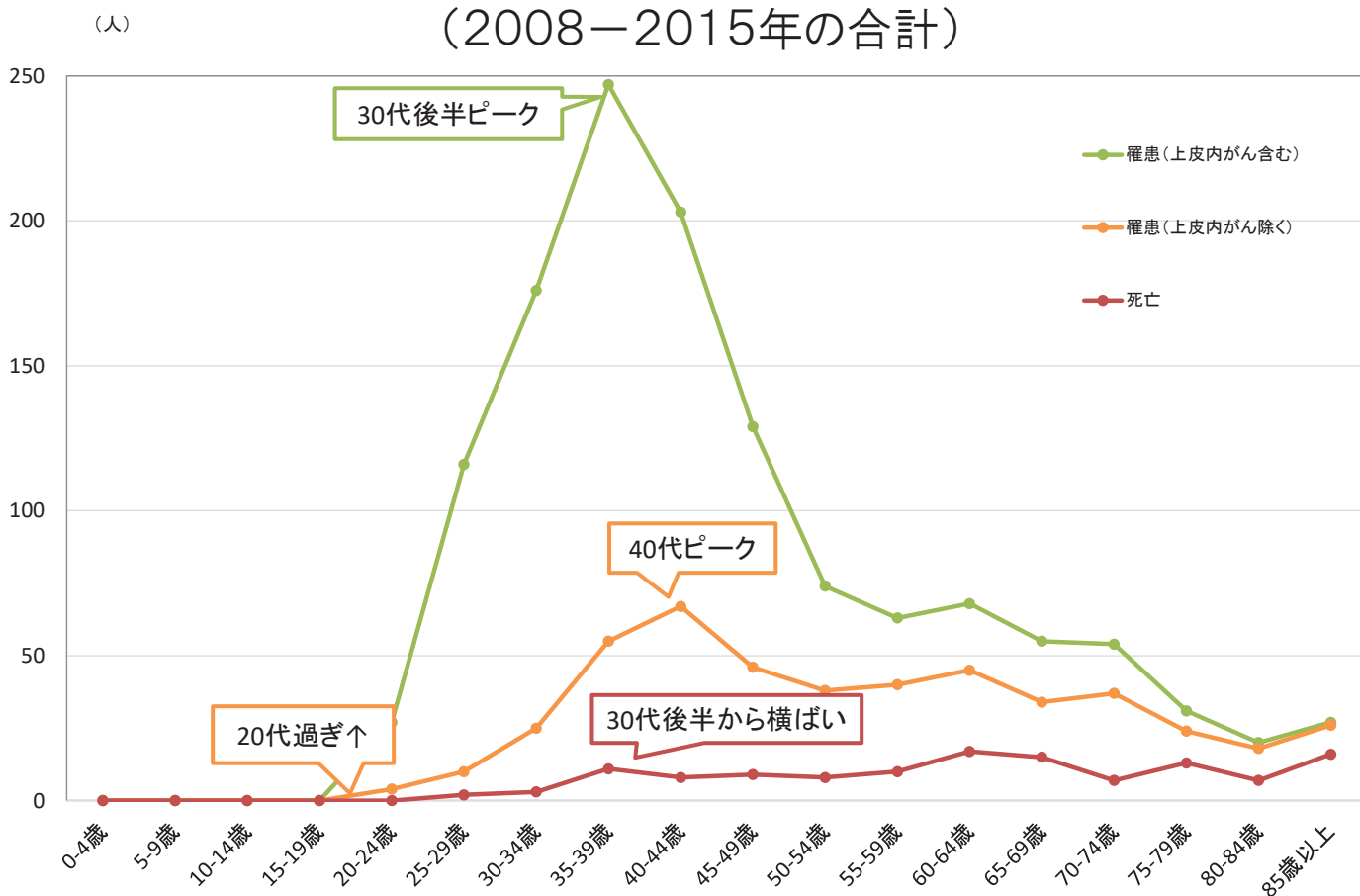
山梨県出典：2008～2009年診断例生存率山梨県がん罹患集計
全国データ出典：2006～2008年生存率報告 (MCJ-S)



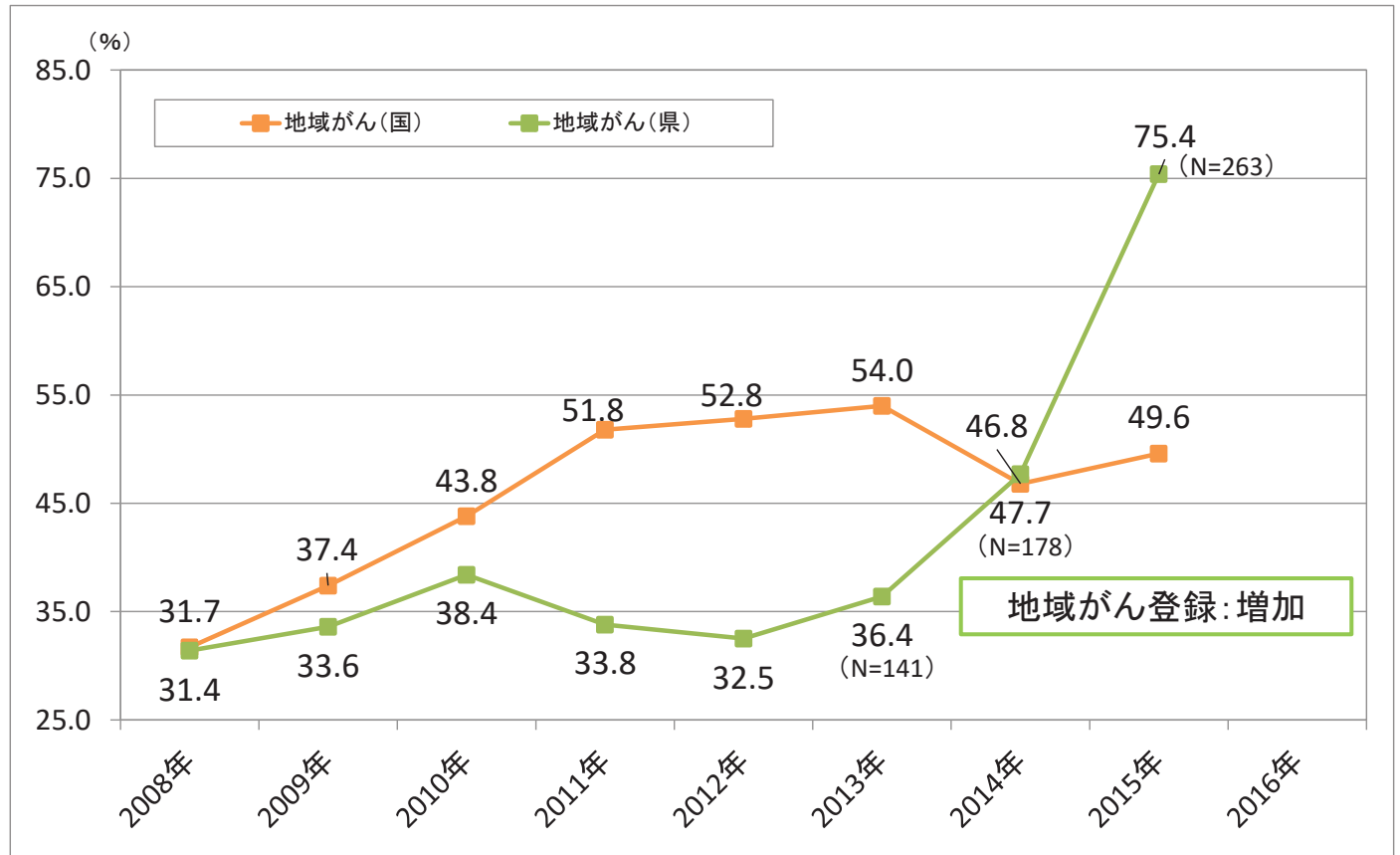
山梨県健康増進課がん対策担当

子宮頸がんについて

子宮頸がんの年齢階級別罹患数と死亡数の比 (2008-2015年の合計)



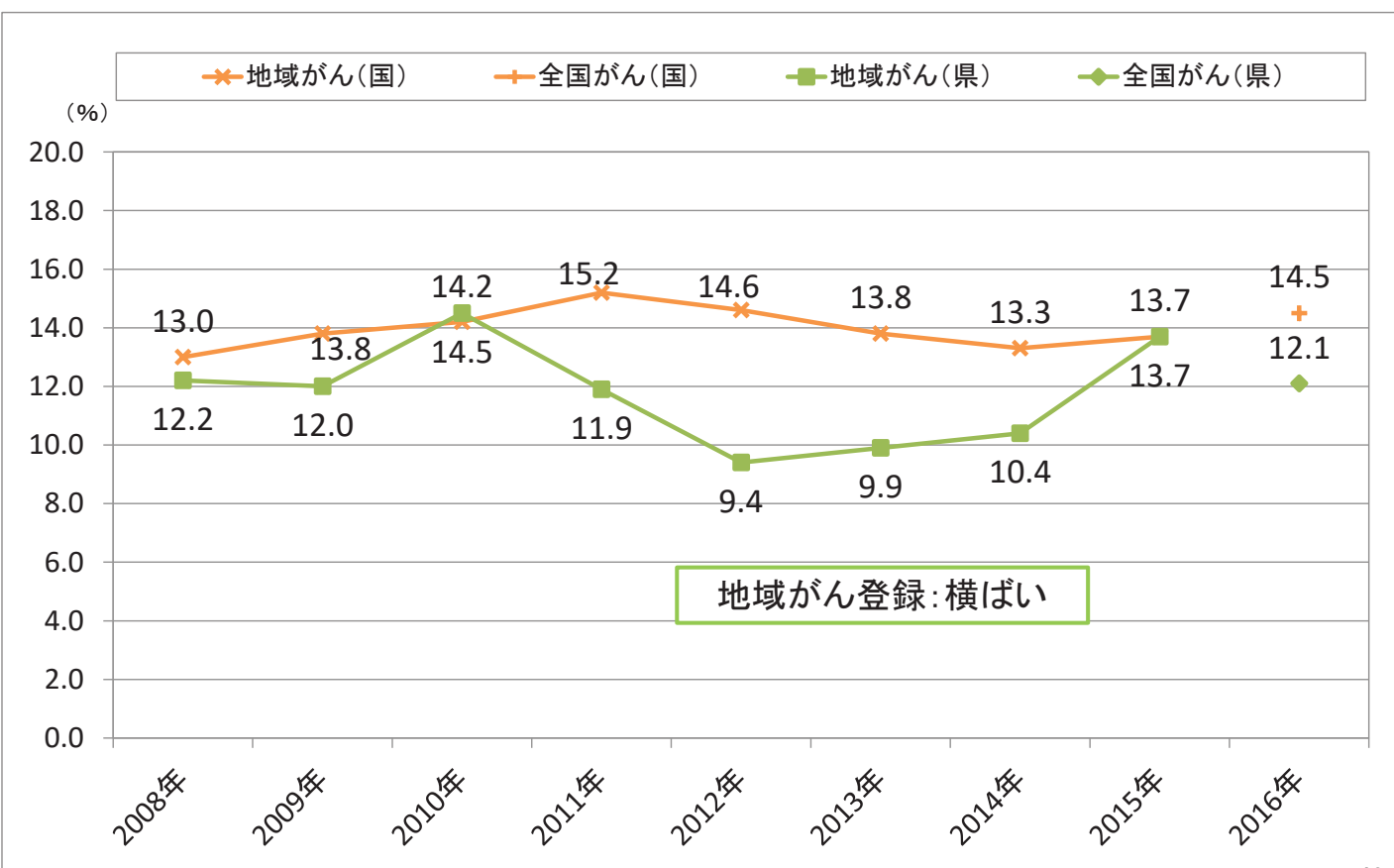
子宮頸がん(上皮内がん含む) 年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)



山梨県健康増進課がん対策担当

41

子宮頸がん年齢調整罹患率の年次推移 (上皮内がん含まず 人口10万対)



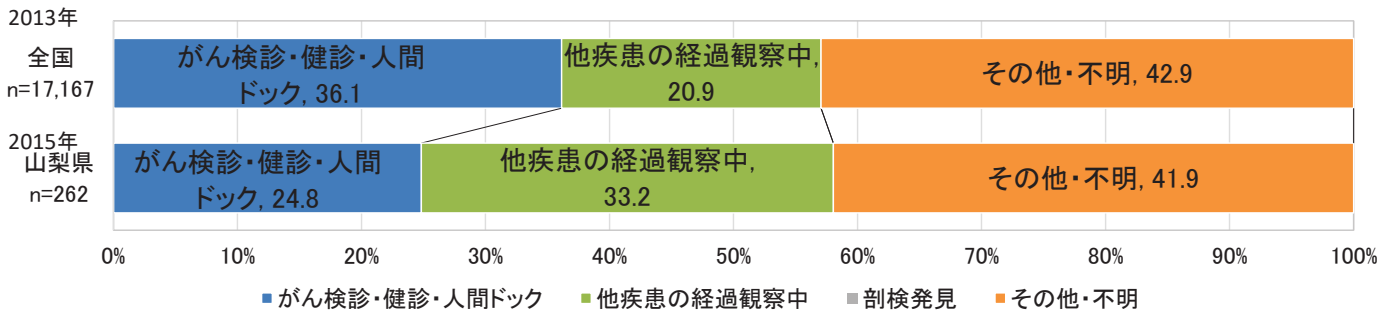
山梨県健康増進課がん対策担当

42

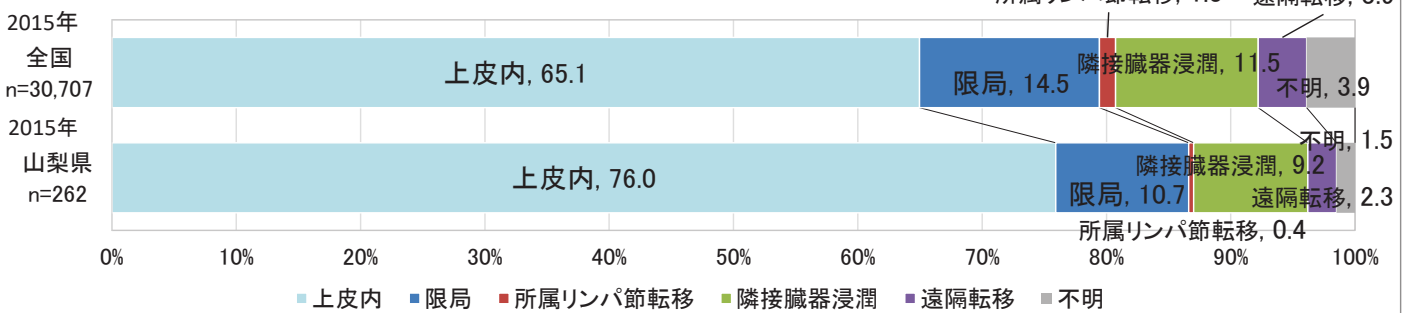
子宮頸がん(上皮内含む)罹患時の発見経緯と進行度の 全国との比較(%)

出典：国立がん研究センターがん対策情報センター
山梨県がん罹患集計

発見経緯



進行度

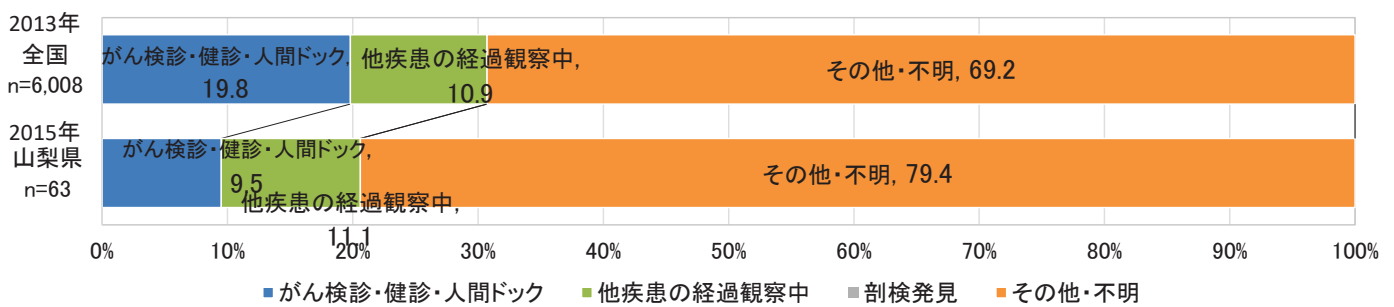


がんと診断される経緯については、がん検診や他疾患で経過観察をしていた時の他、自覚症状があつて医療機関を受診して発見される場合などがあるが、**山梨県は検診で見つかる上皮内がんの割合は低い**が**限局で見つかる割合が全国に比べて高い状況である**
山梨県健康増進課がん対策担当

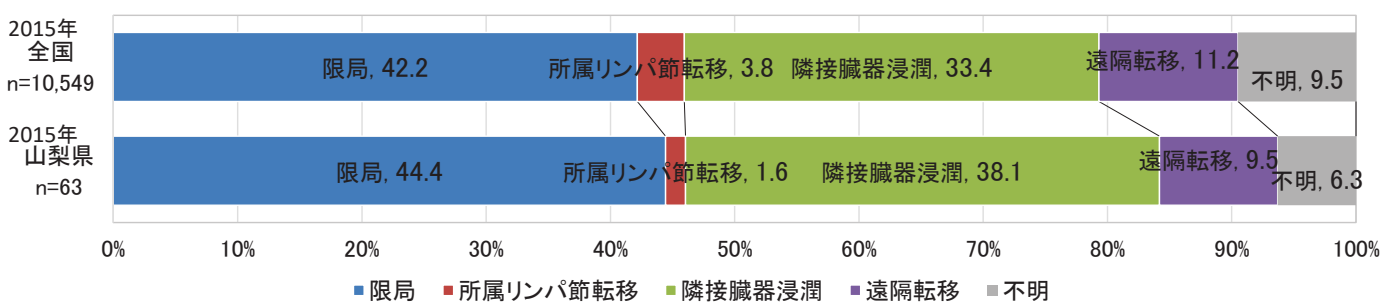
子宮頸がん罹患時の発見経緯と進行度の全国との比較(%) (上皮内がん含まず)

出典：国立がん研究センターがん対策情報センター
山梨県がん罹患集計

発見経緯

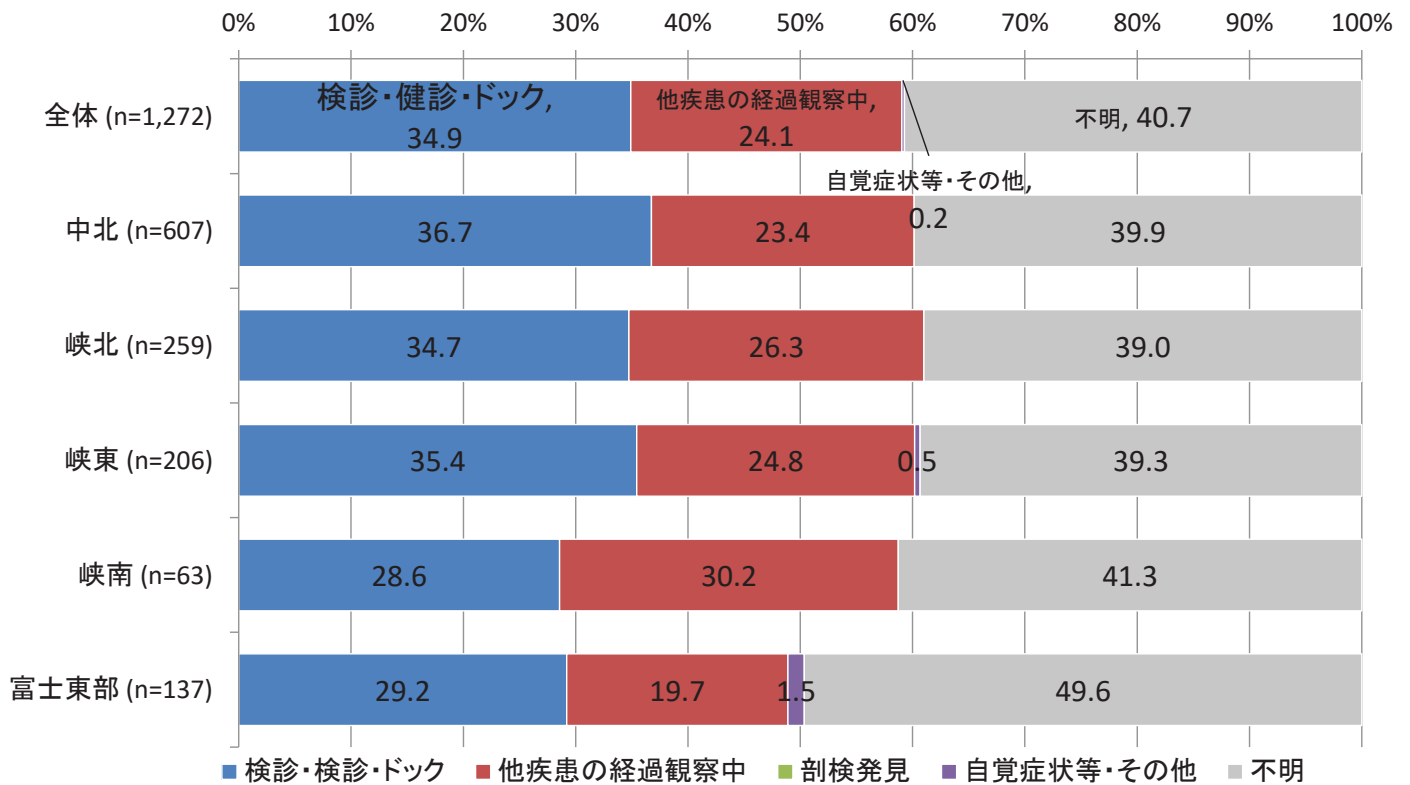


進行度



がんと診断される経緯については、がん検診や他疾患で経過観察をしていた時の他、自覚症状があつて医療機関を受診して発見される場合などがあるが、**山梨県は検診で見つかる子宮頸がんの割合は低い**が**限局で見つかる割合が全国に比べて高い状況である**。
山梨県健康増進課がん対策担当

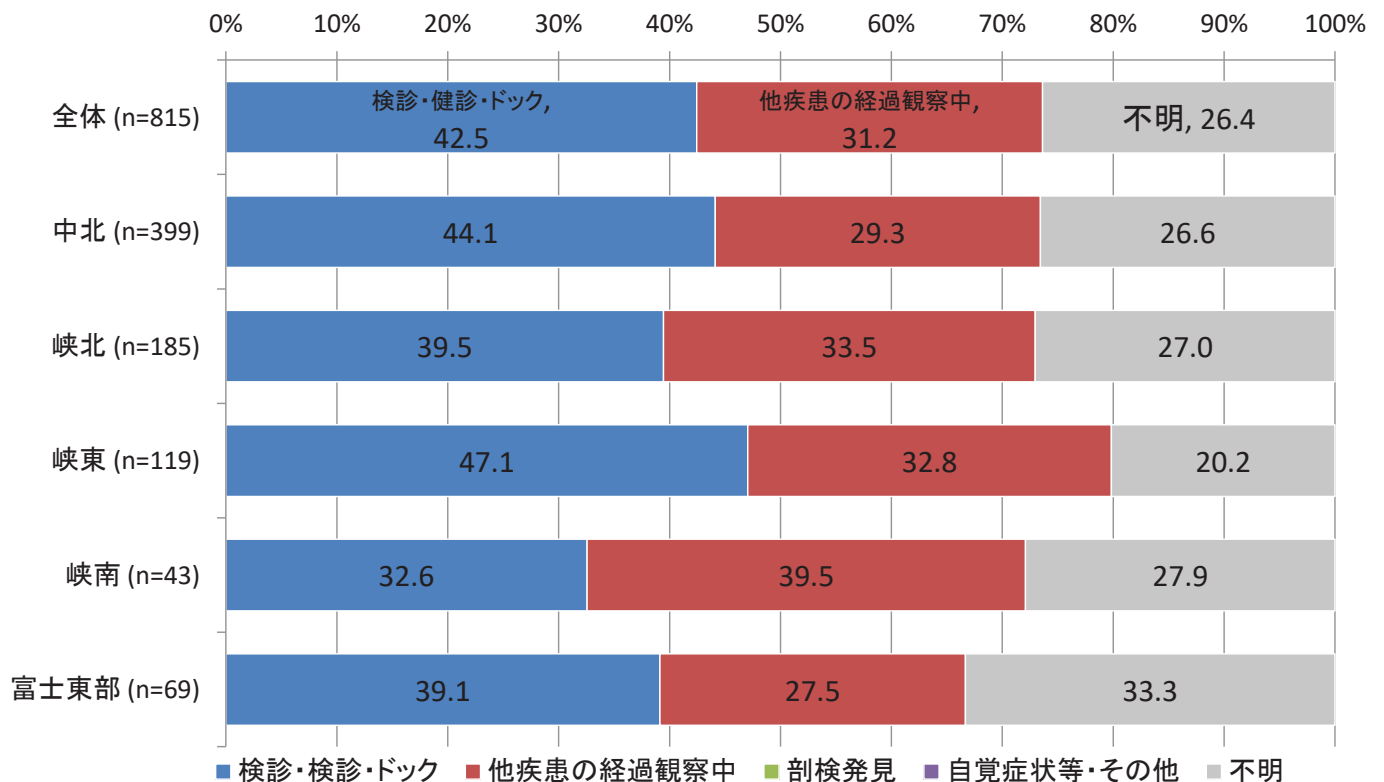
保健所管内別子宮頸がん(上皮内含む) 発見経緯(2008~2015年)



<発見経緯:検診>保健所間の差:最大8.1ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

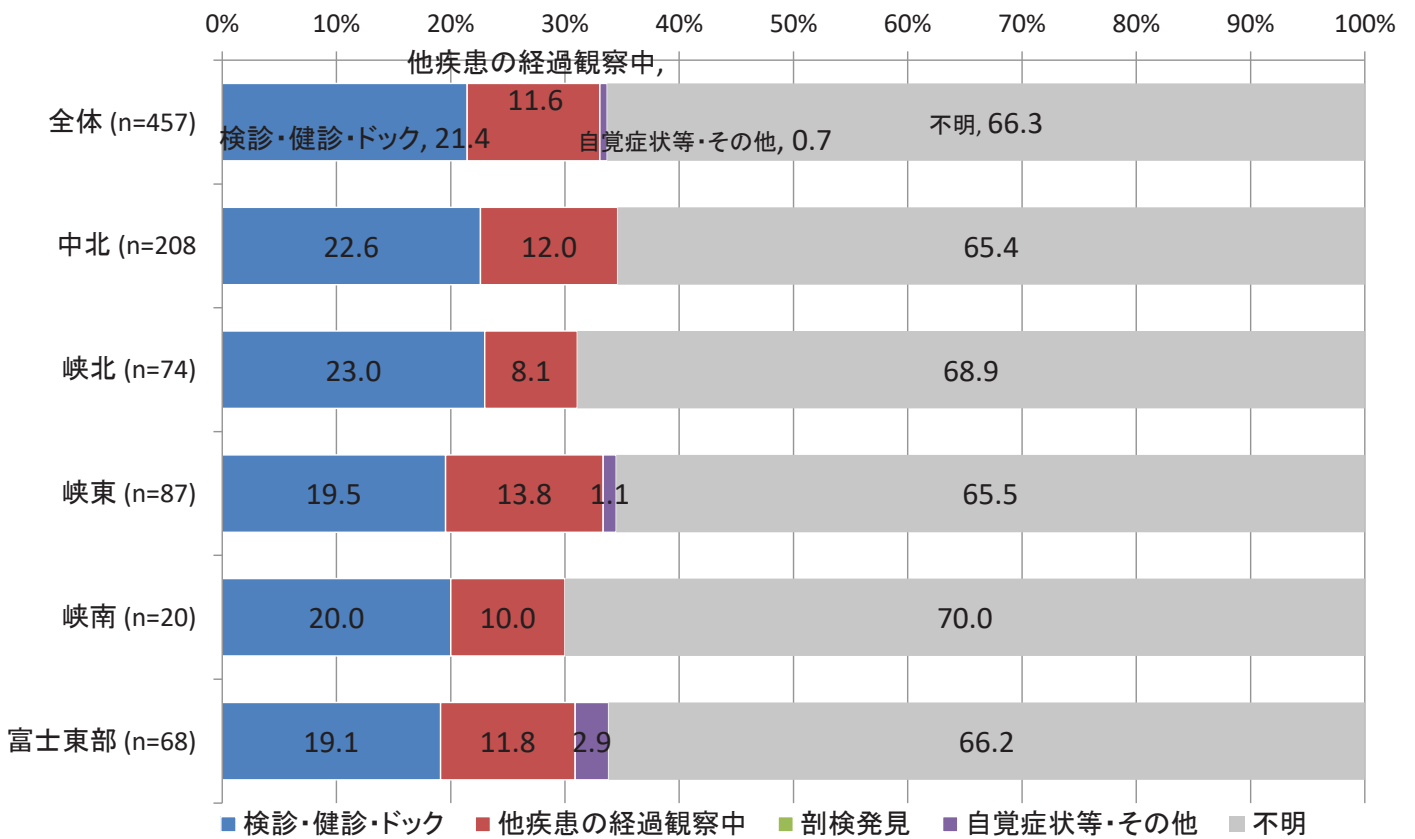
保健所管内別子宮頸がん(上皮内のみ)の発見経緯 (2008~2015年)



<発見経緯:検診>保健所間の差:最大14.5ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

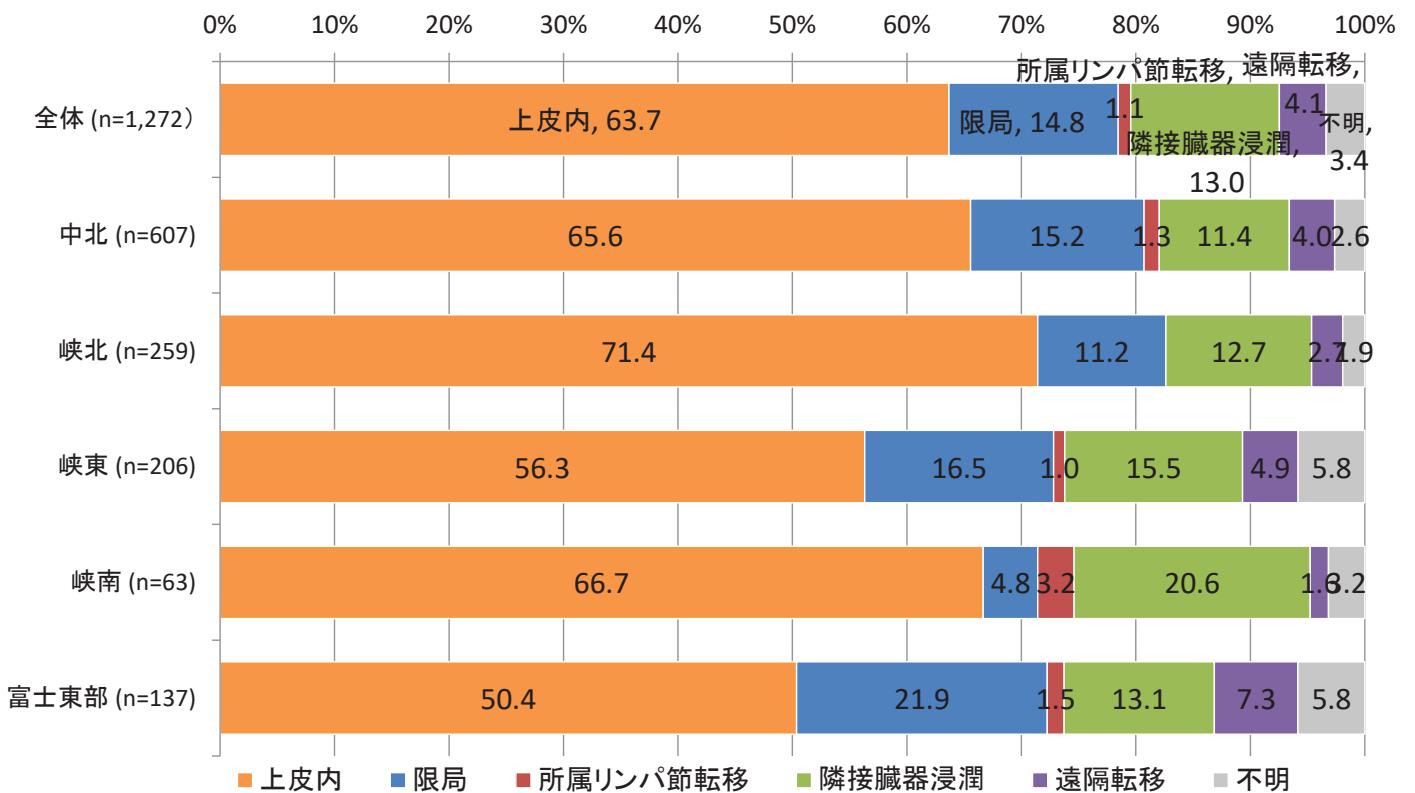
保健所管内別子宮頸がん発見経緯(2008～2015年)



＜発見経緯：検診＞保健所間の差：最大3.9ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

保健所管内別子宮頸(上皮内含む)の進行度(2008～2015年)

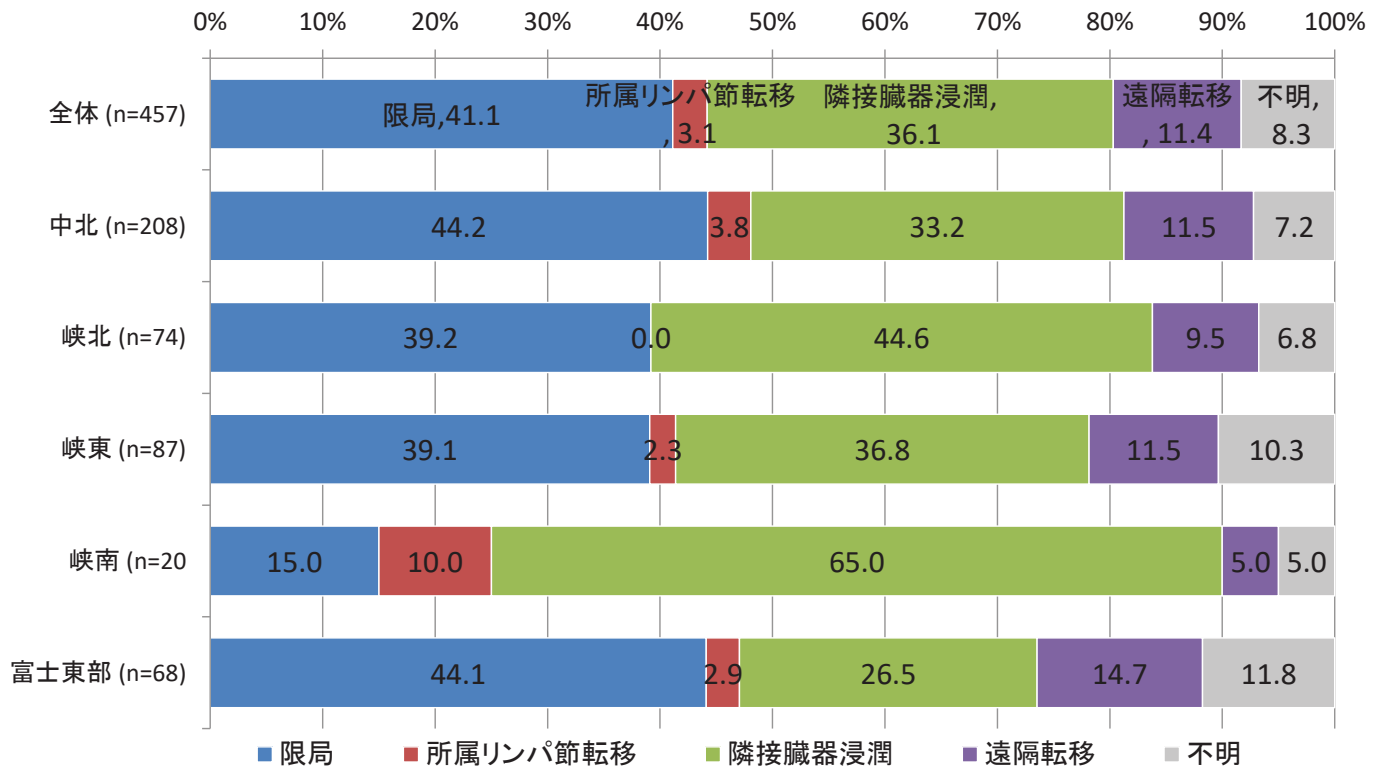


上皮内がんの差：最大21ポイント

上皮内がん + 限局の差：最大11.1ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

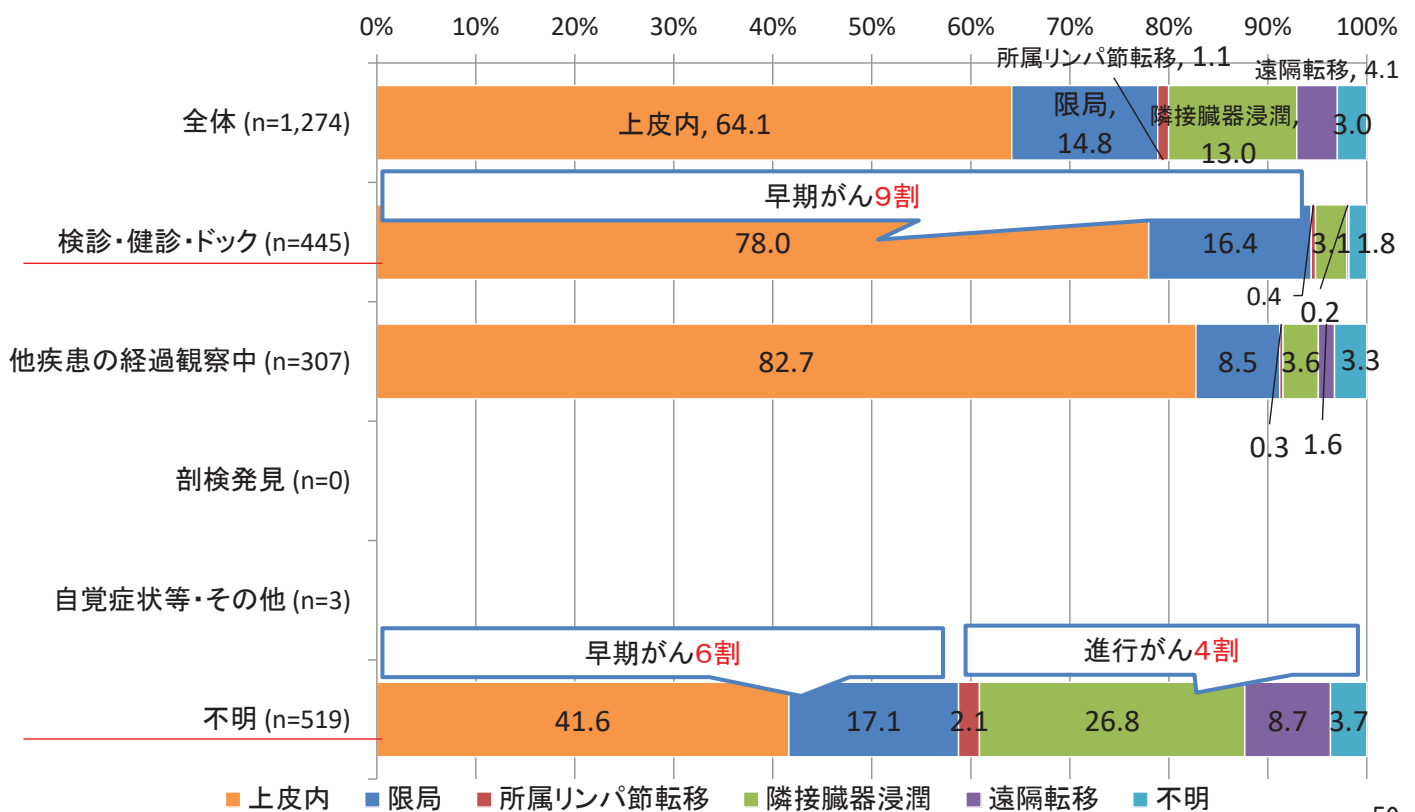
保健所管内別子宮頸がんの進行度 (上皮内がん含まず 2008～2015年)



<進行度:限局>保健所間の差:最大29.2ポイント

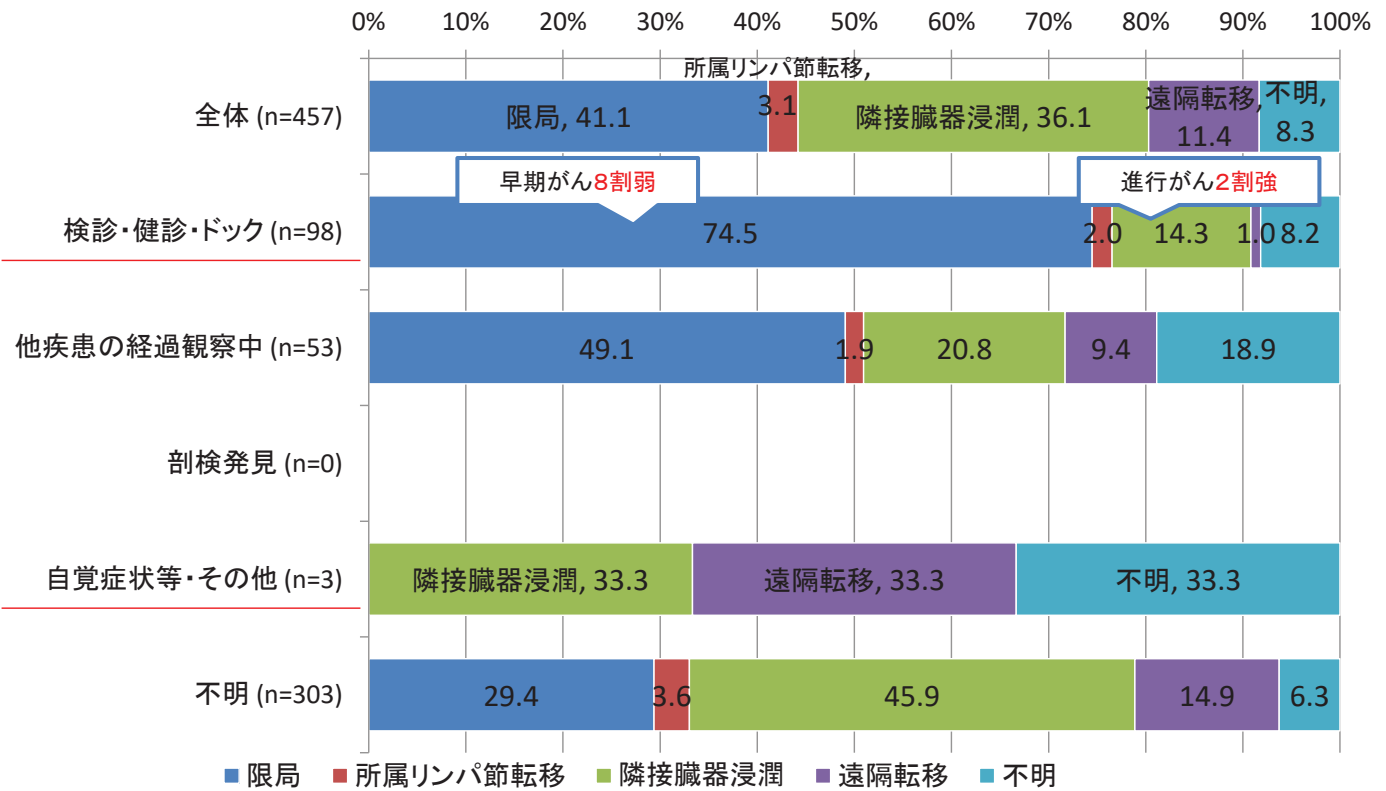
山梨県健康増進課がん対策担当

子宮頸がん(上皮内含む) 発見経緯別の進行度(2008～2015年)



山梨県健康増進課がん対策担当

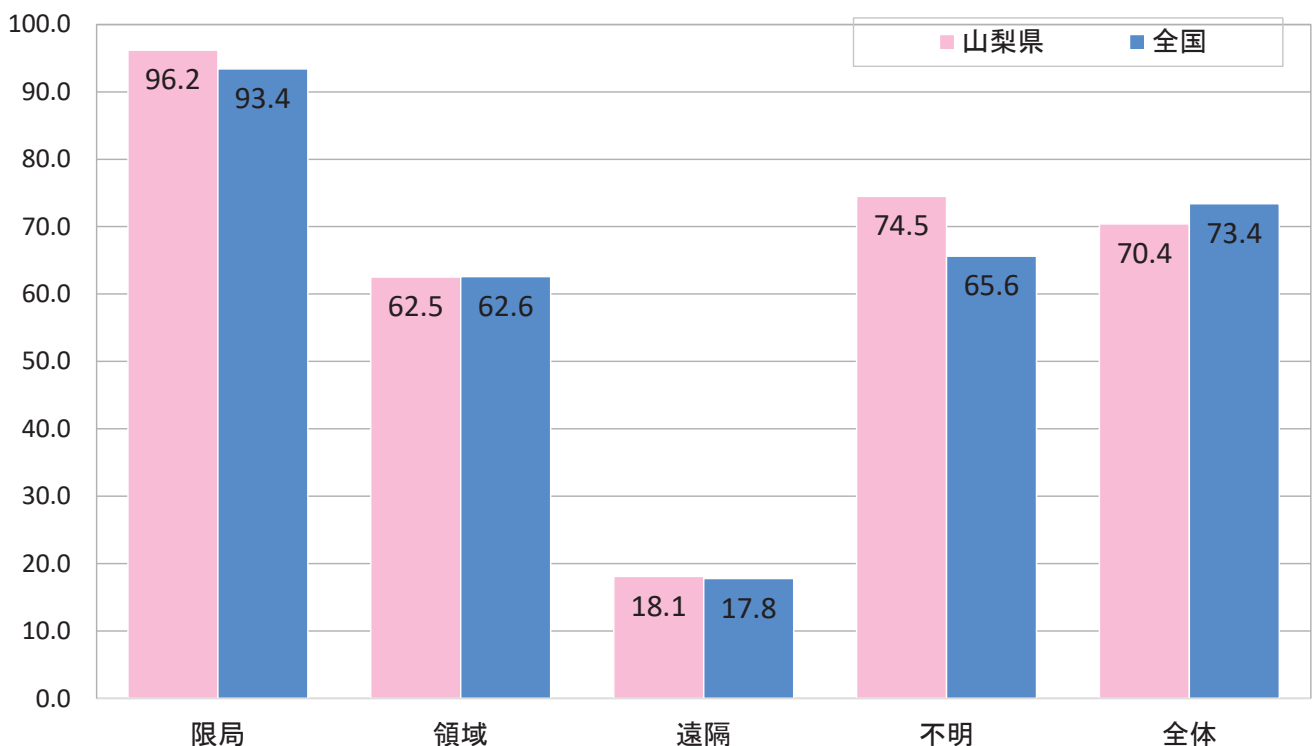
子宮頸がん発見経緯別の進行度 (上皮内がん含まず 2008～2015年)



山梨県健康増進課がん対策担当

子宮頸がんの5年相対生存率(2008～2009年)

山梨県出典：2008～2009年診断例生存率山梨県がん罹患集計
全国データ出典：2006～2008年生存率報告 (MCJ-S)

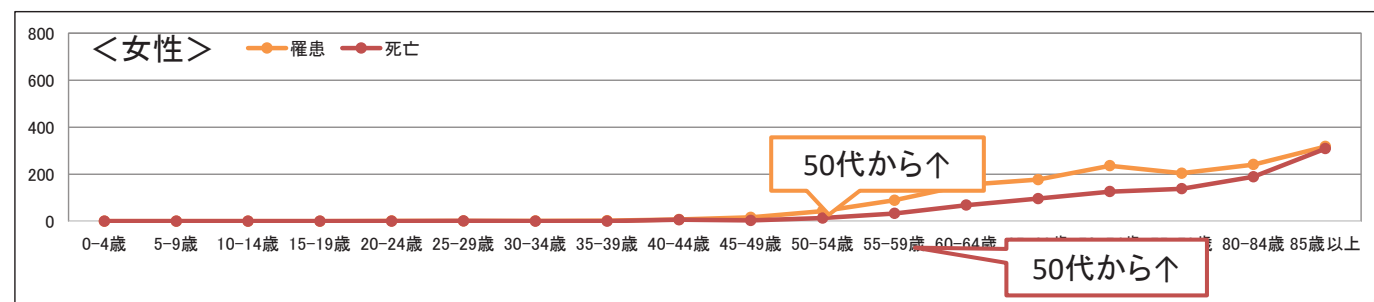
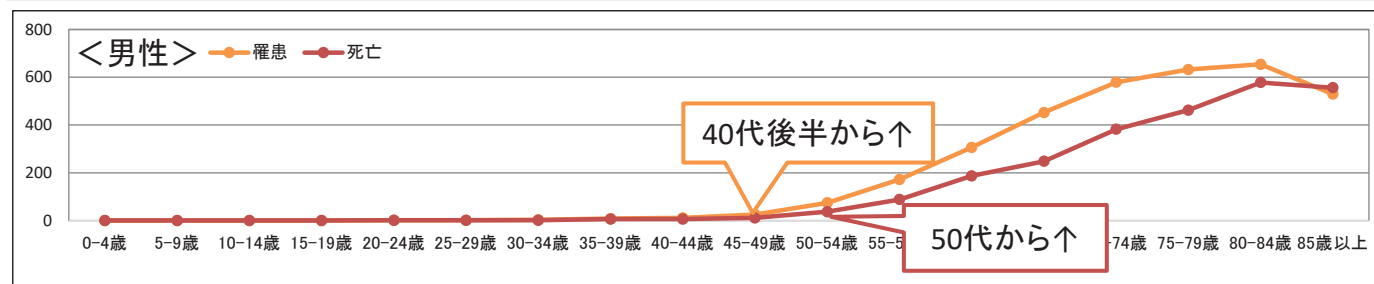
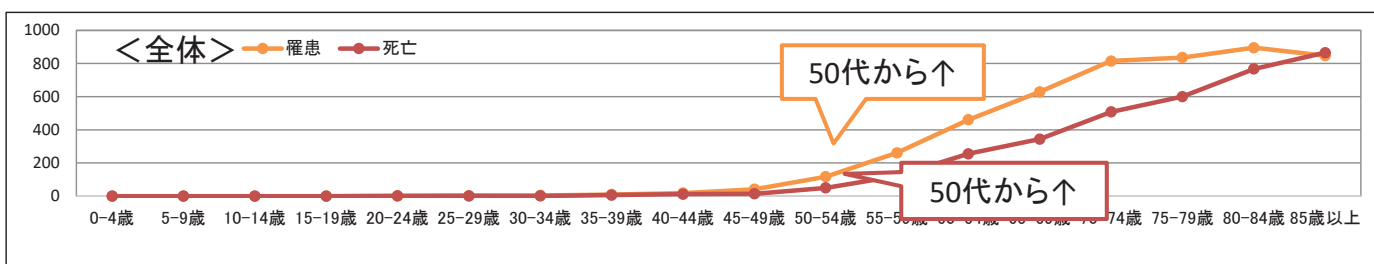


山梨県健康増進課がん対策担当

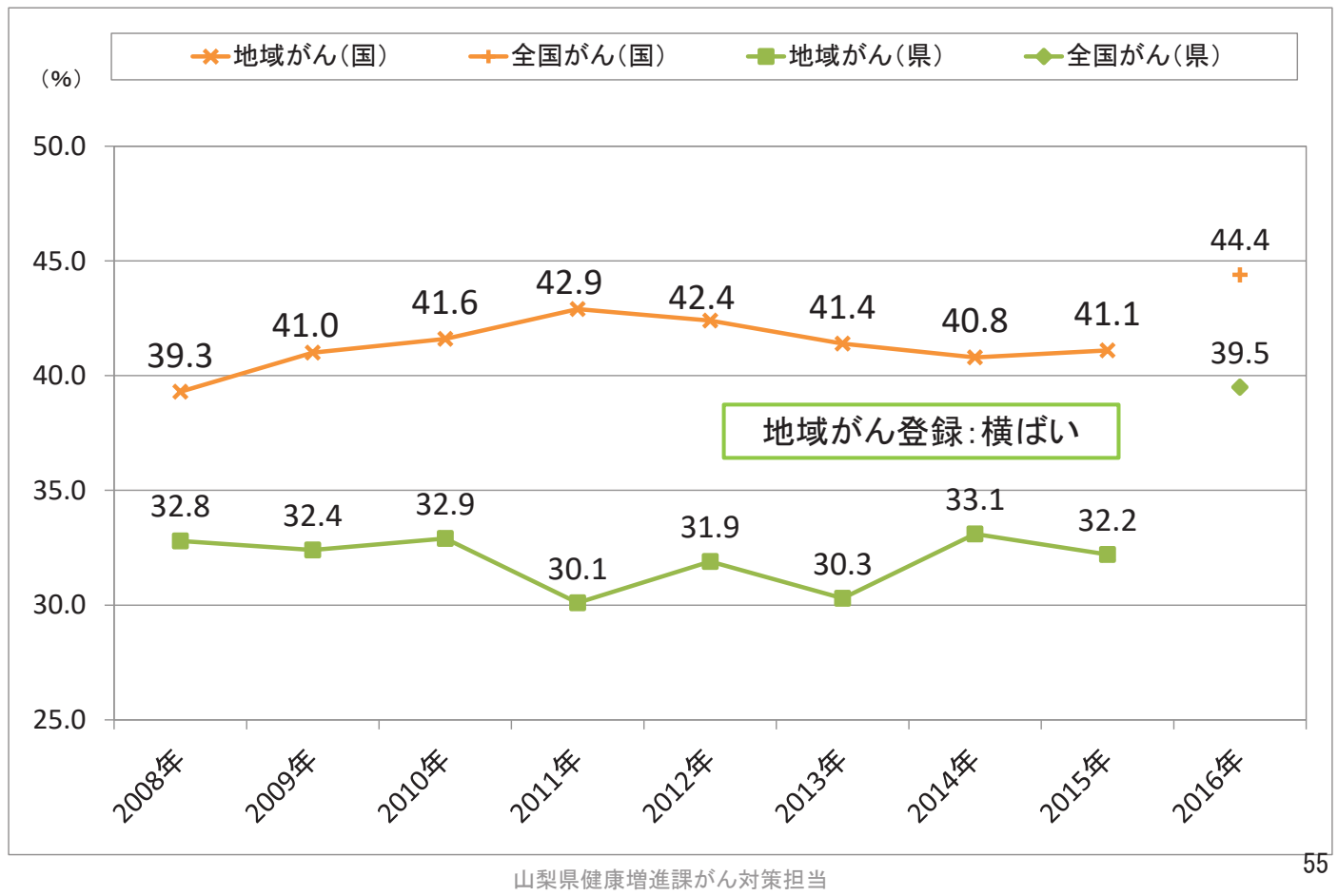
肺がんについて

肺がんの年齢階級別罹患数と死亡数の比 (2008-2015年の合計)

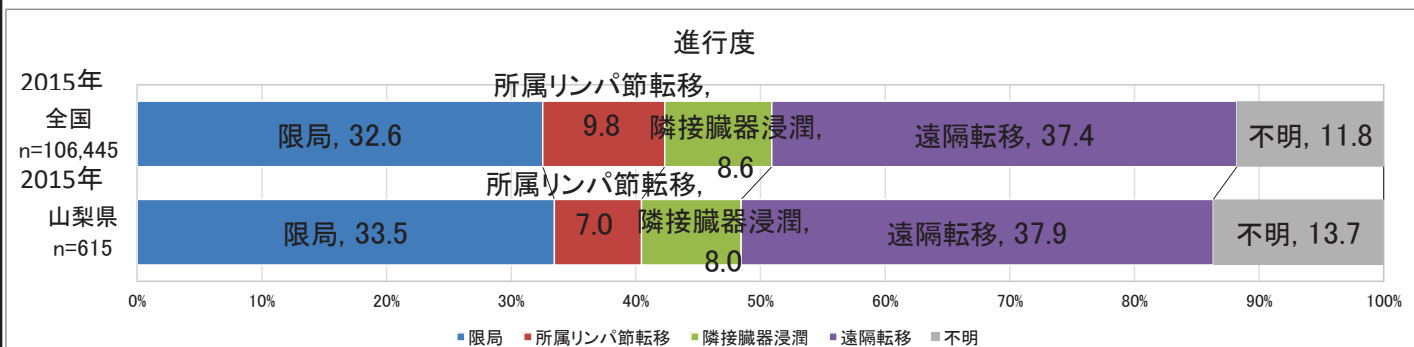
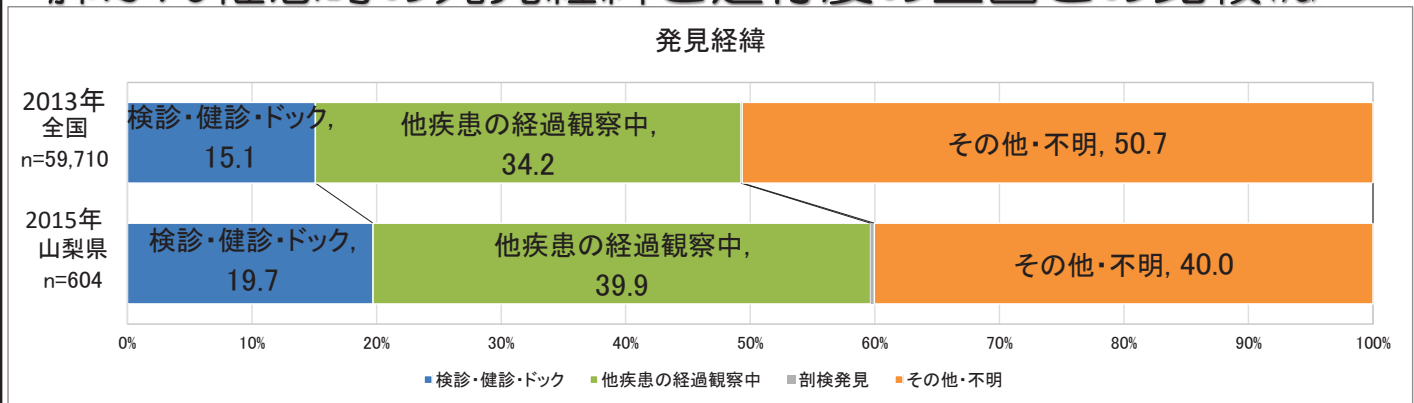
(人)



肺がん年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)

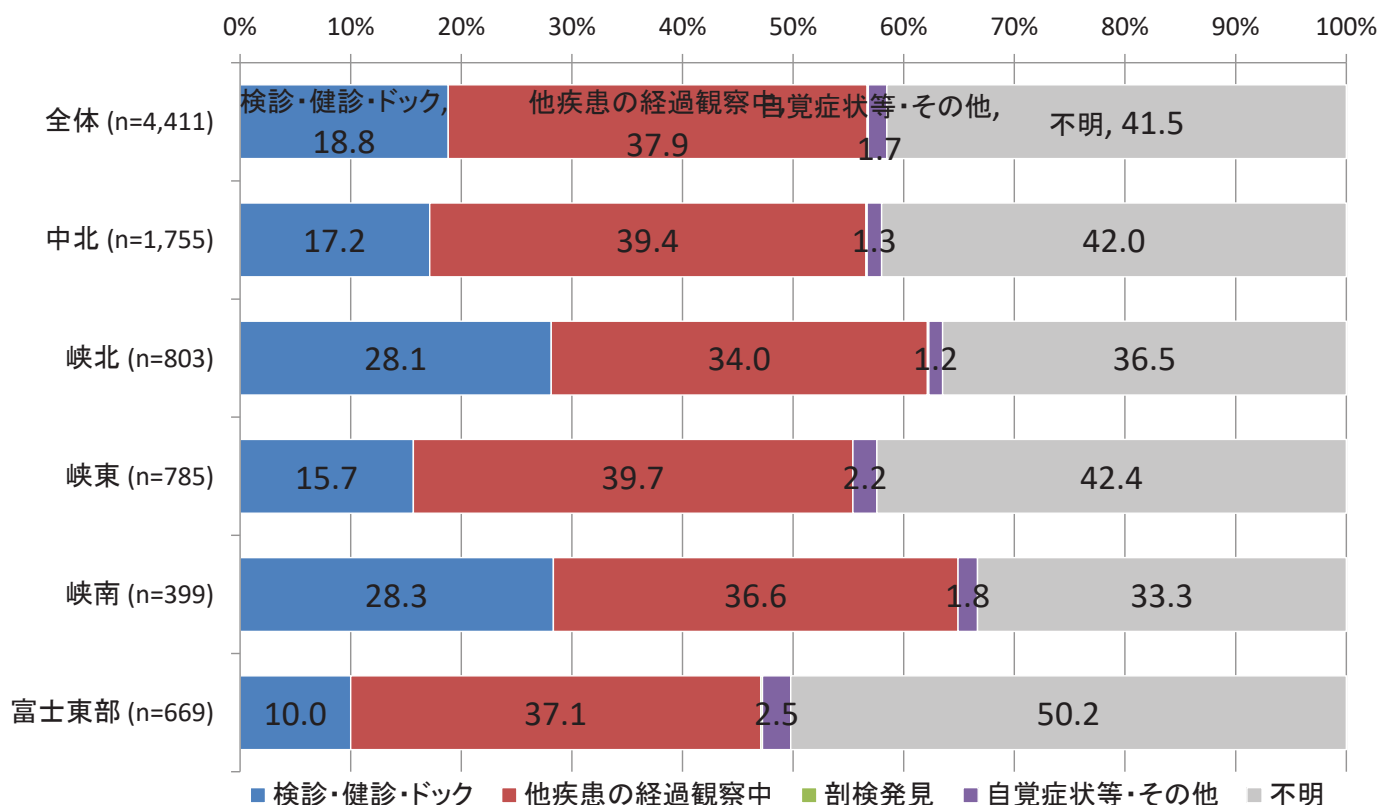


肺がん罹患時の発見経緯と進行度の全国との比較(%)



がんと診断される経緯については、がん検診や他疾患で経過観察をしていた時の他、自覚症状があって医療機関を受診して発見される場合などがあるが、山梨県は検診で見つかる割合が全国に比べて高いが限局の割合は低い状況である。

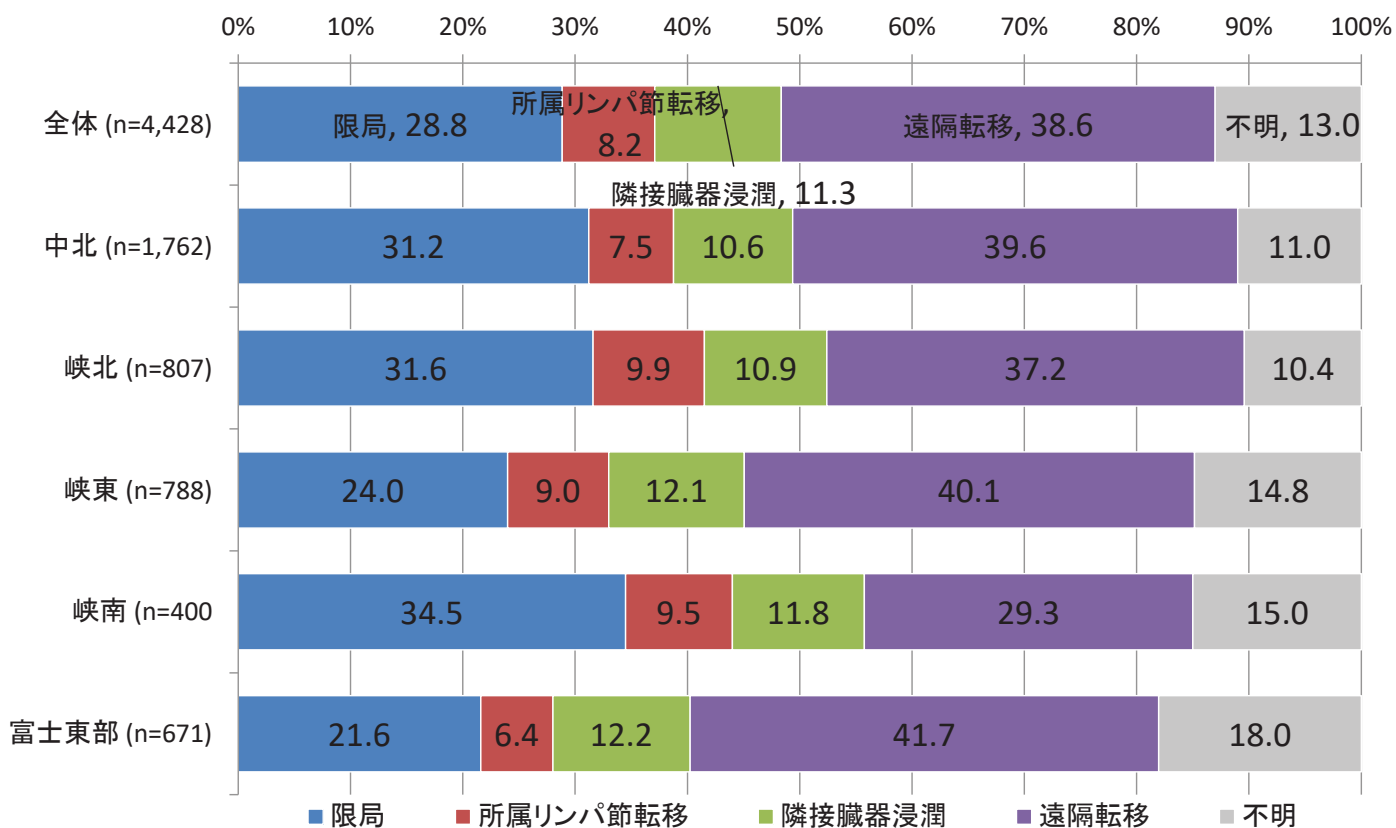
保健所管内別肺がん発見経緯(2008～2015年)



＜発見経緯：検診＞保健所間の差：最大18.3ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

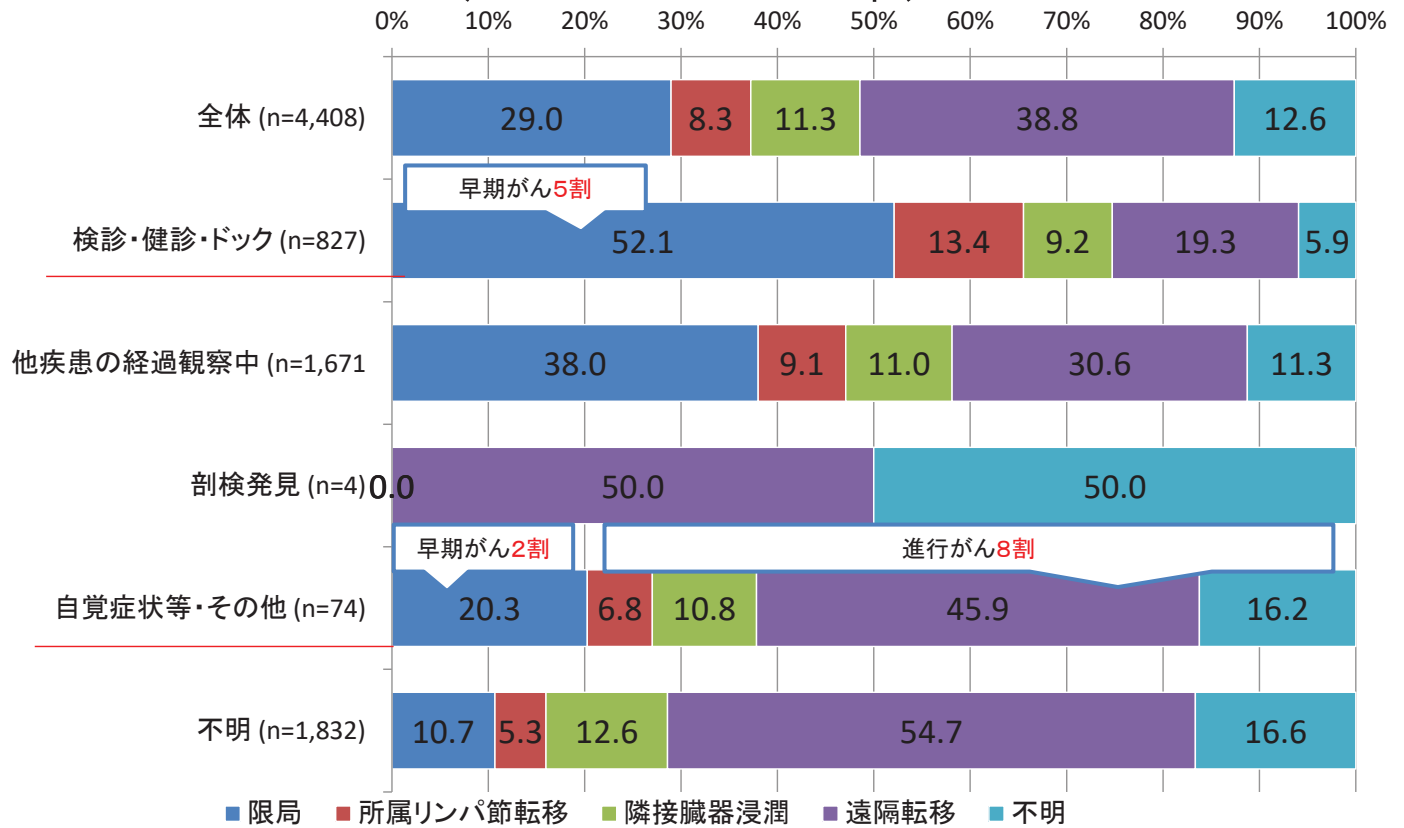
保健所管内別肺がんの進行度(2008～2015年)



＜進行度：限局＞保健所間の差：最大12.9ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

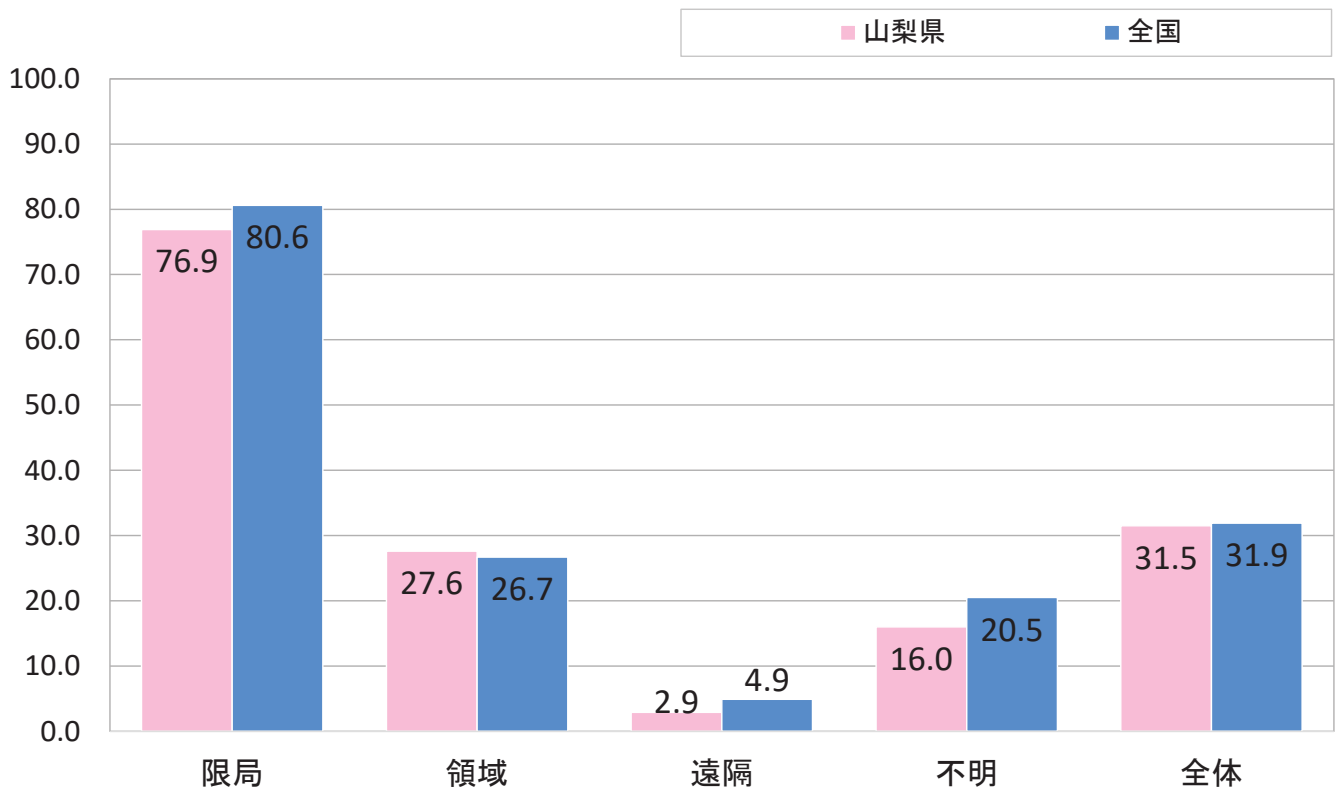
肺がん発見経緯別の臨床進行度 (2008～2015年)



山梨県健康増進課がん対策担当

肺がんの5年相対生存率(2008～2009年)

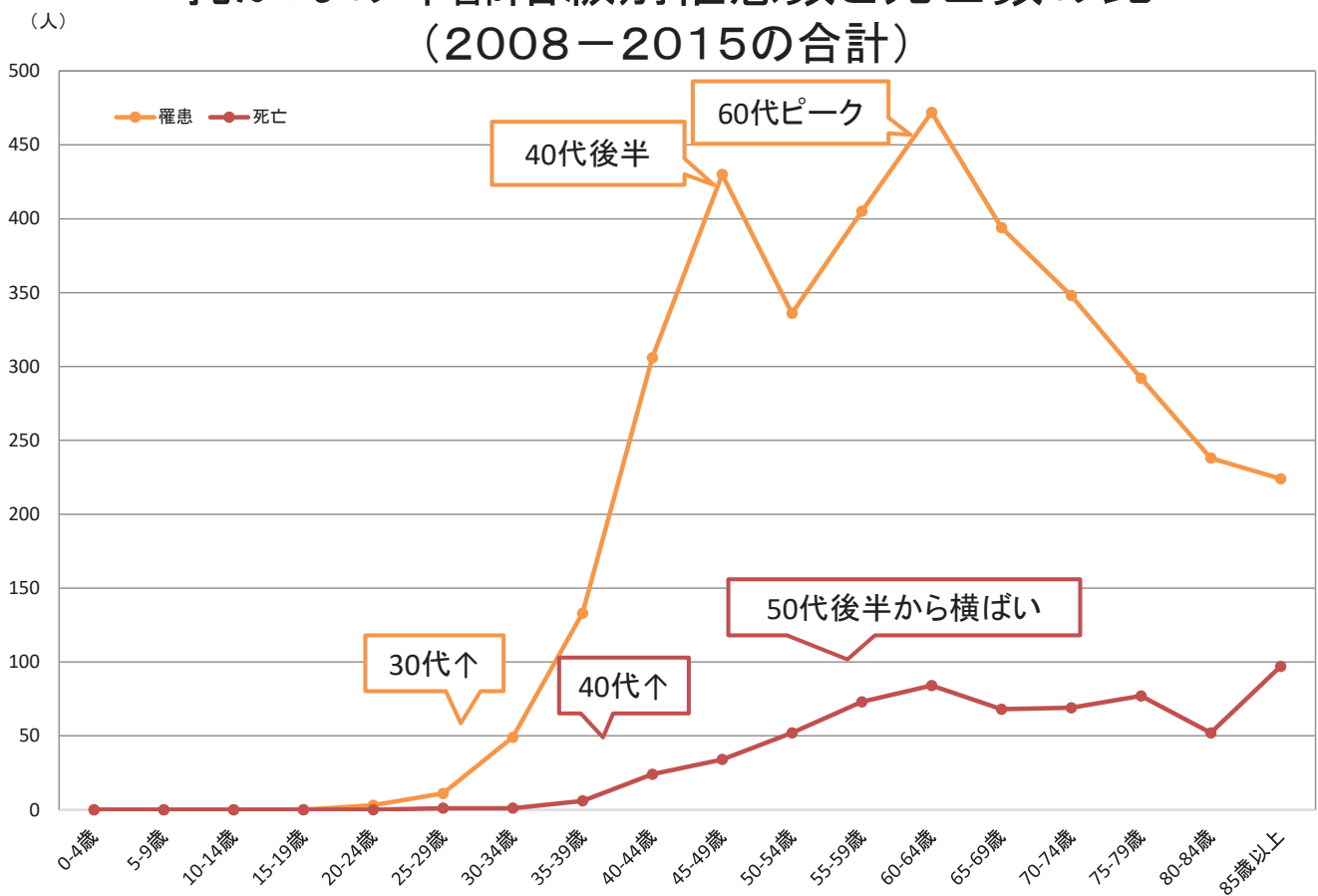
山梨県出典：2008～2009年診断例生存率山梨県がん罹患集計
全国データ出典：2006～2008年生存率報告 (MCJ-S)



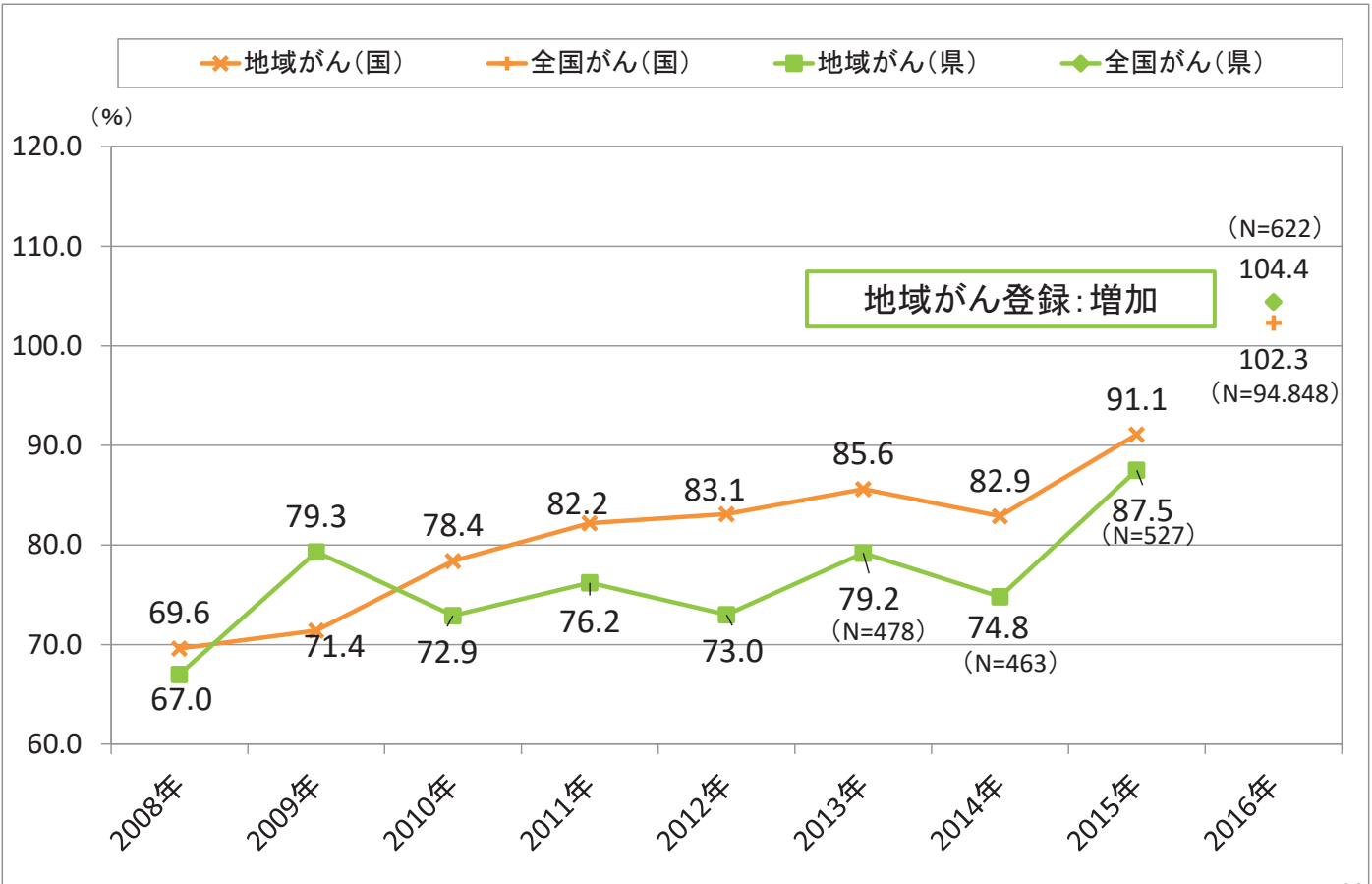
山梨県健康増進課がん対策担当

乳がんについて

乳がんの年齢階級別罹患数と死亡数の比 (2008-2015の合計)



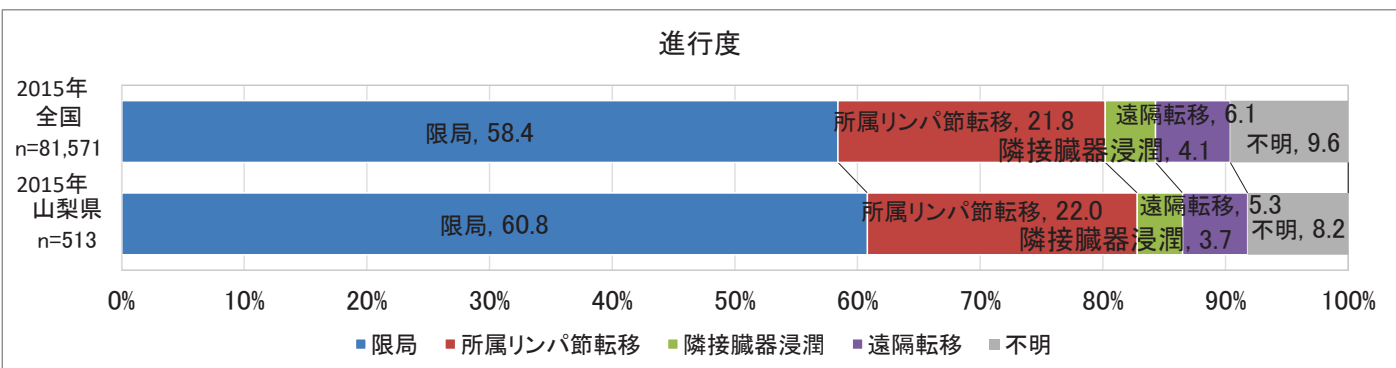
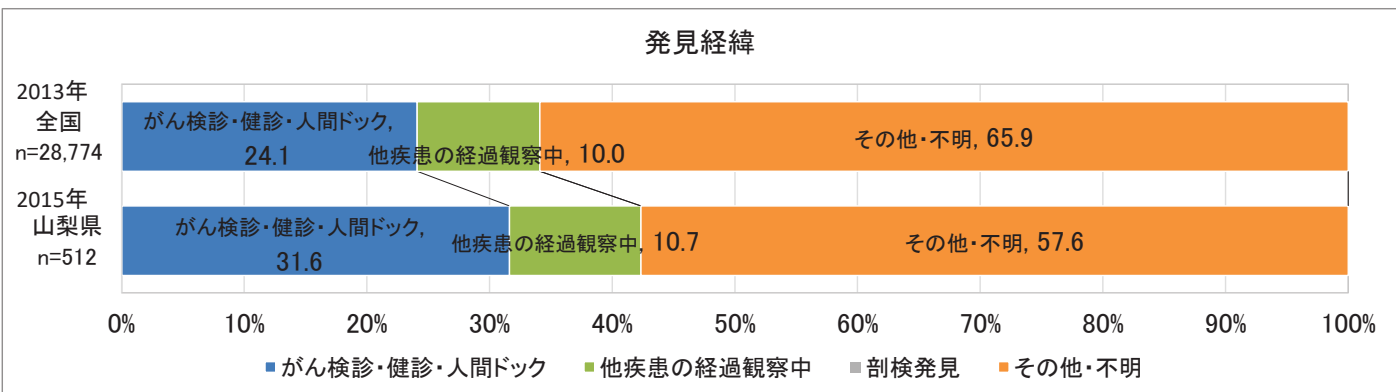
乳がん年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)



山梨県健康増進課がん対策担当

乳がん罹患時の発見経緯と進行度の全国との比較(%) (上皮内がん除く)

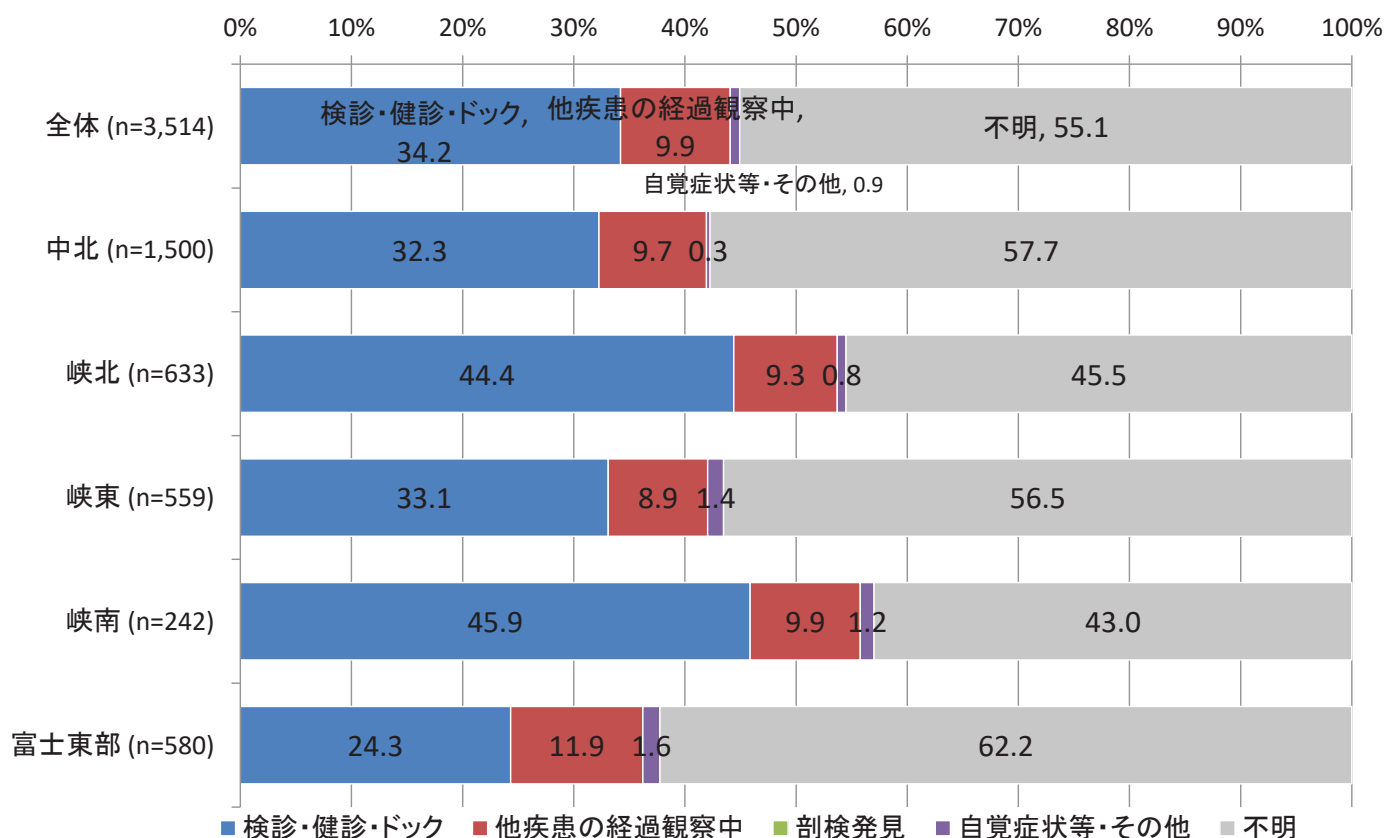
出典：国立がん研究センターがん対策情報センター
山梨県がん罹患集計



がんと診断される経緯については、がん検診や他疾患で経過観察をしていた時の他、自覚症状があって医療機関を受診して発見される場合などがあるが、**山梨県は検診で見つかる割合と限局の割合が全国に比べて高い状況である。**

山梨県健康増進課がん対策担当

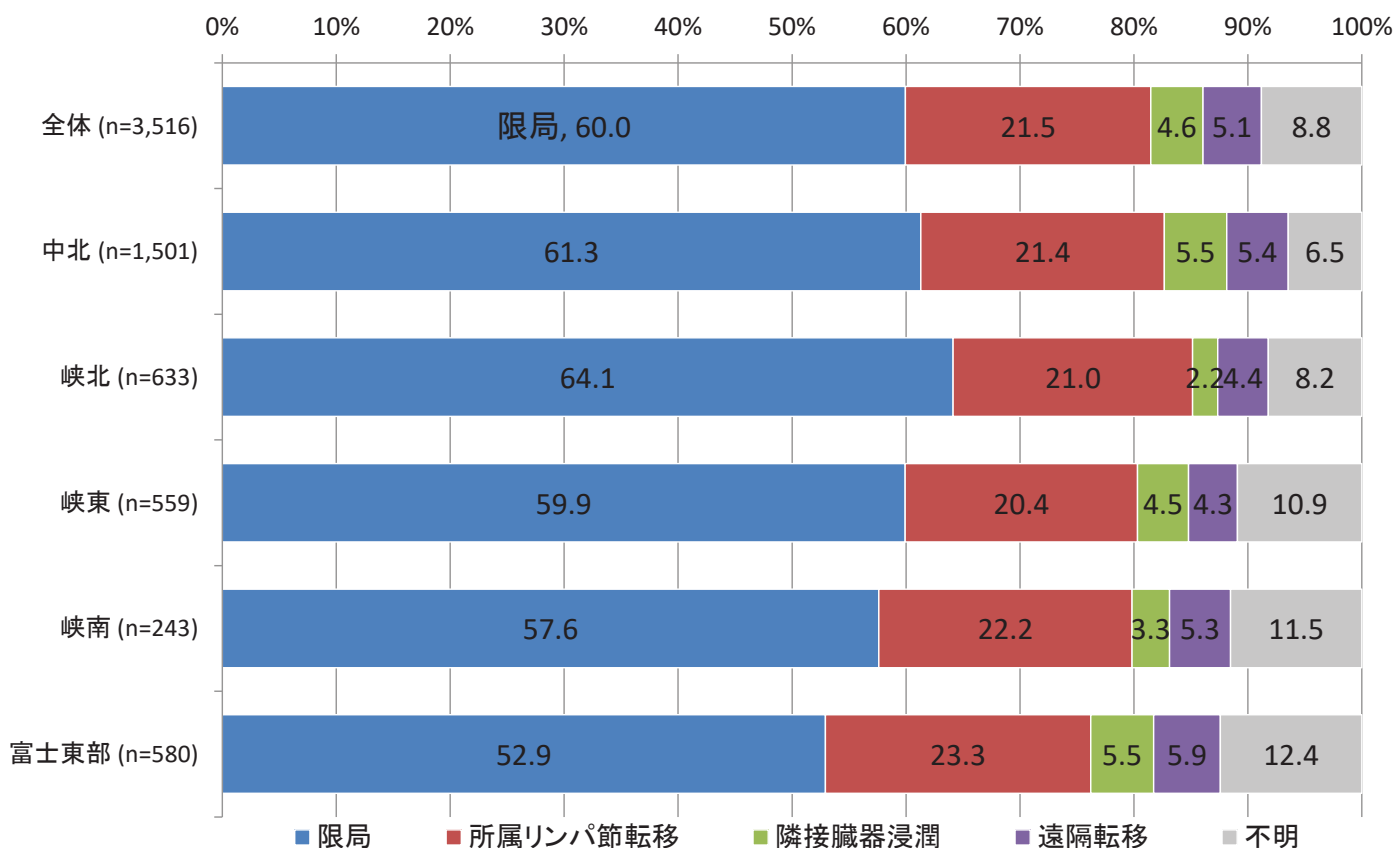
保健所管内別乳がん発見経緯(2008～2015年)



＜発見経緯：検診＞保健所間の差：最大21.6ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

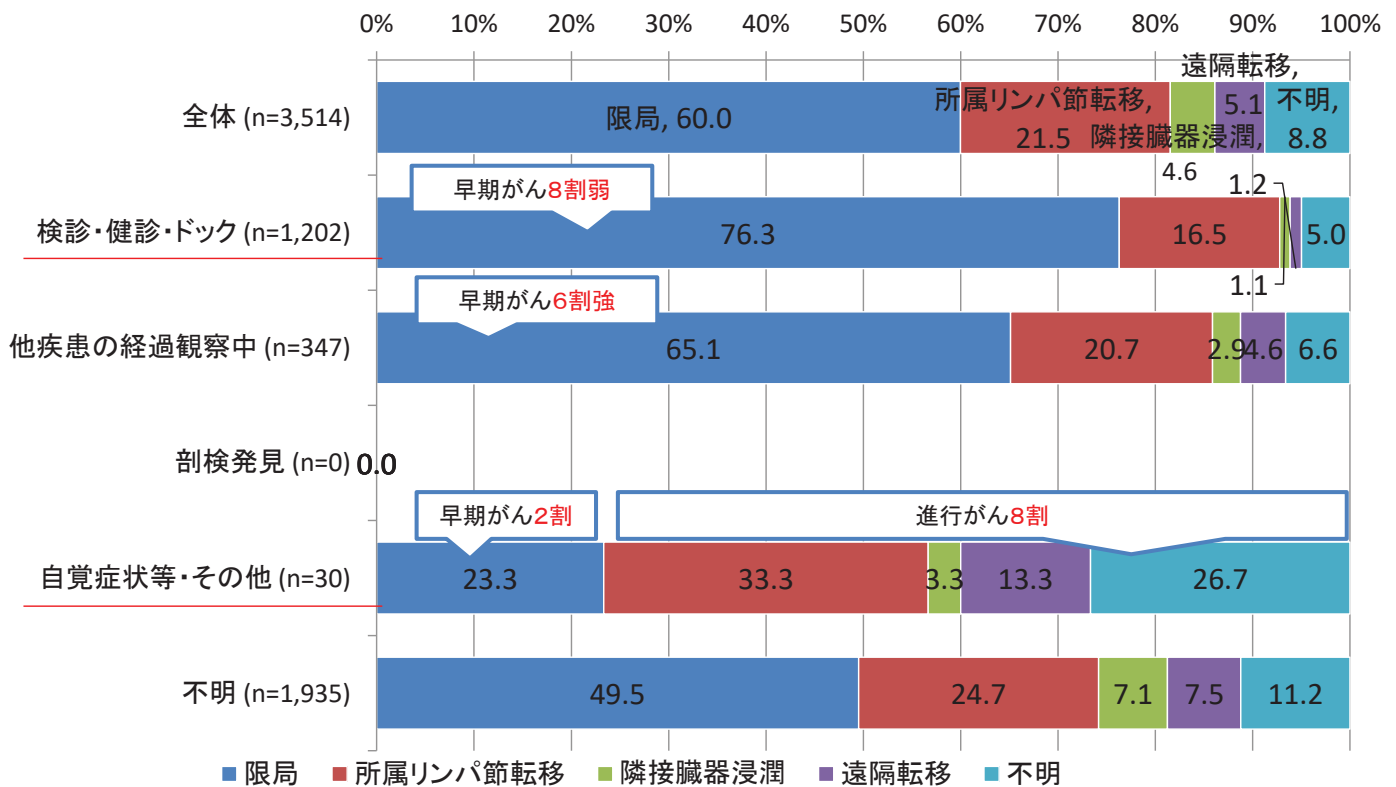
保健所管内別乳がんの進行度(2008～2015年)



＜進行度：限局＞保健所間の差：最大11.2ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

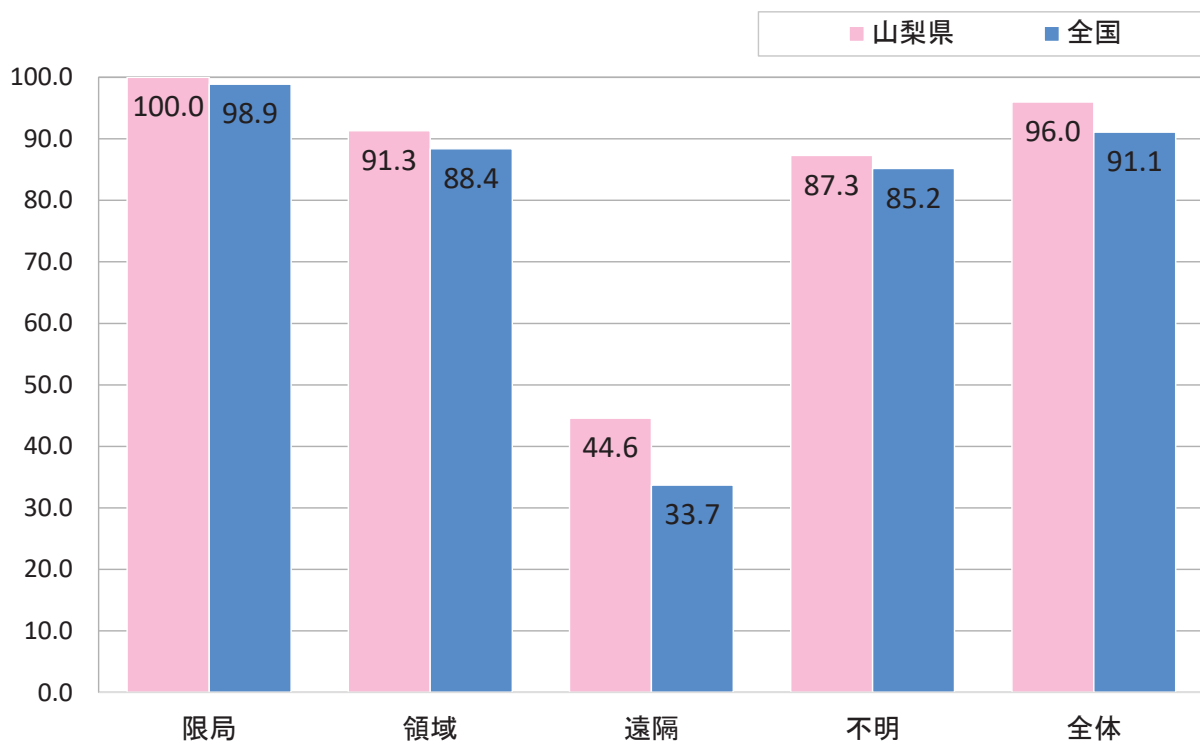
乳がん発見経緯別の進行度 (2008～2015年)



山梨県健康増進課がん対策担当

乳がんの5年相対生存率(2008～2009年)

山梨県出典：2008～2009年診断例生存率山梨県がん罹患集計
 全国データ出典：2006～2008年生存率報告 (MCJ-S)

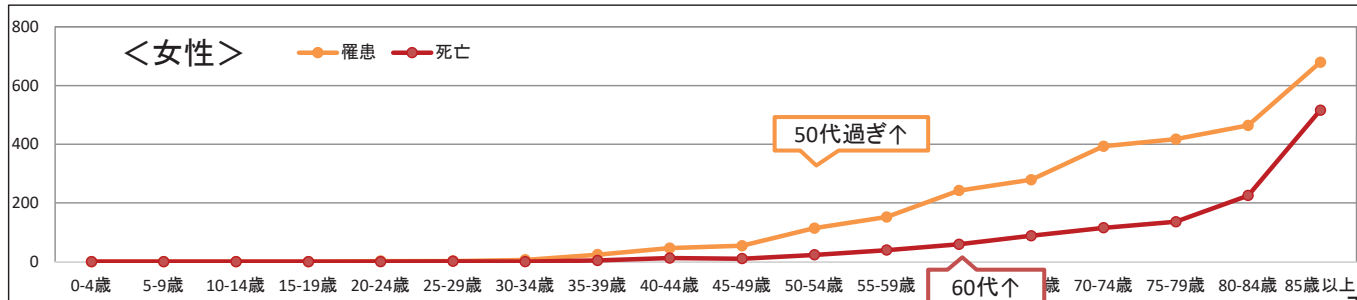
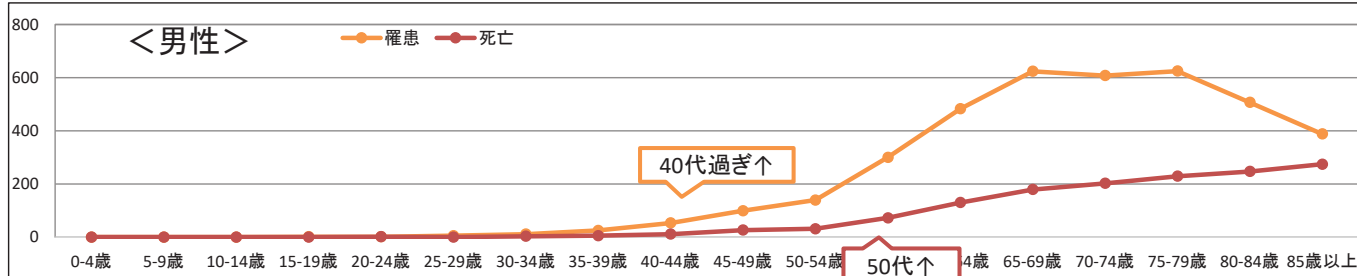
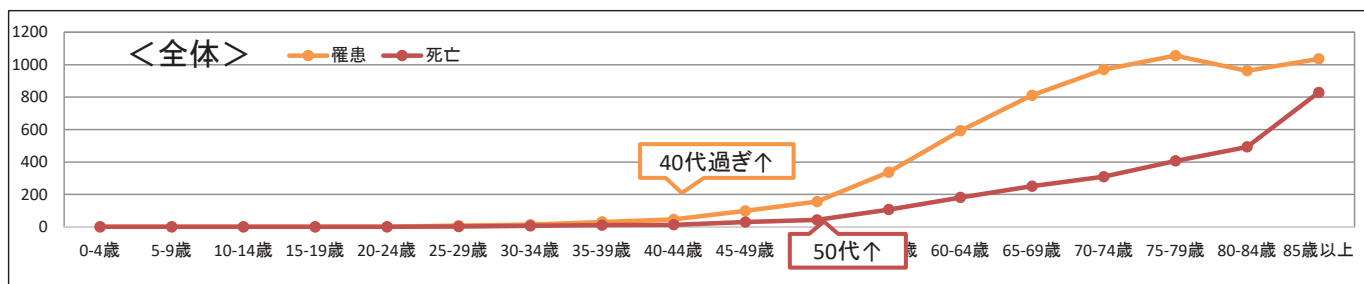


山梨県健康増進課がん対策担当

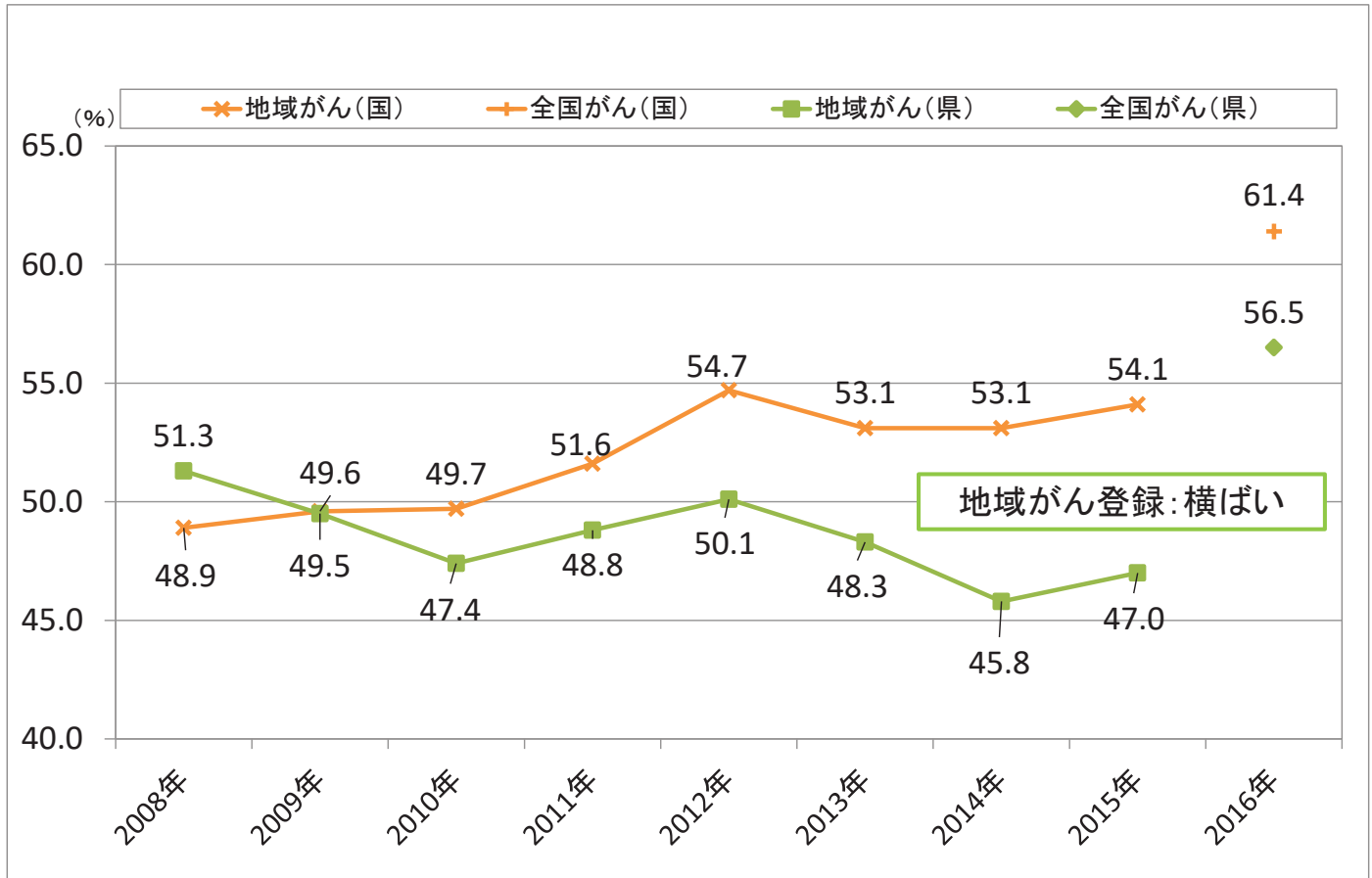
大腸がんについて

大腸がんの年齢階級別罹患数と死亡数の比 (2008-2015年の合計)

(人)



大腸がん年齢調整罹患率の年次推移(人口10万対)



山梨県健康増進課がん対策担当

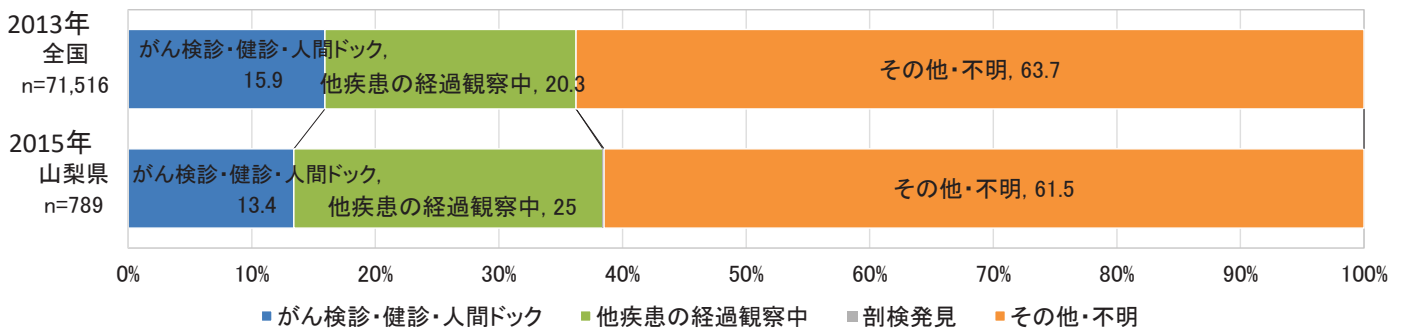
71

大腸がん罹患時の発見経緯と進行度の全国との比較(%)

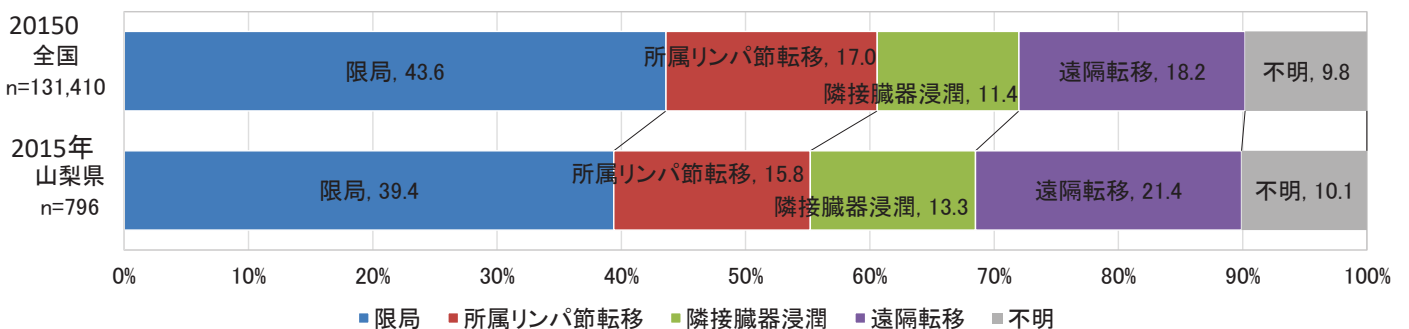
(上皮内がん除く)

出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター
山梨県がん罹患集計

発見経緯



進行度

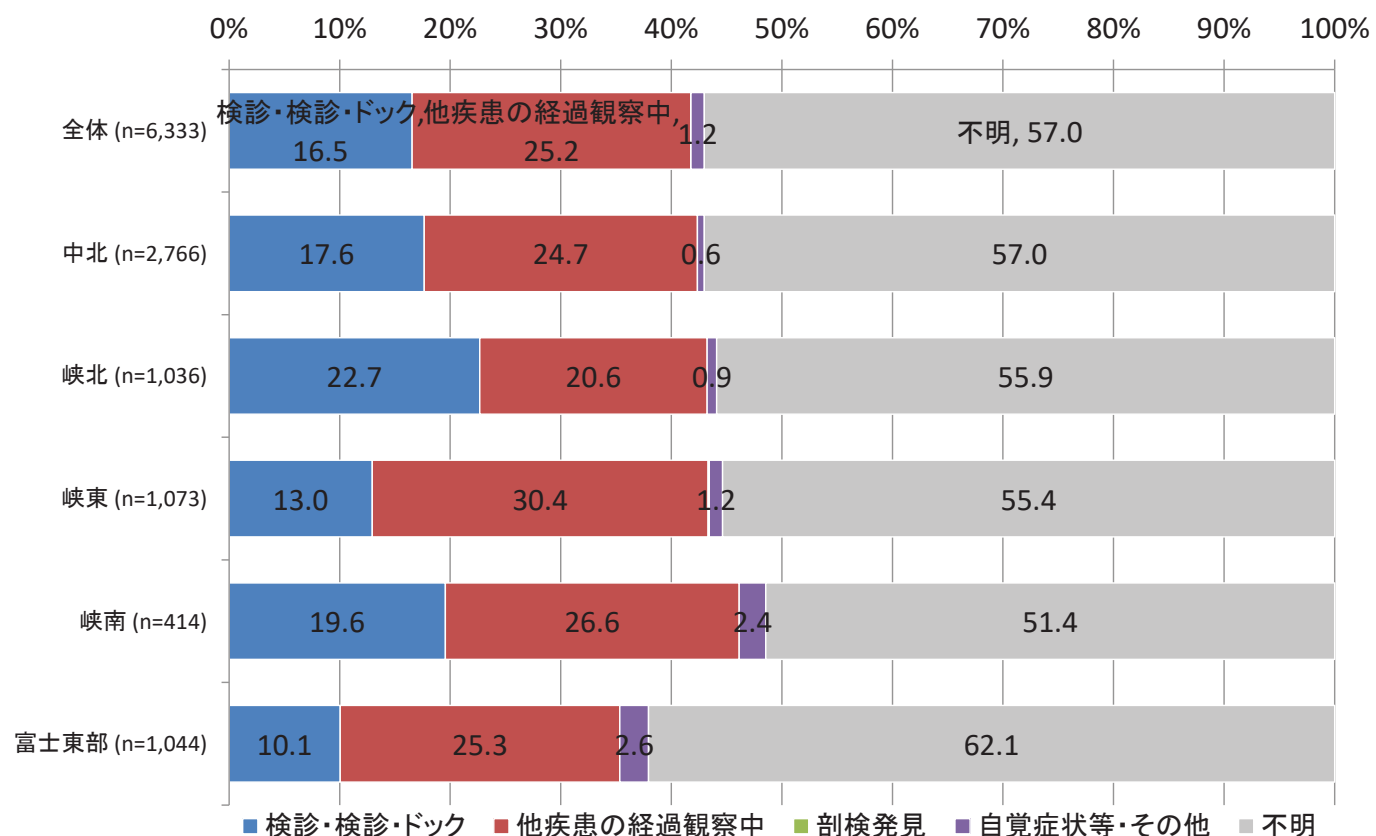


がんと診断される経緯については、がん検診や他疾患で経過観察をしていた時の他、自覚症状があって医療機関を受診して発見される場合などがあるが、山梨県は検診で見つかる割合と限局で見つかる割合が全国に比べて低い状況である。

山梨県健康増進課がん対策担当

92

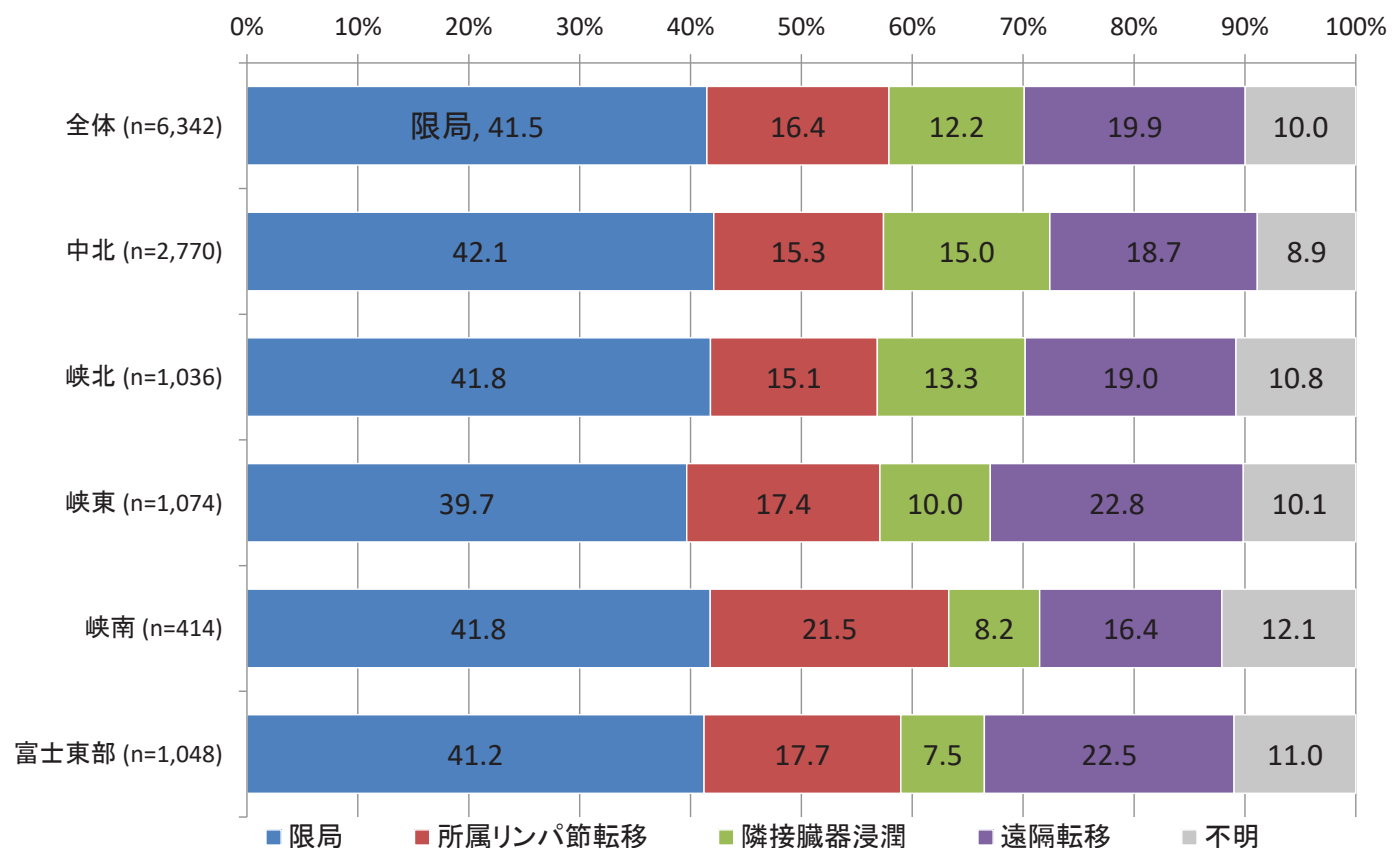
保健所管内別大腸がん発見経緯(2008～2015年)



＜発見経緯：検診＞保健所間の差：最大12.6ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

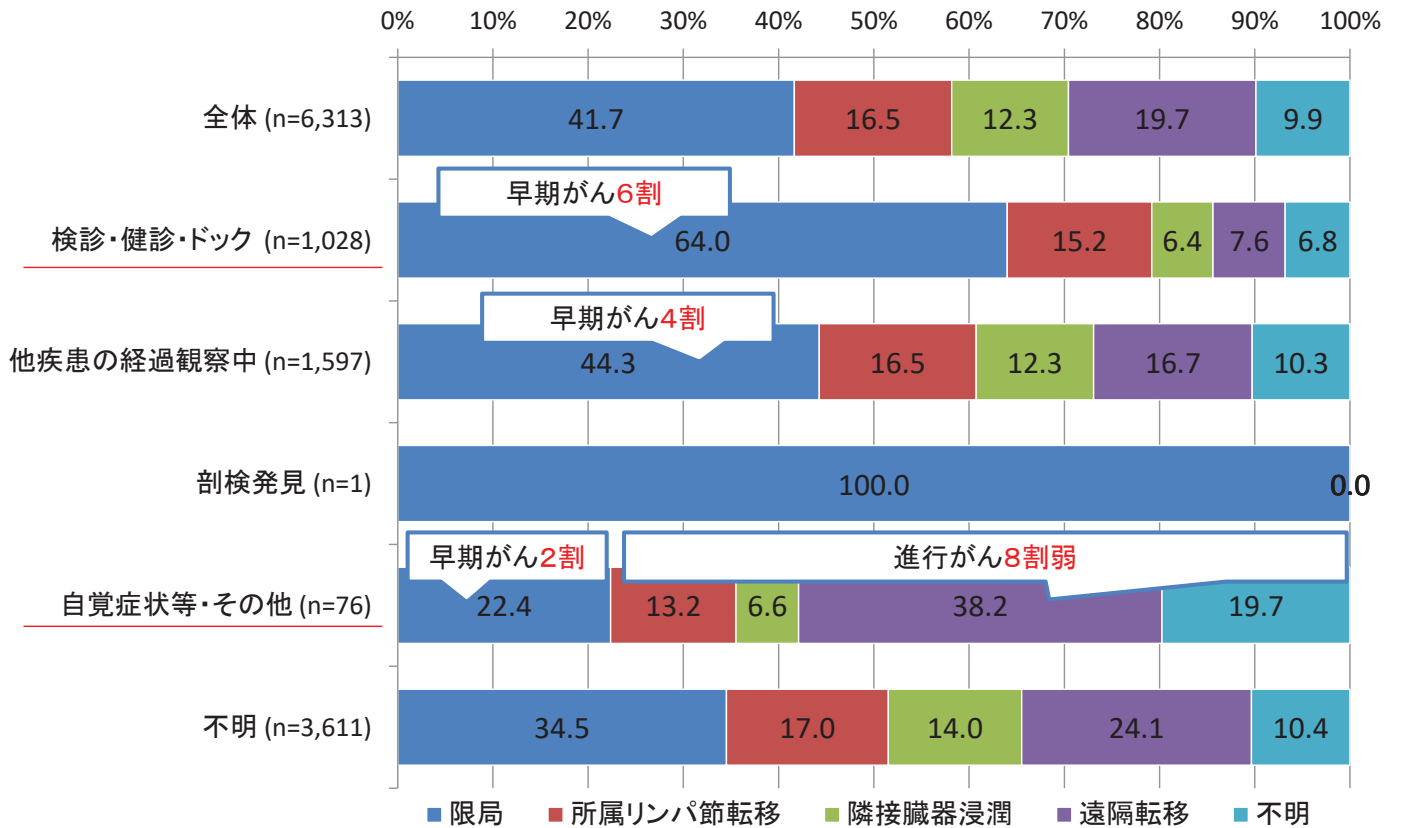
保健所管内別大腸がんの進行度(2008～2015年)



＜進行度：限局＞保健所間の差：最大2.4ポイント

山梨県健康増進課がん対策担当

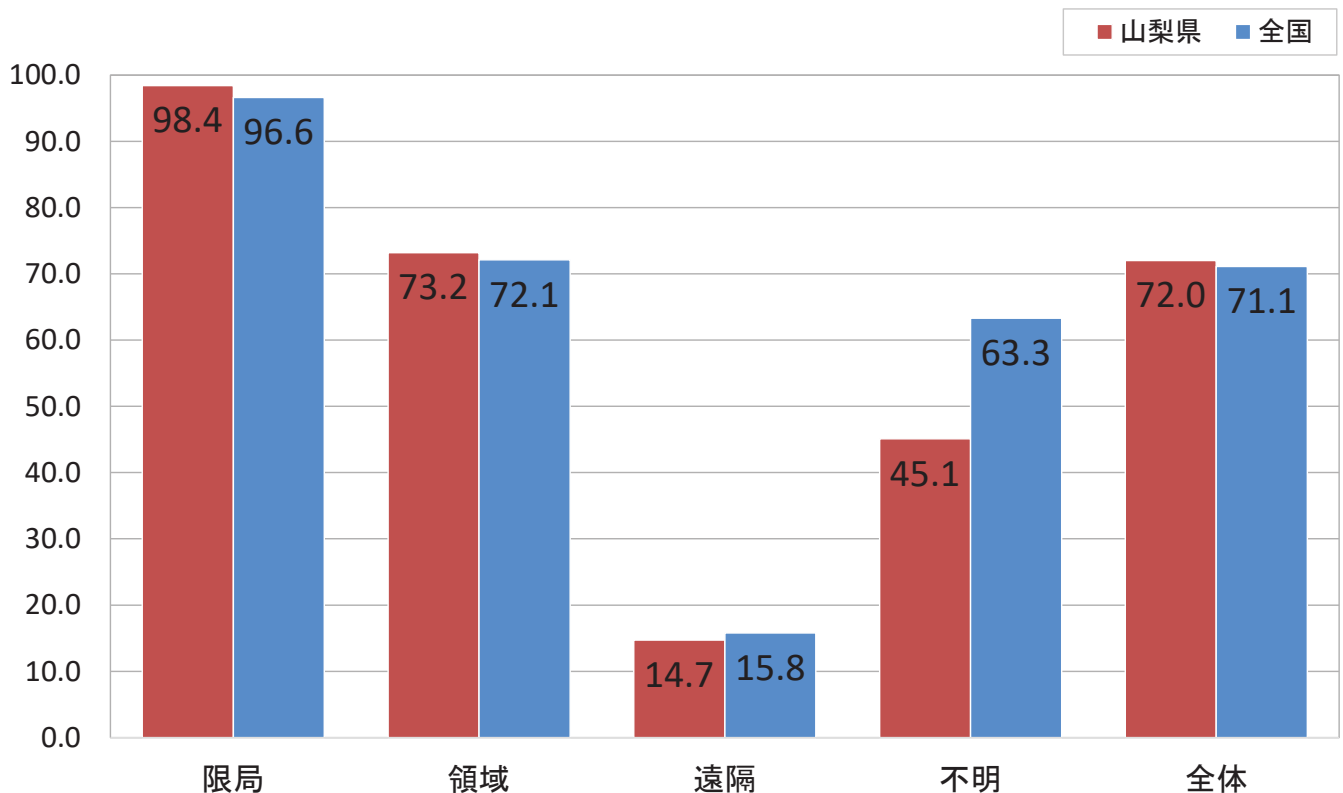
大腸がん発見経緯別の進行度 (2008～2015年)



山梨県健康増進課がん対策担当

大腸がんの5年相対生存率(2008～2009年)

山梨県出典：2008～2009年診断例生存率山梨県がん罹患集計
全国データ出典：2006～2008年生存率報告 (MCJ-S)



山梨県健康増進課がん対策担当

山梨県のがん検診の現状

○がん検診受診率：**全国トップクラス** * 国民生活基礎調査(H28)

	胃	大腸	肺	乳房 (過去2年)	子宮頸部 (過去2年)
都道府県順位	5位	3位	4位	2位	5位

○精密検査受診率：**全国下位** * 国民生活基礎調査(H28)

	胃	大腸	肺	乳房	子宮頸部
都道府県順位	42位	46位	45位	42位	45位

○事業評価のためのがん検診チェックリスト(市区町村)：**全国下位**(H30年度)

	胃	大腸	肺	乳房	子宮頸部
都道府県順位	42位	46位	45位	42位	45位

77

平成27年度(2015)がん検診実施実績

		精検受診率		精検未受診率		精検未把握率	
		許容値	目標値	許容値	目標値	許容値	目標値
		70%以上	90%以上	20%以下	5%以下	10%以下	5%以下
胃がん	全国	81.73	—	7.38	—	10.89	—
	山梨県	79.26	—	11.60	—	9.14	—
大腸がん	全国	70.08	—	12.71	—	17.21	—
	山梨県	<u>69.90</u>	—	18.23	—	<u>11.88</u>	—
肺がん	全国	83.51	—	6.51	—	9.98	—
	山梨県	75.27	—	9.69	—	<u>15.04</u>	—

出典：国立がん研究センタープロセス指標値

78

平成27年度（2015）がん検診実施実績

		精検受診率		精検未受診率		精検未把握率	
		許容値	目標値	許容値	目標値	許容値	目標値
		80%以上	90%以上	10%以下	5%以下	10%以下	5%以下
乳がん	全国	88.26	—	3.44	—	8.30	—
	山梨県	89.30		5.75		4.95	
		許容値	目標値	許容値	目標値	許容値	目標値
		70%以上	90%以上	20%以下	5%以下	10%以下	5%以下
子宮頸がん	全国	74.40	—	7.28	—	18.33	—
	山梨県	64.57	—	14.14	—	21.29	—

出典：国立がん研究センタープロセス指標値⁹



山梨県のがん検診の課題

- ▶ 発見の経緯別：がん検診の割合
- ▶ 発見時の進行度：限局の割合

に地域差がみられる

↑ がん検診の精度管理上の課題が影響か？

- ・精検受診率と精検未把握率の課題

子宮頸がん 大腸がん

- ・精検未把握率の課題

肺がん

- ▶ 胃内視鏡の導入の課題 など